発言者	発言要旨
近藤事務局長	<p>(開会 10:55)</p> <p>ただいまから、令和5年度大潟村歳入歳出予算特別委員会を開催します。はじめに、大潟村議会委員会条例第8条の規定により、委員長を選出させていただきます。なお、委員長の選出においては、同条例第9条の規定により、年長委員であります川淵委員から仮委員長をお願いいたします。</p>
川淵仮委員長	<p>委員会条例にもとづき、私が仮委員長を務めることになりましたので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、令和5年度大潟村歳入歳出予算特別委員会を開会いたします。</p> <p>委員長の選出を行いたいと思いますが、申し合わせでは、総務福祉教育、生活産業の各委員会の委員長が1年交替で特別委員会の委員長を務めることとなっております。</p> <p>今回もその申し合わせに則りまして、松本正明総務福祉教育委員長に予算特別委員長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
	<p>【異議なしの声】</p>
川淵仮委員長	<p>異議がないようですので、今回は松本正明総務福祉教育委員長に予算特別委員長をお願いいたします。</p> <p>それでは、松本委員長よろしくをお願いいたします。</p>
松本委員長	<p>ただいま予算特別委員長に選任されました松本正明です。</p> <p>この特別委員会がスムーズに運営されますよう、委員の皆様方からご協力を頂きながら、委員会を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、副委員長を選出したいと思いますが、選出方法はどのようにいたしますか。</p>
	<p>【委員長に一任の声あり】</p>
松本委員長	<p>委員長に一任との声がありましたので、私から総務福祉教育委員会副委員長の黒瀬友基委員を指名いたします。</p> <p>黒瀬副委員長、よろしくお願いいたします。</p>

	<p>それでは、あらためまして、「令和5年度大潟村歳入歳出予算特別委員会」を開会いたします。</p> <p>ただいまの出席委員数は10名であります。定足数に達しておりますので、本会議は成立いたしました。委員会の会議記録の作成については、当局にお願いいたします。</p> <p>なお、会議記録の署名は全委員にお願いいたしますので、会議録ができ次第、署名をお願いいたします。</p> <p>それでは、当特別委員会に付託された議案の審査に入ります。</p> <p>当委員会に付託された議案は議案第20号から議案第29号までであります。</p>
松本委員長	<p>審査は、はじめに総務企画課、税務会計課、議会事務局をまとめた、総務部門から始め、次に、福祉保健課、生活環境課と行き、農業委員会と産業振興課をあわせた産業部門、教育委員会の順に審査し、総括質疑を行った後、討論、採決を行いたいと思います。</p>
	<p>それでは早速ですが、議案第20号「令和5年度大潟村水道事業特別会計への繰り入れについて」の審査に入ります。</p> <p>当局の説明を求めます。</p>
庄司主査	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>当局の説明が終わりましたので質疑に入ります。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
	<p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>質疑を終結します。</p>
	<p>議案第21号「令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて」の審査に入ります。当局の説明を求めます。</p>
庄司主査	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>当局の説明が終わりましたので質疑に入ります。</p> <p>質疑ございませんか。</p>

	<p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>質疑を終結します。</p>
松本委員長	<p>令和5年度一般会計予算案の審査に入ります。予算概要及び総務部門の歳入部分について当局の説明を求めます。</p>
宮田主査 庄司主査	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>当局の説明が終わりましたので、予算概要及び総務部門の歳入について、質疑に入ります。質疑ございませんか。</p>
菅原(ア)委員	<p>地方交付税が前年度比で3.8%増の5,133万円を見込んでいます。 国の地方財政計画や前年度実績などを勘案して積算しているということですが、どのように考えられて、増額を見込んでいるのでしょうか。</p>
相原主任	<p>国が示す地方財政対策、地方財政の見通し等を踏まえまして、普通交付税特別交付税ともに増額で計上しております。普通交付税は、かかる需要額から収入額を差し引いて、不足する分を普通交付税として算定します。収入部分の算定が前年度の税込、交付金収入をベースに計算されることとなりますので、令和3年度の税込が令和2年度決算から見て減少すると見込んでいるため、その分普通交付税は上向くものとして予算計上しております。また、特別交付税につきましても1千万円の増額で計上しております。国が示す省令に基づいて配分される、いわゆるルール分について地域おこし協力隊の増員が見込まれること、コンビニ交付実施について地方負担分の7割について特別交付税措置があることを勘案し、1千万円の増額で計上しているところです。</p>
齊藤委員	<p>21ページの使用料および手数料、総務管理手数料の2番目にあります庁舎使用料に関して、これの農業共済とオーリスそれぞれの年間収入額を教えてください。</p>
工藤主査	<p>秋田県農業共済が14万4,964円、株式会社オーリスが44万1,729円になります。</p>

齊藤委員	この金額はどのように算定されているのか、基準を教えてください。
工藤主査	積算の根拠は条例にあり、再建築価格に使用面積、逓減率、割合 100 分の 7 をそれぞれ掛けて算出します。再建築価格は全国自治協会建物災害共済で算出している庁舎の 1 m ² の単価 35 万 6,000 円を用いており、それに使用面積、秋田県農業共済であれば 17.34 m ² 、逓減率、割合 100 分の 7、株式会社オーリスでは 52.85 m ² 、逓減率、割合 100 分の 7 を掛けた金額になります。
齊藤委員	使用期間はどのように決めているのでしょうか。
工藤主査	行政財産の使用期間は 1 年となっております。秋田県農業共済に確認したところ、令和 4 年度から 3 年間使用したいということでした。 株式会社オーリスに関しては、令和 5 年度までは使用したいという意向があります。
黒瀬副委員長	株式会社オーリスが令和 5 年度までということですが、当初の説明では会社設立後の短期間のみ使用するという話で、その後はきちんと事務所を構えるということになっていたかと思います。最初から令和 5 年度いっぱい使用することになっていたのでしょうか。
工藤主査	当初、令和 4 年度は使用したいという話になっており、その後今後どうするかを確認したところ、令和 5 年度も使用させていただきたいという話でした。そして令和 5 年度中、どこに事務所を構えるか、建設するか等を検討したいということでした。
三村委員	33 ページの基金の繰入について、ふるさと応援基金の繰入金は各課の事業に充当するという説明だったと思いますが、ふるさと応援寄附金は目的をもって寄附するはずで、予算全体が足りないのに、基金を繰り入れていくということなのか、それとも何か他に理由があるのかお尋ねします。
庄司主査	特定目的基金において、かんがい排水施設整備基金と石油貯蔵施設立地対策等基金につきましては特定の事業に充当するものとして、かんがい排水の方は事業費と同額を繰り入れ、石油の方は今回のこの繰入金と補助金を合わせての事業費になりますので、事業費内の繰入となっております。 ふるさと応援基金については、委員ご指摘のとおり寄附者が用途の指定をしますが、自然環境の保全、産業の振興、福祉の充実、教育または文化の振

	<p>興等に加え、寄附額のうち用途を特に指定しないという寄附者が多いところ であります。村ではその年度にいただいた寄附については全額積み立て、翌 年度以降の財源として有効に活用する方針であり、その充実に当たっては指 定された用途の寄附額以上の充実にならないようにしています。</p> <p>財政調整基金につきましては予算編成の段階で歳入歳出の状況を見なが ら、歳入の不足分について繰り入れるということになります。</p>
黒瀬副委員長	<p>ふるさと応援基金の繰入が、今年度積み立てた分以外は全部使うような金 額になりますが、指定された用途や金額、充当事業の一覧をいただくことは できますか。</p>
庄司主査	<p>全ての年度においてのどの事業に充当したかというのは、一覧がありま す。後ほど提出します。</p>
黒瀬副委員長	<p>ふるさと応援基金寄附金の新年度予算が2億円ということですが、金額の 根拠を教えてください。</p>
小形谷主査	<p>令和4年度の実績見込みが1億4千万円で、ここ2年ほど米粉餃子の終了 等もあり落ち込んでいたところですが、今年に入って1月2月と前年同月比 で120%から150%程になり、増加傾向にあります。また来年度、新たに大手 のポータルサイト、ふるさとチョイスの導入も検討しております。そういつ たことも含めまして来年度は増加を見込んでいるところです。</p>
菅原(史)委員	<p>村税について、昨年度は大口滞納者からの納付があり補正したと思いま すが、今年度の滞納繰越の状況を教えてください。</p>
宮田主査	<p>令和4年度当初の滞納者数は24名で、うち新規滞納者は10名でした。</p> <p>令和5年1月31日時点で、24名のうち13名が完納し、そのうち2名 の方がいわゆる大口の滞納者で、2名で計300万円以上を年度内に納めていた だいております。滞納者数としては11人、合計で460万円ほどの滞納額が あります。</p>
菅原(史)委員	<p>村民税と固定資産税合わせてという理解で良いでしょうか。それから、11 名の滞納者について、長くて何年前の滞納になりますか。また、令和5年度 に向けた対応についても教えてください。</p>

宮田主査	<p>滞納額は、個人村民税、固定資産税、国保税の合計です。軽自動車税については滞納者はありません。</p> <p>最も過去のもので、平成 16 年度からの滞納があります。滞納額が最も大きい方でもあり、200 万ほどの滞納額です。この方については毎月定期的に納付していただいていることもあり、執行停止に至っておりませんが、来年度については預貯金調査なども行い、適切な滞納整理を進めたいと考えています。</p>
菅原(史)委員	<p>平成 16 年からというと、20 年ぐらい経ちます。納付の意思がある方であればそれでも良いのかとも思いますが、現在の状況も含めてということになれば不納欠損という対応も考えているのでしょうか。</p>
宮田主査	<p>不納欠損は預貯金調査と全ての財産を調査し、どうしても納付できないという方は執行停止という対応をとります。そして 3 年後、資力が回復していなかった場合に不納欠損となります。</p> <p>この方については、毎月納めていただいていますし、定期的に面会をして納付の意思を確認できてはいますが、毎年新しい税金が発生しており、現年分を完納してから滞納分を納付しているため、なかなか滞納額が減らない状況です。ただ、納付の意思を示していることから、その意思を尊重しながら対応していきたいと考えています。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(12:02)</p> <p>再開します。(13:25)</p>
戸部委員	<p>企業版ふるさと納税については、村のコミュニティ創成戦略に基づいた寄附行為ということを目指しているわけですが、計画の中で企業に働きかける内容はどのようなものがありますか。</p>
小形谷主査	<p>企業版ふるさと納税の制度活用にあたっては内閣府に地域再生計画というものを提出しております。その内容がコミュニティ創生戦略に記載されている内容と同様のものであり、仕事づくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり、新しい人の流れづくり、地域づくりとそれぞれありますが、現段階では令和 5 年度にどの事業に充当するかは決めておりません。</p> <p>寄附をいただく企業側で充当して欲しい事業を指定していただきますので、それに応じた事業に充当したいと考えています。</p>

戸部委員	<p>以前、旧保育園跡地の公園整備に充当したことがあったと思いますが、公園が全て完成してるわけでもないので、同じ企業に再度の寄附をお願いすることもできるのでしょうか。</p>
小形谷主査	<p>企業には毎年度お願いすることはできます。 企業側も毎年度寄附を行うことはできるので、村でもできるだけそういった事業を説明し賛同いただいて、寄附を募りたいとは考えています。</p>
菅原(史)委員	<p>31 ページの財産運用収入の利子および配当金について、基金を運用で有価証券化するという事で有価証券利子という項目がありますが、存置項目になっています。これは後で補正するという事でしょうか。 今年度の大きな事業、として基金の有価証券化をうたっていた以上、金額を載せてもよかったと思います。</p>
庄司主査	<p>有価証券の銘柄、年数等によって利率が変わることもあり、どれを選択するかは予算を可決いただいた後に新年度に入ってから決めていきたいと考えております。 利息が入る回数も様々あるようで、当初予算の段階で具体的な金額を計上することが難しく、存置項目としました。銘柄が決まれば利息も計算できますので、その際には補正等で対応したいと考えております。</p>
菅原(史)委員	<p>新年度の目玉となる提案だったと思うので、事前にシミュレーションしているという話でした。それならば、どのくらいの利息収入が見込めるというのは本来この予算書にあった方が納得できると思います。これから決めるとなれば先が見えないので、否定的な意見が出てくるかもしれません。 やはり当局の方がこういうふうな予算書を提案するのであれば、その効果も含めて数字に出してもらえれば、納得しやすいと思います。</p>
工藤副村長	<p>菅原委員のおっしゃることもわかりますが、これは予算ですので、ある程度の見込みはありますが、歳入ですのであくまでも確実に見積もって慎重に計上したいということです。皆様にはある程度の利子の効果を説明させていただきましたが、今年度はこのように存置項目での予算措置をお願いしたいということですので、よろしくお願いします。</p>
菅原(史)委員	<p>来年度以降はある程度数値化していくことも考えられるという理解でよろしいですか。</p>

工藤副村長	<p>利子分について、どの程度の効果があったかということをお知らせできるようにしておきたいと考えています。歳入に利子分を計上すると、歳出も当然計上しなければなりませんので、その辺りも考え、今後検討させていただきたいと思っています。</p>
三村委員	<p>31 ページの市民農園の土地貸付収入が令和 4 年度よりも減っていますが、何か対策は考えているのでしょうか。</p>
庄司主査	<p>市民農園の土地貸付収入については、令和 4 年度の実績をもとに積算し、今回減額としました。市民農園の新規利用者が全くいないわけではないですが、長期間使っている方も多く、中には年齢を理由に区画を減らしたり辞めたりする方もいます。</p> <p>新しく利用される方をできるだけ募りたいと考えていますが、予算は減額としました。募集に対して全く力を入れないということではなく、機会あるごとに広く募って利用を促進していきたいと考えております。</p>
三村委員	<p>広報にも載せてもらってるとは思いますが、今までと同じ規則でやっていくだけでなく、もう少し何か工夫が必要ではないかと思っています。</p>
庄司主査	<p>市民農園は村有地を農園として使っていただいています。年間利用料は村民が 1 区画 2,000 円、村外の方が 4,000 円で、村有地ということもあり収穫物の販売は不可という条件を付けています。</p> <p>利用料については検討の余地はあるかもしれませんが、収穫物の販売はできないと考えています。今後、利用者からも意見を聞くなどして、そうした部分についても考えていきたいと思っています。</p>
薄井課長	<p>中央 3 番地、あるいは北の集合型村営住宅等、村外から移住される方が多い状況にあり、そういった方々は畑や庭はないので、市民農園の活用を呼びかけるなど周知に努めて利用の拡大を図りたいと思っています。</p>
三村委員	<p>村外から移住された方は、耕運機で起こしてもらうにはここに頼めばいい等分からないので、細やかな気配りが必要だと思います。</p>
薄井課長	<p>利用したい、農業をちょっとやってみたいといった形等、具体的なニーズを個別に把握し、どういったサポートができるか相談しながら対応していき</p>

<p>松本委員長</p>	<p>たいと思います。</p> <p>ほかに質疑ありませんか。</p> <p>【なしの声】</p>
<p>松本委員長</p>	<p>無いようですので、予算概要及び令和 5 年度一般会計予算案の総務部門の歳入部分について質疑を終結します。</p>
<p>松本委員長</p>	<p>次に、令和 5 年度一般会計予算案の総務部門の歳出部分について当局より説明をお願いします。</p>
<p>近藤事務局長 遠藤主査 菅原主任 庄司主査 西尾主事 工藤主査 小形谷主査 進藤主査 岡田主任 相原主任</p>	<p>【資料に基づき説明】</p>
<p>松本委員長</p>	<p>当局の説明が終わりましたので質疑に入ります。質疑ございますか。</p>
<p>石井委員</p>	<p>65 ページにある西 1 丁目の宅地造成工事について、計画としてどのような流れでどのような規模になるのか、そして西 1 丁目の住民への説明は済んでいるのか、理解は得られているのか、お聞かせいただきたい。</p>
<p>小形谷主査</p>	<p>今後のスケジュールについて、お答えいたします。</p> <p>令和 5 年度にまず測量と設計を行い、令和 6 年度に造成工事に入れるものと想定しています。規模については、総面積が約 1 万 1 千平米で、これまでの宅地造成と同じ 1 区画 300 平米程度であれば、道路等も考慮すると 20 から 30 区画分譲が可能だと見込んでいます。</p> <p>住民に対する説明は、先日西 1 丁目地区の 3 住区の住区長にお越しいただき、村長から今後のスケジュールやその規模について説明したところです。</p>

	<p>今後役員会やさなぶり等で話題にし、お話しくださいとお伝えしてあります。その後、設計し、図面がある程度出来た段階でまた具体的な説明をしていきたいと考えています。</p>
石井委員	<p>土地が扇形にありますが、それを全て使う計画ということでしょうか。</p>
薄井課長	<p>全体を使うと想定して設計を委託しようと考えています。</p>
齊藤委員	<p>造成を予定している場所は、どういった役割を持っていたのか、それ以外にも候補地があったのか、もしあったとしたら、なぜ西1丁目が選定されたのか、それから自治会として独立するのかお聞かせください。</p>
薄井課長	<p>対象の土地は緑地として使われており、主に野球やソフトボールの練習に長年使われてきました。その他の候補地としては西1丁目の他に北2丁目4番地の、20年ほど前に分譲開始したところのさらに北側の地区があり、比較しました。北二丁目を分譲した場合どうしても下水等の排水でかなりポンプアップするなどのコストかかってしまうということ、役場や農協、銀行等の中心部からの距離が西1丁目と比較してどうしても遠くなってしまいます。対して西1丁目は比較的役場庁舎や銀行、農協、さらにはコンビニや道の駅も近いといったメリットがあります。村外からの移住者を募集して土地を買っていただくという観点に立てば、西1丁目を整備した方が生活のしやすさという観点からは、魅力があるのではないかと考えて判断しました。</p> <p>自治会として独立するかはまだ具体的な検討はしておりません。隣接する自治会との協議なども必要になってくるかと思しますので、今後の課題とさせていただきます。</p>
齊藤委員	<p>特に避難場所等にはなっていなかったでしょうか。</p>
薄井課長	<p>避難場所は西1丁目の1と4の間にあるコミュニティ広場となります。</p>
三村委員	<p>以前500万円で販売されていた宅地が350万円まで下げられていました。解体費用を考えると350万円でも足りないと思います。</p> <p>村が宅地造成した場合の販売額について、先日の中央の10区画は造成にかかった費用よりも安く販売したかと思いますが、空いていく宅地のことを踏まえ、そのあたりをどのように考えますか。</p>

薄井課長	<p>既存の住区の空き地に関しては、そちらを買って、そして家を建てたり、あるいは中古住宅を買ってリフォームしたりという形に対して支援をしていきたいと考えております。</p> <p>西 1 丁目をはじめ新たに分譲地を整備して販売する場合の価格については、土地管理委員会において、かかった費用や周辺の地価等を総合的に勘案して判断されることとなりますので、現段階でははっきりしたことは申し上げられません。</p>
菅原(史)委員	<p>宅地造成について、住民への説明の時期が、ある程度設計が終わり具体的になってからということでしたが、やはり先に説明があるべきです。村でこのような構想があるということで住民にまずは情報として出し、どのような意見があるか、それにより後から設計変更するより、最初から意見を踏まえて設計した方が良いと思います。進め方を間違えると大変なことになるので、十分注意しなければならないと思います。</p>
薄井課長	<p>ご意見を踏まえ、新年度に入ったら具体的なスケジュール組み、どういった形であれば住民の理解を得られスムーズに進められるか検討して対応してまいりたいと思います。</p>
黒瀬副委員長	<p>77 ページの青色申告会補助金の額が前年度より上がっていると思いますが、その内容を教えてください。</p> <p>それと 69 ページ、子どもの遊び場創生事業の委託料や工事請負費について詳細を教えてください。</p> <p>それから、村づくり研修事業（ホストタウン）について、村民の視察研修ではなくて事前の視察ということで、主要な施策の資料を見ると有意義な研修を行うための素地を醸成しますとありますが、令和元年まで実施していた事業なので、実施するのであれば実際に研修に行くべきと思います。今になってまた醸成する意味を教えてください。</p>
岡田主任	<p>77 ページの青色申告会補助金についてですが、昨年度の当初予算額と同額となっております。</p>
小形谷主査	<p>子どもの遊び場創生事業の詳細についてお答えいたします。</p> <p>委託料の環境整備業務委託料 6 万 1 千円については、広場の草刈りに係る経費となります。工事請負費については、外構工事ということで、時計、水飲み場の設置、駐車場、駐輪スペースの白線引き、花壇の撤去を予定してい</p>

	<p>ます。案内看板設置工事については、駐車場の入り口に案内看板を設置する予定です。</p>
薄井課長	<p>村づくり研修事業（ホストタウン）については、今年度は村民の研修派遣は見送り、デンマークのどこかの都市と友好都市のような関係を結んで、相互に交流したり地域作りに資するような、あるいは教育にも資するような関係を築くため、事前調整を目的に、今年度の予算を計上しています。</p> <p>内容としては、村長を含む3名の派遣を想定しており、デンマーク国内で友好都市、その後の交流に向けた様々な協議、合意を目指すための費用と考えていただければと思います。</p>
黒瀬副委員長	<p>村づくり研修事業について、予算概要にもそのように記載していただければと思います。友好都市はある程度目処が立っていて、その協議が行えるような候補が既にあるという理解でよいでしょうか。</p>
薄井課長	<p>こちらは村長と国際交流員を中心にデンマークの小都市と交渉しておりますが、現時点では確定しているものではありません。</p> <p>ただ大潟村では脱炭素の事業を進めてることもあり、デンマークは再生可能エネルギーの利活用に関してかなりの先進地ですので、そういった観点からも様々な角度で情報交換を行っている聞いています。</p>
黒瀬副委員長	<p>聞いているというのは誰からでしょうか。</p>
薄井課長	<p>村長からです。</p>
三村委員	<p>子ども遊び場創生事業について、芝を張るといのは予算に含まれているのでしょうか。また、高齢者用には何がありますか。</p> <p>それから、県内でも旧鷹巣町がデンマークと友好姉妹都市になっていたかと思えます。そちらも参考になるのではないのでしょうか。</p>
小形谷主査	<p>予算の中に芝張りの費用は含まれておりません。遊具を設置した際に、ある程度の土を外部から持ってきており、そちらから自然に生えてくるか、もしそれが落ち着かなければ芝生の種をまくなどして整備したいと考えています。</p> <p>また高齢者用のということでは、高齢者に限らず健康遊具ということで令和4年度にベンチ2台を設置しております。ただのベンチではなく背伸ばし</p>

<p>薄井課長</p>	<p>ベンチや腹筋ベンチ等、休憩にも健康作りにも利用することができるものとなっています。</p> <p>デンマークとの交流について、情報提供ありがとうございます。</p> <p>アフターコロナを見据え、今後こういった交流が相互に有意義なものになるかという観点で情報収集を行っておりますので、そういった先行自治体の事例も踏まえて今後勉強してまいりたいと思います。</p>
<p>菅原(史)委員</p>	<p>子どもの遊び場について、花壇を撤去して駐車場を造成するということが良いでしょうか。それから、遊び場がいつから利用できるかをどこかに記してありますか。また、利用規則は明示するのでしょうか。トイレは村民センターのものを使うということですが。</p>
<p>小形谷主査</p>	<p>花壇は撤去しますが、駐車場は西側に設置することを想定しております。西側に駐車場の白線を引き、東側の村民センター側に自転車置き場のようなスペースを確保したいと考えており、花壇を撤去した場所に新たに駐車場を作るわけではありません。</p> <p>いつから利用可能かということについては、12月の広報だったかと思いますが、来年春のオープンとお知らせしたところです。現在も雪が解けてそろそろ利用できるのではという意見もありますが、先日現地を確認したところ、まだ上の方が柔らかくて利用することができませんでした。そちらの状況を判断しながら利用開始に向けて様子を見ているところです。</p> <p>新年度に広場の名称を子どもたちから募集して決定していきたいと考えており、それに合わせて4月か5月にはオープンしたいと考えています。</p> <p>利用規則についても設置します。案内看板に利用の仕方を載せたいと考えています。</p> <p>トイレの利用については、広場にトイレを設置する予定は現段階ではございません。村民センターのトイレを利用させていただきたいと考えておりますが、センター側とも協議して、もしルールが必要であれば、ルールをきちんと整備していきたいと考えています。</p>
<p>石井委員</p>	<p>トイレは大事なことだと思います。小学校のスポ少でこども園のトイレを使うということがありましたが、泥靴で入ることもあり、掃除はしますが完全に綺麗にはならないこともありました。村民センターのトイレを使うのもいいとは思いますが、芝を張らないのであれば泥靴が問題になるかと思えますし、対策を考えた方がよいと思います。答弁はいりません。</p>

工藤委員	<p>コンビニ交付サービス導入事業について、役場窓口で取得できる各種の証明書が全てコンビニで取れるということでしょうか。</p>
進藤主査	<p>コンビニ交付サービスにつきましては、利用するにあたり本人のマイナンバーカードが必要となっております。</p> <p>そちらを利用して証明書等を取得しますが、現在のところ取得できるものが、戸籍の附票や印鑑証明、住民票等、納税証明といったものになります。</p>
工藤委員	<p>いつから利用可能となりますか。また、手数料は役場の窓口に来たときと同じ手数料でしょうか。</p>
進藤主査	<p>他の町村の事例を見ると、最短で来年の3月になると思います。ですので、予算としては導入費用に加え3月からの1ヶ月を運用する想定で計上しているところです。</p> <p>手数料については、今後条例等で設定することになりますが、コンビニでの交付を推奨するために窓口よりも安い単価で設定してるところもあります。実際には、稼働までに協議して決めることになるかと思います。</p>
戸部委員	<p>コンビニ交付については、事業費の半分が国庫支出金から出て、残りの部分が特別交付税という説明だったと思います。事業自体は電算システム共同利用の組合で行うと思いますが、各自治体でどのくらい足並みがそろっているのでしょうか。また、組合で申し込むから交付税措置されるのか、それとも単独で事業を行っても同じであれば、単独でも良いかと思います。組合を通すメリットは何でしょうか。</p>
進藤主査	<p>システムとしてはコンビニの端末と役場側の電算サーバー等の連携が必要になります。連携は共同調達しているシステムとの連携ということになりますので、電算システムの組合を通しての契約ということになりますので、加盟している町村でコンビニ交付を導入しているところは全てそういった形で導入しています。なお、現在町村電算組合としては県内12町村のうち7町村がコンビニ交付を導入済みで、令和5年度に大潟村が加わり8町村となります。</p> <p>交付税措置につきましては、組合を通して通さなくても交付税の対象とはりますが、連携するシステムが組合を通して契約しているものなので、村独自の導入というのは難しいと考えております。</p>

戸部委員	組合への負担金はどのくらい増えますか。
進藤主査	コンビニ交付毎年利用するにあたって年間約 400 万円の負担がかかります。ただ、導入から 3 年は半額が特別交付税措置される見込みです。
戸部委員	12 町村全体でやればそれなりにメリットがあると思いますので、皆さんで共同してやるという考え方をできるだけ早く構築してもらえれば、負担金も減ると思いますので、その点もよろしくお願いします。
三村委員	45 ページの会計年度任用職員の報酬は期末手当も入っていますか。
遠藤主査	報酬の中に期末手当が全て含まれています。
三村委員	自治体の非正規職員について 2024 年から勤勉手当も支給可能になることについてはどのように考えていますか。
遠藤主査	勤勉手当が出せるようになるという法律が最近可決されましたので、今後は村として検討に入るということになります。
三村委員	81 ページの住基ネットのところで備品購入費 96 万 8 千円とありますが、これは何でしょうか。
薄井課長	こちらは福祉保健課担当の予算になりますのでそちらで説明申し上げます。
菅原(史)委員	73 ページの自治振興費について、最後のコミュニティ助成事業費補助金とありますが、中央 3 番地にベンチ 7 台を設置するということだったと思います。台数が多いと思いますが、何か意図があるのでしょうか。
庄司主査	中央 3 番地の広場は令和 4 年度に実施した事業で、遊具の設置と刈払い機を導入しました。令和 5 年度はベンチ 7 台を設置しますが、こちらは東 2 丁目の自治会から広場にベンチが欲しいという要望があり、そちらに 2 台、他にもベンチの要望があり、1 か所に 7 台を設置するわけではありません。
菅原(史)委員	ポルダー婚活事業について、コロナの影響で事業が実施できないこともあ

<p>薄井課長</p>	<p>ったと思いますが、予算が 268 万円と前年度より減っています。事業が減ることでしょうか。</p> <p>婚活事業は、ポルダール結婚支援センターの補助金を本年度比で減額しています。ただ、事業内容を縮小することではなく、よりマッチングしやすいイベントを効率的に実施していきたいということで本年度のように積算したところ、この額の補助金で十分にできるということで計上しております。</p> <p>これまではどちらかといえば、大人数で集まってマッチングしてという形で当然会場も広く宿泊者数も多いものを想定して予算を計上してきましたが、なかなかコロナが収束しない、収まりつつある中でイベントを実施してきた中で、やはり 4 人対 4 人等の非常に少ない人数でお互いにコミュニケーションをとりながら、お互いを理解できるような時間をきちんと確保した方がマッチングに結びつくであろうというように結婚支援センターでは考えており、そういった事業を来年度も行いたいと考えています。それにかかる費用として補助金 210 万円を今回計上しております。</p> <p>決して事業縮小するというわけではなく、内容を一層充実させながら工夫して進めていきたいということです。</p>
<p>菅原(史)委員</p>	<p>ポルダール婚活事業も少子化対策の一環だと思います。今年予算編成の七つの重点施策の中の上から 2 番目ということで、予算を前年と比べることはないんですけど、減額というのが非常に気にかかりました。必要とあらば、補正予算案を出して、事業を成功させるようにしていただければと思います。</p>
<p>三村委員</p>	<p>65 ページの大潟村情報発信者活動支援補助金について、今度は移住定住としても募集していく聞きましたが、この予算に移住定住は含まれますか。</p>
<p>小形谷主査</p>	<p>情報発信者事業につきましては、新たに起業、国際交流等、活動の範囲を広げた上で、移住者という言葉キーワードとして募集を行いたいと考えております。募集ということで広告費 55 万円を計上しておりますが、募集の仕方を工夫して広く周知し、募集していきたいと考えています。</p>
<p>三村委員</p>	<p>募集する際に、情報発信者の場合は条例の中に情報発信者の定義があったと思いますが、今後条例を改正する予定はありますか。</p>

小形谷主査	<p>現在のところ、条例規則を改正して募集を行うことは想定しておりませんが、中長期的な視点では条例規則を改正した上で情報発信のあり方を検討していくことも考えられます。来年度については現行の条例規則に基づいて募集を行っていくこととしています。</p>
菅原(史)委員	<p>予算概要の主要な施策についてレイアウトが変わりましたが、見づらいと思います。今後検討していただければと思います</p>
庄司主査	<p>わかりやすくなると思って変更しましたが、見づらいということであればもう少しレイアウトは検討したいと思います。以前のレイアウトは財源の欄が自動計算にならないので間違いやすく、今回財源部分を見やすくしたつもりでしたが、来年に向けて検討させていただきたいと思います。</p>
三村委員	<p>私は、新しい主要な施策のレイアウトは見やすいと思います。 67 ページの結婚新生活応援事業について、収入に制限があります。出産の場合は所得に関係なく 10 万円の支援があります。まず結婚をしてもらわないとというのが一番先にあるかと思いますが、政策としてどう考えますか。</p>
小形谷主査	<p>結婚新生活応援事業についてお答えします。 こちらの事業には、地域少子化対策重点推進交付金という国の交付金を活用して県と市町村で行っている事業です。所得制限はありますが、令和 5 年度は所得制限が緩和されており、これまで世帯所得、夫婦での所得が 400 万円までだったところ、500 万円に緩和されます。また、補助金額もこれまで 39 歳以下を対象に一律 30 万円だったものが、夫婦ともに 29 歳以下の場合には 60 万円と増額となっています。 村ではこちらの事業を令和 3 年度から始めましたが、現時点で実績がありません。皆さんの所得を調べられるわけではないので確かなことは言えませんが、所得制限を超えるため申請に至らない方が数名いましたので、今回の緩和で何名かは来年度対象になると見込んでいます。</p>
黒瀬副委員長	<p>予算額を増額しているのは、29 歳以下の方が増額になるからという理解で良いでしょうか。</p>
小形谷主査	<p>お見込みのとおり、対象人数を増やしたわけではなく、補助金額の上限が上がるということで予算増額しています。</p>

松本委員長	<p>子どもの遊び場について、お母さんと子どもが散歩していると、子どもから、いつから遊べるのかと聞かれることが多いと聞きます。子どもたちは楽しみにしていると思いますし、こども園や学校に依頼して、いつ頃から使えるかを周知した方が、子どもたちにとってははっきりして良いかと思います。これは要望というか、お願いですので答弁は不要です。</p>
松本委員長	<p>ほかに質疑ございませんか。</p>
	<p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>それでは総務部門に関する質疑を終結します。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(15:00)</p>

令和 5 年第 1 回 (3 月) 大瀧村議会定例会
 令和 5 年度大瀧村歳入歳出予算特別委員会 会議記録
 【 福祉保健課 】

招集年月日	令和 5 年 3 月 10 日 (金)		
招 集 場 所	役場 2 階 「第一会議室・特別会議室」		
開 会 日 時	令和 5 年 3 月 10 日 (金) 15 : 10 ~ 17 : 29		
出席委員 (10名)	委員長 松本 正明	副委員長 黒瀬 友基	委 員 戸部 誉
	委 員 工藤 勝	委 員 三村 敏子	委 員 菅原アキ子
	委 員 菅原 史夫	委 員 齊藤 知視	委 員 川渕 文雄
	委 員 石井 雅樹	オブザーバー 丹野 敏彦	
欠 席 委 員 (1名)	委 員 山田 照雄		
出席職員 (11名)	【特別職】	【監査委員】	【議会事務局】
	副村長 工藤 敏行	代表監査委員 佐々木 秀樹	事務局長 近藤 綾子
	【福祉保健課】		
	課 長 北嶋 学	課長補佐 小野 朋也	主 査 米谷 朋浩
	主 査 進藤 三枝	主 任 小貫 智美	主 任 木阪 望
主 事 角田 伸代			
【保健センター】			
主 査 渡辺 祥達			

付 託 事 件	議案第 20 号	令和 5 年度大瀧村水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第 21 号	令和 5 年度大瀧村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第 22 号	令和 5 年度大瀧村一般会計予算案
	議案第 23 号	令和 5 年度大瀧村診療所特別会計予算案
	議案第 24 号	令和 5 年度大瀧村国民健康保険事業特別会計予算案
	議案第 25 号	令和 5 年度大瀧村介護保険事業特別会計予算案
	議案第 26 号	令和 5 年度大瀧村介護サービス事業特別会計予算案
	議案第 27 号	令和 5 年度大瀧村後期高齢者医療特別会計予算案
	議案第 28 号	令和 5 年度大瀧村水道事業特別会計予算案
	議案第 29 号	令和 5 年度大瀧村公共下水道事業特別会計予算案

発言者	発 言 要 旨
松本委員長	再開します。(15 : 10)

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>ここからは、福祉保健課部門の審査を行います。福祉保健課の担当する部門には、一般会計と特別会計の両方が含まれております。</p> <p>初めに、一般会計の審査を行い、その後特別会計の審査を順次行います。それでは、福祉保健課部門の審査を行います。</p> <p>初めに、一般会計歳入部分について当局の説明を求めます。</p>
小野課長補佐	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>ただ今、当局より説明のありました事について、質疑及び意見を求めます。質疑ございませんか。</p>
菅原(ア)委員	<p>25 ページの児童福祉総務費補助金ですが、新たな補助金として、出産子育て応援交付金 144 万 8 千円が計上されておりますが、これまで村が支援してきた事業とどのように関わりがあるのでしょうか、教えていただければと思います。</p>
角田主事	<p>25 ページ 3 節にあります児童福祉総務費補助金ですが、こちらのお産子育て応援交付金は、昨今報道にもありました国の方で始まるお産子育て応援給付金といった形で、母子手帳交付時に 5 万円、出生時に 5 万円を給付するような事業となっております。また申請書を記入する際にアンケート等の記入も一緒に求めまして、助産師と保健師との面談もするという伴走型相談支援と同時に進行していくといったような事業となっております。</p>
菅原(ア)委員	<p>今まで村ではお産するための応援として 10 万円 1 人交付していると思います。それと、今回のこの新たに国が始めた事業との関連ですが、村の 10 万円というのは、今後も支援していくということでしょうか。それとも妊娠されたときのそういう届出時の母子手帳の交付とか、そういうことによって 5 万って今説明されましたけども、関係ってというのはどうなっていくのでしょうか。</p>
角田主事	<p>国のお産子育て応援給付金事業についてですが、現在その市町村で行っている既存の事業に交付金を割り当てることのできない形になっております。</p> <p>村で行っているお産祝い金ですが、引き続き、給付はしていきたいと考えております。</p>

発言者	発言要旨
三村委員	<p>ただ予算に関しましては、渦っ子 Baby ギフト事業の中に含めるといった形で、この後歳出の部分でご説明させていただければと思います。</p> <p>29 ページの地域自殺対策強化事業費補助金は、令和 4 年度は 96 万 4 千円で令和 5 年度が 310 万 2 千円で、大変増えていると思いますが、これはどういふことで増額されているのでしょうか？</p>
渡辺主査	<p>増額となった理由ですが、令和 5 年度は地域自殺対策計画の改定の年度となっております。その改定について、村民の方にアンケートを取り、その結果を踏まえたうえで計画を改定する予定としております。その改定ですが、委託事業として行う予定で、その委託費に対し、2 分の 1 の補助が出ますので、令和 4 年度と比較して大幅に増額となっております。</p>
菅原(史)委員	<p>29 ページの先ほど言われた児童福祉総務費補助金、県補助金の秋田出産おめでとう給付金事業というのは、最近決まった国の補助金に上乘せる 2 万円というものですか。</p> <p>そうだとすると、予算額が 60 万ということは、単純に 30 人を想定しているという予算になっているのでしょうか。</p>
角田主事	<p>29 ページ 4 節の秋田出産おめでとう給付金事業費補助金 60 万円ですが、菅原委員がおっしゃったように、県の方で決定した 2 万円の給付金になります。</p> <p>こちらですが、令和 4 年度出生分も遡って令和 5 年度に支給するというこゝで、令和 4 年度の出生見込み数と令和 5 年度の出生見込み数として、30 人分を計上しております。</p>
菅原(史)委員	<p>令和 4 年度は、この 3 月までですよね。</p> <p>その出生数が 10 人で、来年は 20 人ぐらいの予定ということでしょうか。</p>
角田主事	<p>予算計上する際に村の方で目標値として決めている出生数が 21 人となっておりますので、令和 5 年度分については 21 人分計上しております。</p> <p>令和 4 年度の出生数に関しては現在の見込みが 9 人ということですので、合計で 30 人になっております。</p>
三村委員	<p>37 ページの高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業業務委託費と</p>

発言者	発言要旨
渡辺主査	<p>というのは何でしょうか。</p> <p>こちらは、後期高齢者の健康増進やフレイル予防の取り組みに対して後期高齢者医療広域連合から活動費が交付されるというものです。</p> <p>具体的には、多剤服用者といった多くの種類の薬を飲んでいる方や重複投薬者同じ効果の薬を別々の医療機関から処方されている方などのところに保健師が訪問し、お薬手帳で管理してくださいといったアドバイスや指導、高齢者の運動や栄養、口腔等の健康教室、健康相談などを行っているものです。</p>
松本委員長	<p>ほかに質疑はありませんか。</p>
	<p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>ないようですので歳入の質疑を終結します。</p> <p>続いて歳出の説明を求めます。</p>
小野課長補佐 進藤主査 渡辺主査 小貫主任 木阪主任 角田主事	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>ただ今、当局より説明のありました事について、質疑及び意見を求めます。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
菅原(ア)委員	<p>今ご説明いただいた 103 ページの渦っ子 Baby ギフト事業ですが、先ほどの歳入のところでも、質問させていただきましたが、詳しく説明を受けまして、見守りオムツお届け事業や、保健師さんがオムツを届ける際の相談環境が今までよりも充実したものになっていて、大変評価できる内容ではないかと思っています。</p> <p>それで先ほど母子手帳のときに 5 万円で、今までの 1 人 10 万円の村の事業も継続して出産のとき 17 万円、22 万が今までよりも多く交付されるということですね。</p> <p>この予算額の 480 万円というのは、令和 5 年度の出産予定人数だと思いま</p>

発言者	発言要旨
	<p>すが、そういう理解でよろしいでしょうか。何人を想定されているのでしょうか。</p>
角田主事	<p>480万円ですが、令和5年度の出生見込み数21人に、22万円を交付していくものと、歳入のときにもご説明させていただきましたが、秋田出産おめでとう給付金が令和4年度出生分も遡っての支給ということですので、令和4年度の出生分も含まれております。</p>
齊藤委員	<p>大潟子育てガイド作成事業ですが、冊子なのか、それともホームページ等に載せるのかどちらの内容になりますか。</p>
角田主事	<p>大潟子育てガイド作成事業については、24ページ程度での冊子を予定しております。今年度に関しては、高校生までのお子さんがあるご家庭に配布する予定としております。</p> <p>またホームページ上で、データでの公開も予定しております。</p>
齊藤委員	<p>93ページの運転シミュレーターの借り上げ料がありますが、高齢者支援事業の中の一つにこれは練習用なのか、適性などもわかるものなのか、どういったものでしょうか。</p>
北嶋課長	<p>運転シミュレーターですけれども、イメージとしては自動車教習所にあるモニター等のパソコン版のようなものです。運転教習場のものをイメージしていただければと思います。</p> <p>実際の画面は、建物ですとか、道路ですとかそういった運転もできますし、建物から物が動いてきて出てきてその予測を図るとか、そういったものを全てデータで把握していくような機械で、ゲームのような感覚でできるようになっております。</p> <p>そういった反射神経ですとか、この赤い色が出ればブレーキを踏むですとか、その反応時間等を見る、あるいは間違えなかったかとかそういった様々なデータを収集し、弱い部分を治療で修正していけば、運転寿命を延伸していけないか考えております。</p> <p>実際は、秋田大学の認知症関係の先生、あるいは緑が丘病院の先生方とも協定等を結んでおり、そういった方々にも事業に入っただき、男性の介護教室運動教室を行っています。</p> <p>実際の操作を行ってもらって、大変皆さん楽しみながらやってもらって</p>

発言者	発言要旨
三村委員	<p>るといふのもありますので、引き続き借り上げし、来年度も事業として進めていけたらなと考へております。</p> <p>115 ページの特別の理由による予防接種再接種、扶助費っていふのは何なのかということと、健康ポイント事業ですが、村の場合、冬季特に運動不足になるので、冬季になる前に申請して、健康診断の集団検診とかの検査結果が向上すれば確かまた商品券がもらえるということだったかと思いますが、もっと運動不足を解消できるようなポイント事業にはできないでしょうか。</p>
渡辺主査	<p>特別の理由による予防接種再接種、扶助費ですが、こちらは予防接種を受けるべき年齢の子供が、病気等で予防接種を受けるべき時期に接種できない場合、入院先の病院で予防接種を受けるための予算となっております。</p> <p>健康ポイントについてですが、本人が設定した目標を達成すればポイントが貯まっていき、そのポイントに応じて商品券が交付されるというものです。男性の運動教室や、女性の運動教室というものを開催しておりまして、そういったものに参加することを目標として掲げていただければ、ポイントを貯めることもできますので、そういった使い方をして冬季の運動不足解消などにもできるということ周知していきたいと思ひます。</p>
渡辺主査	<p>今の発言で誤りがありましたので訂正をさせていただきます。</p> <p>特別の理由による予防接種再接種、扶助費ですけれども、こちらは病気で入院等をして予防接種を受け直す場合に必要な予算となります。</p>
三村委員	<p>予防接種を受けられないときはいろいろありますが、それが特別なのでしょうか。入院していたけど病気で予防接種が受けられなかったとき、受け直すということですか。</p>
小貫主任	<p>特別な理由による予防接種再接種扶助費ですが、例えば骨髄移植などの場合に、今まで受けた予防接種の効果が全部リセットされてしまうので、その治療が終わった後に、再接種が必要だと医師が判断したときに、全部自己負担になってしまうため、その自己負担分を扶助するということになります。</p> <p>ただ、自身が受けてきた予防接種しか受けられませんので、もし受けなかった予防接種があればそれは対象外となります。</p>
三村委員	<p>健康ポイントですが、健康館でも、高齢者の方たちが元気はつらつとかい</p>

発言者	発言要旨
	<p>ろいろ運動されていますので、健康館でも健康ポイントの手続きができるようにしたらいかがでしょうか。</p>
渡辺主査	<p>健康ポイントについては原則自己申告での申請になりますので、ふれあい健康館で行った事業についても、申告していただければ、保健センターの方で受付できます。</p>
三村委員	<p>保健センターに行っている方と、健康館しか行かない方といらっしゃるの で、保健センターまで行くのがなかなか大変かなと思います。 健康館でも受付ができれば便利だと思いますが、どうでしょうか。</p>
渡辺主査	<p>健康館での事業は地域包括支援センター等で行っていますので、協議したいと思います。</p>
川渕委員	<p>93 ページの、先ほど齋藤さんがお尋ねしました運転シミュレーター借り 上げ料ですが、1年間借りるものでしょうか。</p>
北嶋課長	<p>川渕委員の質問にお答えします。 こちらにつきましては、今後5年間のリースを予定しております。 1年間のデータもそうですが、長いスパン記録しておかなければ、効果は 得られないということで、今回は5年間のリース期間になっております。</p>
川渕委員	<p>高齢化が進んで、安全運転というのは非常に大事なことです、ありが たい事業だと思います。 早く免許証を返納してしまいますと、大潟村では痴呆が進む、それから移 動ができないということもありますので、安全運転に力を入れるというこ とは、非常に大事な事業だと思いますので、ありがたい事業だと感謝して いるところです。よろしくお願ひしたいと思います。</p>
北嶋課長	<p>先ほど言い忘れたのですが、シミュレーターとそれから実技というものも あります。 これは秋田河川国道事務所とも連携しながら、県内の道の駅を利用して行 う事業で、実際の車も使って、JAFの方たちも来まして、車庫入れですとか S字クランクですとか、その実技の際に、バックミラーを見ていませんで したとか、指摘をしながら、シミュレーターとそれから実技と、その二つを組</p>

発言者	発言要旨
石井委員	<p>み合わせた形で、大潟村内の運転寿命を延伸させていきたいというような事業となっております。</p> <p>115 ページのネウボラ事業の中で家事支援業務委託料ですが、これは具体的に例えば何でもかんでもやってもらえるもんじゃないと思いますので、どういことをやっていただけるのでしょうか。</p> <p>そして手を挙げて助けてくれっていうような形で実現するものなのか、教えてください。</p>
渡辺主査	<p>家事支援の内容ですが、食事の準備および後片付け、衣類の洗濯、居室の掃除、整理整頓、食品等の買い出しなどとなっております。こちらの支援を受けるためには、子育てを手伝ってもらえる人がいないと申し出ていただければ、母子手帳交付時の聞き取り状況等を勘案しまして、村の方で許可を出して、業者のヘルパーの方に来てもらって家事支援を行うというものとなっております。</p>
石井委員	<p>業者の方がいらっしゃるということですが、いくらかでも利用者は負担するのでしょうか。</p>
渡辺主査	<p>8 回までは無料となっております。それを超えた場合は利用者の方に負担していただくということになります。</p>
石井委員	<p>オムツ交換でもやってくれるのでしょうか。</p>
渡辺主査	<p>こちらは家事の支援になりますので、子供の面倒を見るということとはできません。</p>
石井委員	<p>主要な政策の 14 ページ心の健康づくり自殺予防対策事業ってあるんですけども、これは具体的には、パンフレットを作って配布するとか、相談室を設けるとかが考えられるんですが、その他に何か一步踏み込んで、大変難しいことだと思えますけれども、何かそういうことはあるのでしょうか。</p>
渡辺主査	<p>啓発を図る他に電話等での相談も受付しております。実際に月に 1 件程度は電話の相談が来ております。</p> <p>あとはホームページにリンクを掲載しておりますが、こころの体温計と言</p>

発言者	発言要旨
三村委員	<p>って、その人の心の状態を見ることが出来るソフトを使って、あなたは今こういう状況なので、相談先はこちらですってこういうものが見れるような体制になっております。</p> <p>91 ページの農福連携自立支援事業費補助金ですが、令和 4 年度の予算のときもお聞きしましたが、最初のスタートのときは3年で終わる事業ということだったのが、令和 5 年度になると 6 年目になるのではないかと思います。</p> <p>令和 4 年度の予算のときは畑の水はけが悪いので、排水を良くするためもう 1 年の事業ということの説明されていましたが、令和 5 年度も同じ額の 90 万円になっていますが、これはどういう理由でしょうか？</p>
小貫主任	<p>農福連携フォームにつきましては、平成 30 年度から地域共生社会の実現を目指して、社会福祉協議会と連携して取り組んでいるところです。</p> <p>三村委員のおっしゃった通り、排水対策ですとか、土壌改良っていうところで費用がかかっているところから令和 4 年度までということで、補助事業を実施してまいりました。</p> <p>令和 5 年度につきましては、着果数も多く、病虫害被害もなくて順調に生育しております、前年と比べて 40 から 50%の増収を見込んでおり、当初は 4 年度の補助終了ということで取り組んでおりました。</p> <p>ところが令和 4 年 8 月 11 日に豪雨災害が発生しております、収穫間近であった約 6,000 個のカボチャが水没してしまいました。</p> <p>実行委員会では、ゴムボートで収穫の検討や、重機を借りて、排水対策を試みようとしていたそうなのですが、コルゲート管が破損して、道路が陥没したということで、通行止めになってしまったため作業ができず、約 10 日間カボチャが水没したままになってしまいました。</p> <p>そのため市場出荷も厳しいということになりまして、販売収入が前年度と比較して約 200 万円減となってしまって、多大な影響が出ているというお話がありました。</p> <p>この事業は、現在高齢者ですとか障害のある方の参加の他にも引きこもりとみられる方にも協力を得ているところです。</p> <p>また、雇用数は年々増加していて確実に事業効果が出てきております。</p> <p>経営の悪化というところで、事業が万が一中断ということになってしまうことを避けるためにも、引き続き事業への補助を行うことで、農福連携ファームの継続を支援していきたいというところで、令和 5 年度も予算を計上し</p>

発言者	発言要旨
菅原(史)委員	<p>たところであります。</p> <p>一つ目 113 ページの先ほどもありました大潟子育てガイド作成事業ですが、これは内容としてはこの福祉保健課関係の支援の内容だけじゃなくて、教育の方も入ると思うんですけど、それも全部網羅した内容になるのですか。</p>
角田主事	<p>大潟子育てガイドについてですが福祉保健課部門だけではなくて、教育ですとか、全庁を挙げて子育て支援を行っているところを全て網羅するような形で一冊作りたいと考えております。</p>
菅原(史)委員	<p>それは良いと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>あと、ネウボラ事業の中の産前産後の家事支援とか、産後ケアの訪問型とかありますが、これを使うには、要件のハードルが高い部分があるということも聞いてます。誰でも使えるような要件にした方がいいと思います。</p> <p>今回、今年の1月から産前産後の家事支援については、要件が一つ緩和されて、仕事とか繁忙期など1人で家事育児に負担がかかり手助けが必要な方っていうのが加えられたと思います。</p> <p>こういうの特段載せず、要望があれば使えますよっていうような形の方がいいのではないかと思ってます。</p> <p>あと産後ケア事業について、これも無料ですが、1人1回までという制約があります。</p> <p>これは産後ケアで、実際助産師が訪問して内容を聞いて、心のケアとか色々なケアをしていくっていう事業だと思うんですが、それが1人1回までの利用制限は、どうなのかと思います。</p> <p>それについてどういう考えか教えてください。</p>
渡辺主査	<p>家事支援の要件緩和についてですが、要望があるのであれば、もう一度要綱見直し、検討して、利用者にとって利用しやすい形にしていきたいと思えます。</p> <p>助産師の派遣についてですが、1回という制限を取るべきではないかという趣旨だったと思いますが、もし必要な場合は保健センターに保健師もいますので、保健師に訪問してもらうことも考えられます。</p> <p>来年度は、オムツを配る事業がありますので、そういった機会に助産師の訪問事業を兼ねていけたらというふうに考えております。</p>

発言者	発言要旨
菅原(史)委員	利用される方に意見を聞いてみて利用しやすいような形にしてください。産後ケアの訪問型は保健師の方もいるという話ですが、1回というのは、何か制約があって1回までしか利用できないのでしょうか。
松本委員長	休憩します。(16:25) 再開します。(16:26)
渡辺主査	助産師の訪問についても、回数は村で決めたものですので、利用者の方の話聞いて利用しやすい形に要綱の改正を検討していきたいと思います。
工藤委員	93 ページにあります高齢者救急通報システムについてですが、今現在このシステムを使ってる方は何名ぐらいですか。
角田主事	高齢者救急通報システムについてですが、現在の利用者は7名となっております。
工藤委員	業務委託料となっておりますが、人数が増えると金額も増えるということになるのでしょうか。またこれは何名分の予算を計上しているものでしょうか。
角田主事	こちらの業務委託料ですが、高齢者救急通報システムは月額料金が1人当たりで決まっております、人数が増えるごとに委託料も増えていく形となっております。令和5年度に関しては、10人分の予算を計上しております。
工藤委員	システムを使いたいという人は本人から申し出があれば、利用できるということではなかったでしょうか。
角田主事	現在利用している方は基本的に本人からの申し出により、利用しています。こちらから一人暮らしの高齢者の方々に対して、包括支援センターの職員が訪問した際にすすめたりすることもあります。今の段階ではご本人から使いたいという希望が多い印象があります。
黒瀬副委員長	105 ページの保健衛生総務費ですが、昨年から食品衛生協会の負担金がない

発言者	発言要旨
渡辺主査	<p>なくなった説明がありましたが、その経緯と、何かしら不都合が生じることはないのか教えていただければと思います。</p> <p>こちらの協会は、中央食品衛生協会というところで、飲食に起因する伝染病や食中毒その他の被害を、危害の波その他の危害の発生を防止し、食品の品質および衛生の向上を図るという団体になっています。</p> <p>ただ実際には啓発活動がメインの団体ですので、脱会しても特に村に影響があるというものではありません。</p>
松本委員長	<p>質疑ございませんか。</p> <p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>ないようですので歳出の質疑を終結します。</p> <p>次に特別会計の審査に入ります。特別会計については、歳入、歳出を一括で審査してまいります。</p>
松本委員長	<p>それでは、議案第 24 号「令和 4 年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案」の福祉保健課部分について、当局の説明を求めます。</p>
米谷主査	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>休憩します。(16:50)</p> <p>再開します。(16:52)</p>
松本委員長	<p>あらかじめ、委員会の時間を 18 時まで延長したいと思いますが、ご異議ございませんか。</p>
松本委員長	<p>【異議なしの声】</p>
松本委員長	<p>委員会を 18 時まで延長いたします。</p> <p>続けて、提出のあった参考資料「要望書」について、当局の説明を求めます。</p>
米谷主査	<p>【参考資料の説明】</p>

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>ただ今、当局より説明のありましたことについて、質疑及び意見を求めます。質疑ございませんか。</p>
菅原（ア）委員	<p>昨日の総括でも質問させていただきましたけれども、今この資料をいただいてみてまず、現実を見た思いです。</p> <p>令和5年度で激変緩和措置がなくなるということで、県にも、それから町村会にも、あるいは各町村長にもお願いしたということですが、本当にどこに住んでも公平にその賦課されるように、村長はまた今後もぜひ大潟村の実情をお話して、村民の負担が増えないように何とか協力を強くお願いしたいと思います。</p> <p>医療費が低いにもかかわらず、ただ所得が多いということは、面積が多くそういう村作りを国がしたということですので、この健康保険に対してはなんとか村民の思いを汲んで村も一生懸命努力されていることとは思います。何しろ決めるのは県ですので、その運営の方針を何とか村民の思いを、よろしくお願いしたいと思います。</p>
北嶋課長	<p>昨日も申し上げたわけですが、村長も我々もそうですが、各国保の関係の会議等々出た際には十分その点を訴えていきたいと思っております。</p> <p>次回の秋田県の国保の方針が令和6年度からということで、令和5年度中には素案を作成することになります。繰り返しになりますが素案でさらに市町村ごとにこれによろしいかというようなものが資料として提出されていますので、その際も、この負担割合ですとかその他の方法については十分精査してこちらの意見として挙げさせていただきたいというふうに思います。</p>
松本委員長	<p>委員会を18時まで延長いたします。</p> <p>続けて、提出のあった参考資料「要望書」について、当局の説明を求めます。</p>
菅原（ア）委員	<p>本当によろしくお願いしたいと思います。</p> <p>県の方は、少しは感じて受け止めているような雰囲気だということをお聞きしました。</p> <p>だけれども町村会からの要望もあれば同じ大潟村の町村会に入っていますので、そこら辺の兼ね合いがなかなかどうなるのか、ということがちょっと懸念されますけども。</p>

発言者	発言要旨
北嶋課長	<p>何とか大潟村の事情をちゃんと汲んでいただいて、まず医療費が本当に低い状態、この状況を何とか加味していただいて、県の方にはそのところを汲んでいただけるようによろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それは重々訴えていきたいと思ひます。</p> <p>ただ村がもし、もしですが、仮定の話で申し訳ないですが、下がっていけば、他の町村は上がるというようなジレンマもあるかと思ひますので、その辺はうまく調整していけたらいいなというふうに思ひています。</p> <p>村の事情としては、先ほどの図の通り、非常に高いところにありますので、それを見ていただいて十分、村の方の理解をいただければなというふうに思ひております。</p>
川淵委員	<p>現在は、秋田県が1本ではないわけですから、各市町村で健康保険の料金というのは違うようになっているのですか。</p>
米谷主査	<p>現在は、各市町村でそれぞれ保険税の税額ですとか、税率とかを決めている状態です。</p> <p>ただ県から請求される事業納付金を納付しなければいけませんので、その金額を確保するような額を決めないといけないので、完全に市町村の自由というわけではなく、県へ払う金額を確保できるだけの税額を設定する、ということがございます。大潟村に関しては、県から高めな請求が来ているので税金も上げなければいけないというような状況になっています。</p>
川淵委員	<p>そうしましたら、何年度に秋田県が一本の料金といいますか、そういう形になるわけでしょうか。</p>
米谷主査	<p>現在は、各市町村の所得に応じて、県で負担金を割り当ててそれを払っている状態であります。</p> <p>秋田県では、令和15年以降に長期的な計画として秋田県が一本で直接、県内の国保の被保険者に保険料をかけるというような計画で、今のところはあるようです。</p> <p>要望にもありましたけども、それをもうちょっと早めて早期の一本化をお願いする、というふうに県に要望しているところでございます。</p>
菅原(ア)委員	<p>もし、要望が通らなかった場合、やっぱり基金を崩して村民の負担にあま</p>

発言者	発言要旨
工藤副村長	<p>りならないように、村としても、やっていくとは思いますが、移行されるまで基金に対して心配とかはないでしょうか。</p> <p>基金は今、1億2千万ほどです。また、今年度6,500万の緩和措置分が県からあります。</p> <p>もし、このままでいくと数年で基金が枯渇するということになります。</p> <p>ですから、先ほどから説明しているように一番問題なのは、統一になる前の保険給付医療費ですね。それがやや横ばいなのに、なんで大潟村だけこんなに多く負担しなければならないのか、というのが問題です。</p> <p>それと同一所得層で例えば、大潟村は10万円、隣の市町村に行けば5万でいいとか、そういうことは移住定住から言って不公平でしょう、ということですよ。</p> <p>うちの方は皆さんご承知のように、生きがい対策とか一生懸命、事業を実施しておりますし、介護保険料も安いわけですよ。</p> <p>そういうふうに努力しているのに、他の市町村が努力しないとは言いませんけれども、それで介護も保険料も医療費も抑えているのに、こういうことではとてもやっぱりうちの方も単独でやっていた方がよっぽどいいのではないかと、そこまでは言えませんが、まずそういう状況を訴えたということですよ。</p> <p>ですから、また話は戻りますけれども、基金のことになるとちょっとなかなか難しい。ただ、将来的に保険料は上がるでしょうから、ということで、少しずつ基金を取り崩しながら税率は上げています。一気にとなると皆さん大変でしょうからそれはやってきていますけれども。</p> <p>ですから、まず来年今年度、令和5年度で何とかその筋道をつけていただきたいということで、村長がこれから一生懸命、要望していくということにしております。</p>
松本委員長	<p>どこに行っても同じぐらいつなつた場合に、実際、激変緩和というか、現状とちょっとかけ離れているとこなので、例えば、全県どこ行っても統一であれば、国保の金額はこれぐらいで、全県と同じにしたらですよ、村の国保税がどれくらいか、上限に入っている人はいるかもしれないですけど、それ以外の人、普通の人、実際これぐらいの国保税だということを示すことが必要なんじゃないかなと。この資料だけ見て、もう普通に考えたら消費税増税とか、なんかそんな話じゃないくらいの税負担というか、とてつもない負担感が見えるわけですよ。県にもその要望、激変緩和、これくらいアンバ</p>

発言者	発言要旨
北嶋課長	<p>ランスですよ、ということもありますけど、実際は激変緩和の金額がこれぐらいなきややっぱり村もやっていけないということですよ。ちょっと不公平感がありすぎるってことを、こちらからも具体的な数字を出すということもひとつ考えられるのかなと思います。いかがでしょうか。</p> <p>おっしゃることは理解できるわけですが、確かに激変緩和部分については、県の方もですが、国の方もですが、国の方の事業納付金制度に全国的に変わる際は、平成30年度からということだったのですが、それを統一しなさいという準備期間は令和5年までということになっています。その5年間6年間ですかその間で統一を図るために、すごい変化のある市町村へは激変緩和分ということでその措置がなされたということです。令和5年度には国の方のその予算が終了させると、それに伴って県の方も終了する、といった流れで今回、令和5年度最後、激変緩和分の金額が入ってくるといった状況になっています。</p> <p>そういったところの経緯もありますし、また、税の関係にはなるかと思うのですが、先ほどの全県どこにいても、確かに秋田県を一つの市町村として見なければそういった状況にはならないわけですが、ただ、現在も、各市町村の所得割的なもので、事業納付金の金額が決められてきているといった中では、どのくらいの所得体系であれば、どれぐらいになるっていうのはちょっと一概には出せないのかな、と考えてはおります。</p>
松本委員長	<p>私が言いたいのは、いろんな税金を例えば国民年金、消費税の5%など決まっているとしたら、応分の公平の負担という部分があるわけじゃないですか。</p> <p>これだけばらついていると、税負担の公平感、公平に税を負担するところが、国保税に関してはちょっと異常だと思います。</p> <p>この前国保の協議会に出ましたけど、移住定住をこれだけ進めているのに、国保税がこれだけ高くて、これだけ見たら来ますかって話になりますよね、住環境が素晴らしかったとしても。そういうことははっきりともっと強くやっぱり訴えないと。極端に言えば、それだけ取り上げられて、ネガティブキャンペーンされたら大潟村もかなわないと思いますよね。そこが今のところ表には出てないっていうか、それをPRすることはないですけど。</p> <p>いいところだと思って来たら、国保税が高かった。じゃあ、ここに来なきやよかったみたいな話とかなってしまうと、これはしっかり本腰入れてやらないと。グラフをこうやって見ている、激変緩和のこの金額が、これで合</p>

発言者	発言要旨
北嶋課長	<p>っているのかどうか。これはあまりにも異常だなっている。負担が高すぎるのかなっているのは。</p> <p>激変緩和分も、国県からの方も毎年減額になってきている予算ということですので、特殊にもらっている市町村というのが村とそれから、上小阿仁村だけ、となっております。またその金額の大部分、村の方で約9割が村に入ってくるような状況にはなっています。確かにこれまでの国保税の事業納付金の伸びといいますか、村の負担分といいますかそういったものは確かに非常に他の市町村と比べても非常に多いなというような印象は持っているところです。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(17:20)</p> <p>再開します。(17:28)</p>
松本委員長	<p>ほかに、質疑はありませんか。</p> <p>ないようですので、国民健康保険事業特別会計についての質疑を終わります。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(17:28)</p> <p>再開します。(17:29)</p>
松本委員長	<p>ここで、本日の審議を終了し、休憩といたします。</p> <p>再開は、月曜日(3月13日)の9時00分とします。</p> <p>(休憩 17:29)</p>

令和 5 年第 1 回 (3 月) 大瀧村議会定例会
 令和 5 年度大瀧村歳入歳出予算特別委員会 会議記録
 【 福祉保健課 】

招集年月日	令和 5 年 3 月 10 日 (金)		
招 集 場 所	役場 2 階 「第一会議室・特別会議室」		
開 会 日 時	令和 5 年 3 月 13 日 (月) 9 : 00 ~ 10 : 24		
出席委員 (9 名)	委員長 松本 正明	副委員長 黒瀬 友基	委 員 工藤 勝
	委 員 三村 敏子	委 員 菅原アキ子	委 員 菅原 史夫
	委 員 齊藤 知視	委 員 川渕 文雄	委 員 石井 雅樹
	オブザーバー 丹野 敏彦		
欠 席 委 員 (1 名)	委 員 山田 照雄	委 員 戸 部 誉	
出席職員 (8 名)	【特別職】	【監査委員】	【議会事務局】
	副村長 工藤 敏行	代表監査委員 佐々木 秀樹	事務局長 近藤 綾子
	【福祉保健課】		
	課 長 北嶋 学	課長補佐 小野 朋也	主 任 木阪 望
【地域包括支援センター】	【診療所】		
専門員 小瀧みゆき	技師 伊藤 茂美		

付 託 事 件	議案第 20 号 令和 5 年度大瀧村水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第 21 号 令和 5 年度大瀧村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第 22 号 令和 5 年度大瀧村一般会計予算案
	議案第 23 号 令和 5 年度大瀧村診療所特別会計予算案
	議案第 24 号 令和 5 年度大瀧村国民健康保険事業特別会計予算案
	議案第 25 号 令和 5 年度大瀧村介護保険事業特別会計予算案
	議案第 26 号 令和 5 年度大瀧村介護サービス事業特別会計予算案
	議案第 27 号 令和 5 年度大瀧村後期高齢者医療特別会計予算案
	議案第 28 号 令和 5 年度大瀧村水道事業特別会計予算案
	議案第 29 号 令和 5 年度大瀧村公共下水道事業特別会計予算案

発言者	発 言 要 旨
	(再開 9 : 00)

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>金曜日（3月10日）に引き続き、委員会を再開いたします。</p> <p>ただいまの出席委員数は9名です。定足数に達しておりますので、この委員会は成立します。</p> <p>委員会の会議記録の作成は当局にお願いいたします。</p> <p>それでは、議案第43号「令和5年度大潟村診療所特別会計予算案」について、議題といたします。当局の説明を求めます。</p>
伊藤技師	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>当局の説明が終わりました。</p> <p>質疑に入ります。令和5年度大潟村診療所特別会計予算の歳入及び歳出部分について質疑ございませんか。</p>
三村委員	<p>56ページのその他診療収入のところの子宮頸癌ワクチンが4価から9価になるために増になるということでしたけれど、この4価から9価になるっていうのはどういうことでしょうか。</p>
伊藤技師	<p>ヒトパピローマウイルスというものが原因で子宮頸癌を発症すると言われております。そのヒトパピローマウイルスの中にもいろいろ種類がありまして、今まで4種類、4価って言いますが、4種類のワクチン抗体についてのワクチンですけども今度、9価のもの、9種類のワクチン抗体を持ったものが承認されまして、それが4月から使われるということです。</p>
三村委員	<p>前に問題になっていた、副作用とかそういうことに対しての何か副作用が軽減されたとかってということではなく、9種類のウイルスというウイルスの数が増えた、増えたっていうのはおかしいけど効果が増えたということで、増になるということですが、それに対して、ワクチンの対象者になる方への周知というのはどのように行われるのでしょうか。</p>
伊藤技師	<p>周知等については保健センターの方でやっています。</p>
菅原（ア）委員	<p>今まではコロナ、去年の9月から看護師も人1人増員して委託契約をしているということで、今年もそれを続行するということですが、現在、コロナ禍が今日から規制緩和と言いますか、自己判断でこのマスクも緩和されました。そういうことで去年までの状況とはちょっと今年は違ってくるのではな</p>

発言者	発言要旨
伊藤技師	<p>いかということで、過去の実績からその診療収入を見込んでいるということですが、現在、村民が診療所で受診されている数とか、あるいは村民以外の数というのはどのような経過をたどっているのでしょうか。</p> <p>コロナ感染者の診療ということでしょうか。</p>
菅原（ア）委員	<p>それもありますけれども、今年度は過去のその実績から勘案された収入の増ということを見込んでいるわけで、3年前の状況といいますか段々緩和されていきますので、受診される方も増えるのではないかと思いますので、見込みだと思っております。</p> <p>コロナも含めての数で結構ですけども、どのくらいの人数の受診を見込んでの増額ということでしょうか。</p>
伊藤技師	<p>受診者についてはここ数年間、大きな変動はないです。</p> <p>ただ、先生の診療の内容が、後手に回らないようにということで、先を読んだ診療が最近多くなってきています。</p> <p>それで検査等、診療内容が充実している状態で特に高齢者の場合、往診も最近は数件出てきていますので、そういう面で考えております。</p>
菅原（ア）委員	<p>往診が増えてきているということは、過去にはそういう往診とかはそんな件数ではなかったということでしょうか。</p>
伊藤技師	<p>往診については、患者さんのお宅の方から要請がないと、往診というものはできないのですが、最近在宅で見守りたいというご家庭が少なからず増えてきたということです。それで、患者さんの家族の方から要請がある場合が多いのですが、先生の方でも診療に来られない方について、希望があれば往診に行く話をされているので、少しずつ往診の数も増えてきてはおります。</p>
菅原（ア）委員	<p>岩村先生は、ひだまり苑の嘱託医でもあるわけですが、この往診に関しての時間ですね。要請が家族から行われた場合の時間というのはどのようにして診てくださっているのでしょうか。在宅の方に関して。</p>
伊藤技師	<p>一応、診療所は、ただいま予約制という形をとっております。</p> <p>午前中は希望もあり余裕はないのですが、午後3時以降少しゆとりを持つ</p>

発言者	発言要旨
菅原 (ア) 委員	<p>ようにしておりますので、相談等も3時以降にお願いしています。往診については、3時前後の予定にして患者さんに伝えております。</p> <p>3時前後ということは、今、伺ってわかるのですけれども、例えば5時以降とか、深夜に急に悪くなったとか、そういう場合はどうなのでしょう。それと、先ほど最初に伺ったのですけれども、村民も変わらないということですが、村民のその受診者と村民以外の、近場ですね、昔の若美とかそういう受診者の数というの、教えていただければと思います。</p>
伊藤技師	<p>時間外ってということになると思うのですけれども、時間外となると結局は救急医療ということになると思います。診療所の場合、それに対応できるかというところがあるので、救急車の要請をお願いしているところ。</p> <p>他町村の受診者ですけれども、現在、村の会社で働いている方、周辺では、男鹿市、八郎潟町等の方が受診しており、大体10名ぐらいの方が定期的に慢性疾患で受診されております。</p>
菅原 (ア) 委員	<p>慢性的な方もいらっしゃるということでそういう人数というのは概略でいいのですが、どれぐらいの人数でしょうか。</p>
伊藤技師	<p>男鹿市の方が7名、能代市の方が2名、八郎潟町の方が2名、三種町の方が2名おります。</p>
菅原 (史) 委員	<p>5月からコロナが2類から5類に変わるということで、コロナワクチン今のところ集団接種ということで村はやる予定だと思います。</p> <p>5類になって通常のインフルエンザ相当ということでなった場合、診療所インフルエンザの予防接種と同じように対応することは可能でしょうか。要は任意のときに予防接種する人がちょこちょこ来て、接種するというようなことは、もしそういうふうな制約が全部なくなったとしたら、というのは可能ですか。</p>
伊藤技師	<p>はっきり言って難しいところです。</p> <p>現状で、インフルエンザ接種についても診療と同時ではなく、事故回避のためにも別の時間に設けてやっております。</p> <p>今年度、インフルエンザ予防接種の時期がコロナワクチン集団接種と重な</p>

発言者	発言要旨
	<p>ってしまい、その予定もなかなか取れない状況でした。それで、1日の接種者数が多くなり利用者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしたと思います。こういう状況で、日数は多く取れたとしても、コロナとインフルエンザの同時接種は、なるべく避けたいという医師の考えもあり、どれほどの人数が接種するかというところもありますが、難しいと考えております。</p> <p>診療と同時に行うというのは、スタッフや場所の面でもいろいろ考えなくてはならないところがあり、保健センターの場所を借りるという、そういうこともできるかは考えておりますが、令和5年度は、集団接種を実施する予定なので、今後については、いろいろ意見を出し合って、いい方向に向けて考えていきたいと思っております。</p>
菅原（史）委員	<p>はい、わかりました。</p> <p>あと別件ですけど、今はもう院内処方ほとんどやってないという、先生の方針で。</p> <p>前は薬材費とかかかっあったと思うんですけど、今はもうほぼないということに理解してよろしいですね。</p>
伊藤技師	<p>医薬品及び薬材料等については指定管理料の中には含まれております。内服薬については、急性疾患の方のお腹が痛い、喉が痛い、熱が出たということに対応するお薬は置いております。すぐにその場で出せるような環境にしております。その他に、点滴注射等があります。ひだまり苑さで、肺炎、腎盂腎炎等に対応するために抗生剤を使う患者さんが多いこと、材料についても胃瘻、経管チューブ等も購入しているので、以前よりは減ったとは思いますが、月平均して、50万～60万の支出はあります。</p>
菅原（史）委員	<p>院内処方する薬材費については、指定管理料の中に入っているという説明でしたよね。ということは購入した量かその分がその入っているってことで、その量によって変わってくるってということですか。指定管理料が。</p>
伊藤技師	<p>5年計画で指定管理料の方を出してますので、医薬材料費についても、やはりその年によって、単価の増減、数の増減があるので、毎年そんなに変わるということではなく、そのままの現状で行っております。</p>
菅原（史）委員	<p>わかりました。ということはその範囲内でやっているってということですね。了解しました。</p>

発言者	発言要旨
工藤委員	保健所の方で抗原検査をしていたと思うのですが、令和5年はそれも抗原検査っていうのは行われるのでしょうか。
伊藤技師	<p>コロナの抗原検査は、やる予定でおります。</p> <p>現在はインフルエンザとコロナの両方の検査ができるキットを使用しております。今後、コロナのみ、インフルエンザのみの抗原検査キットを準備して、5類になりましても、令和5年度も継続して行います。</p>
松本委員長	<p>ほかに、質疑はありませんか。</p> <p>ないようですので、診療所特別会計予算についての質疑を終わります。</p>
松本委員長	次に、議案第25号「令和5年度大潟村介護保険事業特別会計予算案」について、当局の説明を求めます。
木阪主任	【資料に基づき説明】
松本委員長	ただ今、当局より説明のありましたことについて、質疑及び意見を求めます。質疑ございませんか。
菅原(ア)委員	317ページ、介護認定審査会の共同設置費のことですけれども、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村、それぞれにこの負担率が違っているということは理解しておりますけれども、高齢化に伴って、この介護認定を受ける方たちが増えていると思っておりますが、去年よりも29万3千円減額になっています。この理由というのは何でしょうか。
木阪主任	村の場合は、認定率は横ばいですが、他の市町村では認定を受ける方が増えているということはあります。ただ、認定の期間が今までは36ヶ月が最長だったのですが、年々認定期間が伸びておりまして、状態が安定している方は48ヶ月まで介護認定の期間を延長することができますので、審査会自体で審査する件数というものは、集約されているような形になっていますので、前年より減額になっております。
菅原(ア)委員	介護認定の期間が、前は36ヶ月が今は48ヶ月になっていることに伴って村は横ばいの状態だけれども、他町の人たちのそういう関係があつてのこと

発言者	発言要旨
	<p>というふうに理解してよろしいですか。</p>
木阪主任	<p>はい、その通りです。</p>
三村委員	<p>322 ページの一般介護予防事業費のところには当てはまるのかどうかわかりませんが、健康ポイントのところ、高齢の方たちも健康ポイントを受けやすいように健康館でも健康ポイントの配布について、受付をしたらどうでしょうかということをお話したのですが。</p> <p>ただ、それはこちらの介護じゃなくて、包括支援センターの方と話し合いが必要ってようなことだったので、以前、一般質問で、八郎潟町でやっている介護予防のためのポイント制度はどうでしょうかということをご提言させていただいたことがあったのですが、そのときに健康ポイントがあるということでした。健康ポイントが使いやすいように介護予防のところと交換で申請とかできるようになっていると、介護予防にも使えるかなと思うのですが。いかがでしょうか。</p>
小瀧専門員	<p>三村委員のおっしゃる通り、使いやすいようにしていきたいと思っておりますので、保健センターと連携をとりながら進めていきたいと思っております。</p>
菅原(ア)委員	<p>同じく 323 ページですが、一般介護予防の事業費として今行われている 65 歳以上の方の脳いきいき教室、免許更新を控えている高齢者の方にとっては大変好評のようで、ありがたい事業だなと思っております。</p> <p>それで先ほど、男性の方が参加する場合の関係者の打ち合わせとか調整を図るために、主に、児玉先生への報償費ということで 45 万 5 千円が計上されております。事業内容によってももちろん違ってくるとは思いますが、何回くらいの打ち合わせの回数と見込んでの計上額でしょうか。</p>
小瀧専門員	<p>今、健康運動指導士の児玉先生との契約が、1 回につき 1 万 6,500 円ですが、この打ち合わせに関しまして、1 回につき 1 万 6,500 円で大体月 2 回程度と見積もりまして、24 回分掛けた金額を計上させていただいております。</p> <p>昨年度も関係者が集まって会合をしております。その時には、緑ヶ丘病院の認知症患者医療センターのセンター長 坂本医師や、秋田大学の高齢者医療先端研究センター長 大田医師などもおりますので、その先生たちの調査集まりやすいところも全部児玉先生の方で調整させていただいてお</p>

発言者	発言要旨
菅原（ア）委員	<p>ります。11月からの事業ですが、その前からの話し合いなんかが必要になってきますので、一応月2回程度ということで見積もりを出しております。</p> <p>もちろん大切だと思います。</p> <p>参加者がよりその事業に対して積極的に関わっていけるように、本当にお願いたしたいと思います。緑ヶ丘病院の先生たちとか、そういう方たちに対しての費用弁償ということで理解してよろしいですか。</p>
小瀧専門員	先生方に関しての報償費は、特に計上しておりません。
菅原（ア）委員	主に、児玉先生のその月に1、2回くらいの事前からの1万6,500円ですか。これに対して12ヶ月ということで、月2回掛ける12ヶ月、そういうふうな捉え方でよろしいですか。
小瀧専門員	はい、その通りです。
黒瀬副委員長	今のところでなんですけども、元気はつらつ教室、脳いきいき教室あたりの最近の受けている方の数の推移ですとか、徐々に増えてきているのかとか、そこあたりどういう状況なのか、教えていただけますか。
小瀧専門員	<p>元気はつらつ教室に関しましては、包括支援センターができた当初から始まっていますので、そのときから来ている方はずっと参加していきまして、今、90歳を超えている方が何人かいらっしゃいます。</p> <p>あとは、65歳過ぎたので来てみたとかっていう方もいらっしゃるの、結構。ただコロナ予防接種が始まったので、やっぱりそこで参加者が減っているところもあります。今年、最高で47人くらいです。コロナの予防接種やっているときは、12人前後というときもありました。</p> <p>なので、冬場になると参加者が増えて、その中には、これから4月から農繁期になったときの体作りのために来ている方も60代の方はいらっしゃいます。脳いきいき教室に関しても、やはり毎回参加している方もいらっしゃいますし、免許更新が近づいてきたので、1回だけだと不安なのでその何回か前から受けたいということで、来ている方がいらっしゃる状況です。</p> <p>大体30人前後参加しております。</p>
松本委員長	ほかに、質疑はありませんか。

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>ないようですので、介護保険事業特別会計についての質疑を終わります。</p> <p>次に、議案第 26 号「令和 5 年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案」について、当局の説明を求めます。</p>
小野課長補佐	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>ただ今、当局より説明のありましたことについて、質疑及び意見を求めます。質疑ございませんか。</p>
三村委員	<p>348 ページの施設介護サービス事業費のところの 465 万 3 千円が増になっているっていうのは、人件費と光熱費っていうことでしたけれど、光熱費も結構上がっていると思うので、人件費が上がっているのは基本給というか給料が上がっているのか。光熱費がたくさん上がっているのだからこれぐらいになるのか、どのような内容になっているのでしょうか。</p>
小野課長補佐	<p>一つ目の人件費関係につきましては、職員の定期昇給によるものということで正和会の方から伺っております。</p> <p>それから光熱水費につきましては、電気代の上昇によるものということで計上しております。</p>
三村委員	<p>465 万 3 千円のうち、電気代がほぼ占めているという感じですかね。</p>
小野課長補佐	<p>電気代については約 320 万程度が電気代の高騰によるものとなっております。</p>
菅原（史）委員	<p>ひだまり苑が建てられて 20 何年ですか、経っていると思うのですが。何年か前にも空調だとかいろいろあったと思うのですが、かなり修繕が必要なのが今後考えられると思うので、今後、その大規模修繕が必要だということで、何か計画みたいものは、立てているのかどうか。当然資金というか予算的なことも当然あるのでその辺も含めて、やはり計画を立てておかないと突発的なものはしょうがないのですが、設備も含めて実際に、その時でも利用者さんがいる状況にあるので、その辺についてはどういうふうに考えているのか、お聞かせ願いたいと思います。</p>

発言者	発言要旨
小野課長補佐	<p>先ほど、菅原委員もおっしゃいましたとおり、過去に空調設備とか給湯設備につきましては突発的に発生したということで、早めに修繕しております。緊急性の高いものにつきましては、施設の方とも相談し、現在のところは特に、対処するところはないということです。今後、発生するものにつきましては、屋根の防水とか外壁の修繕とかになると思いますので、そこも状況判断しながら的確な時期に対処したいと思っています。</p> <p>あと、工事のために、財政的な余裕が出てきた場合には基金の方に積み立てを行いまして、対応していきたいと考えております。</p>
菅原(史)委員	<p>ということは、設備施設に対しての今後の計画的な修繕計画というか、各々の機械が突発的はともかくとして、耐用年数とか当然あるので、その辺についてもある程度計画というのは出しておいた方がいいような感じがしますけど。</p> <p>それについての考えというのは今のところ、お持ちじゃないという理解でよろしいのでしょうか。</p>
北嶋課長	<p>大規模修繕計画的なものがあるかどうか、ということになるかと思えますけども、確かに話ししましたようにそれこそ突発的にといいますか、結構お金のかかる非常用発電機ですとか、空調設備についてはまず終えているような状況となっております。正和会とも連絡といいますか打ち合わせしながら、大規模なところ、今のところ不具合はないということではあるわけなんですけども、今後のことを見据えた修繕計画の方は確かに必要であろうというふうには考えております。できてから20年ほど経っておりますので、そういったことも踏まえながら、計画を立てていかなければならないというふうに思っております。</p> <p>今のところは特段悪いところを潰していつているというような状況ですので、今後考えられるその修繕が必要な箇所については、年次計画を立てながらやっていきたいというふうに思っております。</p>
菅原(史)委員	<p>そういうことを念頭に置いていろいろやっていただきたい。</p> <p>全然話は違いますが、参考までに、今、施設、デイサービス、ショートステイ、ケアハウス、それぞれ定員があると思えますけど、定員に対してそれぞれ状況はどんな感じか、資料的なものがちょっと見当たらないですが、教えていただければ。</p>

発言者	発言要旨
小野課長補佐	<p>施設のひだまり苑に対しては定員全部入所しているかと思えます。50 人です。その他については、平均の利用者数、直近になってしまいますけども、通所介護につきましては平均利用者数が大体、今 10 人くらいの利用者数となっております。</p> <p>そしてショートステイにつきましては、今の段階ですと大体定員 10 人に対して 9.5 人の利用率ということとなっております。</p> <p>ケアハウスは、今 17 人の定員で 17 人の入居となっております。</p>
菅原（史）委員	<p>施設、定員がいっぱいということ、ちなみに待っている人というのはどのくらい、両方ですが、なかなか入りたくても入れないという世の中ではあるのですが、どんな感じでしょうか。</p>
小野課長補佐	<p>9 月末現在となってしまいますけども、55 人待っている人がいると聞いております。</p>
松本委員長	<p>ほかに、質疑はありませんか。</p> <p>ないようですので、介護サービス事業特別会計についての質疑を終わります。</p> <p>次に、議案第 26 号「令和 5 年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案」について当局の説明を求めます。</p>
木阪主任	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>ただ今、当局より説明のありましたことについて、質疑及び意見を求めます。質疑ございませんか。</p>
菅原（史）委員	<p>前も聞いたかもしれないので申し訳ないですけど、広域連合への納付金、例えばこの地域で高齢者の方が元気ほとんど使わないよ、といった場合に、この納付金というのは額が下がって、要は使うその地域で使ったやつに関係するのか、それともその地域の医療費がかかったときに関係するのか、それともそういうのは関係なくて、ある基準で自動的に割り当てされるのか、ちょっと教えてください。</p>
木阪主任	<p>こちらの納付金は、主に低所得者の保険料の負担部分と、あとは 75 歳以上の方の保険料が主になりますので、村の方が納める保険料は申告に基づい</p>

発言者	発言要旨
	<p>て計算されており、所得が多いと保険料も高くなってしまい、納付金もそれに伴って高くなってしまいます。</p> <p>村の方があんまり医療費を使わなければ、広域連合への納付金が下がるかもしれないという部分は一般会計の 101 ページですね。この広域連合負担金の療養給付費の村負担分が下がっていくことになります。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(10:20)</p> <p>再開します。(10:21)</p>
木阪主任	<p>もう一度最初からお答えします。</p> <p>こちらの納付金ですが、全国一律で保険料が計算されていますので村に入ってきた保険料をそのまま 後期高齢者広域連合に納めるという形になりますので、村の方がどれぐらい医療機関を利用したとか、健康度がどれくらいだということは直接的にはあまり関係してこないことになります。</p>
石井委員	<p>主要な施策の 27 ページに、予算の下の棒グラフなんですけど予算額の推移ということで、右肩上がりですごく上っていておられますけれども、人口構成的にいつかは何かを言いますか、頭打ちになるというか、なると思うんですけども、そういう予測とかというのはされているのでしょうか。</p>
木阪主任	<p>2025 年あたりに保険料部分や高齢者の人数のピークを迎えて、2040 年ぐらいにかけて段々減少していき、その後横ばいではないかという、人口関係や医療介護部分に関してはそういう予測がされています。少子高齢化ということもあり、保険料の部分に関しては負担が少し増えていき、現在、最上限で支払う額が年間 66 万円ですが、最近の報道では、それを段階的に 2025 年度までに 80 万円に引き上げるということになっています。2025 年度までは人口構造に伴って医療費や保険料の負担が少し引き上がるという予想で計画されています。</p>
松本委員長	<p>ほかに、質疑はありませんか。</p> <p>ないようですので、後期高齢者医療特別会計についての質疑を終わります。</p> <p>以上で福祉保健課部門についての質疑を終わります。</p> <p>休憩します。(10:24)</p>

令和5年第1回(3月)大潟村議会定例会
 令和5年度大潟村歳入歳出予算特別委員会 会議記録
 【 生活環境課 】

招集年月日	令和5年3月10日(金)		
招集場所	役場2階 「第一会議室・特別会議室」		
開会日時	令和5年3月13日(月) 10:35~15:30		
出席委員 (9名)	委員長 松本 正明	副委員長 黒瀬 友基	委員 工藤 勝
	委員 三村 敏子	委員 菅原アキ子	委員 菅原 史夫
	委員 齊藤 知視	委員 川渕 文雄	委員 石井 雅樹
	オブザーバー 丹野 敏彦		
欠席委員 (2名)	委員 山田 照雄	委員 戸部 誉	
出席職員 (10名)	【特別職】	【監査委員】	【議会事務局】
	副村長 工藤 敏行	代表監査委員 佐々木 秀樹	事務局 近藤 綾子 長
	【生活環境課】		
	課長 近藤 比成	主査 荒関 智彦	主査 石川 猛
	主任 平ノ内 亮	主任 松橋 耕平	主事 小野 舜
	主事 宍戸朱希子		

付託事件	議案第20号 令和5年度大潟村水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第21号 令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第22号 令和5年度大潟村一般会計予算案
	議案第23号 令和5年度大潟村診療所特別会計予算案
	議案第24号 令和5年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案
	議案第25号 令和5年度大潟村介護保険事業特別会計予算案
	議案第26号 令和5年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案
	議案第27号 令和5年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案
	議案第28号 令和5年度大潟村水道事業特別会計予算案
	議案第29号 令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計予算案

発言者	発言要旨
松本委員長	再開します。(10:35)

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>それでは生活環境課部門の審査を行います、初めに一般会計の審査を行い、その後、特別会計の審査を行います。</p> <p>それでは、一般会計の歳入部分について当局の説明を求めます。</p>
荒関主査	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>それでは当局の説明が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
三村議員	<p>21 ページの下の村営住宅使用料が減りますが、5 年度は何戸分になるのでしょうか。</p>
平ノ内主任	<p>令和 5 年度に関しては一戸建ての村営住宅 8 棟の解体を予定しておりますので、その分が減額となっております。それ以外の特定公共賃貸住宅および集合型村営住宅、定住化促進住宅に関しては、これまでと変わらずの戸数になっておりますので変更はありません。</p>
黒瀬副委員長	<p>関連してですが、今ある部屋、建物については全て埋まるという前提での予算になっているのでしょうか。</p>
平ノ内主任	<p>来年度解体する 8 棟に加えて、令和 6 年度に解体する箇所が 4 棟となりますので、そちらの方についての募集は行わず、このまま解体に向けて進んでいく予定となっております。併せて解体しない箇所に関しても基本的には入居想定をしておりますが、令和 6 年度に解体する箇所の方々の振替居住場所となる可能性もあるので、こちらで積極的な募集は行わずに進めていくという形になります。</p> <p>以上のことを考慮しながら、残っている部分の村営住宅に関しては、全て埋まる想定で予算を立てております。</p>
黒瀬副委員長	<p>35 ページの資源物売り払い収入について、内訳はわかりますでしょうか。</p>
宋戸主事	<p>こちらは古紙の売り払い分と、あとは鉄くず、金属類の売払収入となっております。</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	金属というのは缶等も含めてということですか。
宍戸主事	缶は含めておりません。金属鉄くず類です。
黒瀬副委員長	缶は含まれていないとのことですが、回収した缶はどのように処理するのですか。
宍戸主事	八郎湖周辺清掃事務組合、クリーンセンターの方に出しております。そこで処理されています。
松本委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>それではないようですので、生活環境課部門の一般会計歳入部分についての質疑を終わります。</p> <p>次に生活環境課部門の一般会計歳出部分について当局の説明を求めます。</p>
小野主事 石川主査 宍戸主事 松橋主任 平ノ内主任 荒関主査	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>当局の説明が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
菅原（ア）委員	<p>119 ページの墓地公園合葬墓検討事業として8万7千円が計上されております。前に一般質問したときに村民のアンケートなども行われた上で10年を目途にということは理解しておりますけれども、いよいよ始まったなという感じで、村民の中で待たれている人はいるわけですね。そこで今回検討を行って情報収集を進めていくということですが、具体的にどのように進めていくのでしょうか。</p>
近藤課長	<p>合葬墓についてですが、まず予算の方で見ていただくとわかりますが、来年度の予算は少額で見ております。まずは基本的なことについて、情報収集して皆さんで共有して検討していきましようということです。</p>

発言者	発言要旨
菅原（ア）委員	<p>村内の方を中心に委員の方を構成して会議を2回程、あと近隣で合葬墓を持っているところがいくつかありますので、そういったところを1回見学に行きたいと思っております。来年度としては以上のような状況です。</p> <p>村内の方を委員として決められているとは思いますが、2回程。そして視察研修も行っていくということですが、この検討委員会の委員というのは何名で構成されていますか。</p>
近藤課長	<p>人数に関しては10名ほど見ております。ただ、具体的に構成員の方を詰めたわけではありませんので、その範囲内で、検討して決めていきたいと考えています。</p>
菅原（ア）委員	<p>まだ決定されていないということですが、この10名の方というのはどういう方を想定されているのでしょうか。</p>
近藤課長	<p>村内各種団体で、墓地関係に関して意見を持ち、対象になりそうな方がいる団体を中心に考えています。あと墓地に関しては、墓地管理委員会がありますので、そういったところからもお願いできればと考えています。</p>
菅原（ア）委員	<p>自治体として一番最初に行われたのは秋田市と認識しておりますが、各自治体でもこのことに関してはこれからいろんな状況になっていくのではないかと考えています。実際、高齢の方からは10年と言わずに段階的な形で何とか村も進めてもらえないかという意見もいろいろいただいています。そういったことも背景にぜひお願いしたいと思います。</p>
菅原（史）委員	<p>99ページの村民センターについてですが、村民センターの管理を指定管理で行われていますが、キッチンについてフレミズさんからいろいろとお話いただきまして、キッチンの器具が劣化して、非常に不便だとのこと。昔は、大きな鍋を利用していたとのことですが、今使っている方々はそんなに大きな鍋じゃなく、小さいものが欲しい等、色々な要望をいただいております。</p> <p>また、包丁が切れなため非常に危ないという意見もあります。キッチンの品の管理は、指定管理と村のどちらが行っているのでしょうか。また、利用者から意見を聞く機会も必要なのではないかと思いますが、当局の考えを教えてください。</p>

発言者	発言要旨
近藤課長	<p>まず管理に関してですが、指定管理者にお願いしているところですので、もしそういった不具合等、気になるところがあれば、管理者に相談していただいて、対応していただくような形になります。この件は、先日伺っておりましたので、指定管理者の方にもお話しております。また必要な材料等に関しても、消耗品程度であれば指定管理費の中に入っていますので、その中で整備してもらえたらという話もしております。</p> <p>それから２点目に関して、今のお話と重複するかもしれませんが、ご意見に関しては、指定管理者にまずは上げていただければと思います。ただ、村としても指定管理者にお願いしている関係もありますので、村にお話していただければ村から指定管理者にお話して相談しながら進めてまいりたいと考えております。</p>
菅原（史）委員	<p>現在、キッチンに備えられている備品等の不備があるのであれば、村の財産なので、まず村で確認を取る必要があると思いますので、何かそういうふうな要望があれば、村ではなく指定管理者に、村民の方は言うのですか。例えば他の指定管理しているところも指定管理にその要望を言うということでしょうか。いずれも村民センターの場合は違うと思います。村も備品の管理のあり方について考えてもらいたいというような話がありました。今ある備品の劣化、確かガス台も火がつかないものもあるとの話がありました。そのような話を受けた以上は確認することも必要だと思いますので、その辺も含めてお願いします。</p>
近藤課長	<p>ありがとうございます。先ほどのお話でも、お伝えしましたが、指定管理者が現場にいて、直接管理して貸し出ししていますので、まずはそちらにお話していただいた方が早いのかなと思います。また言いにくいのであれば村に言っていただいても構いませんし、そのようなお話があれば、お互いに相談しながら進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、施設の大きな部分になりますと、指定管理では対応できなくて村で予算をつけて対応する部分もありますが、そのような部分も含めて、どちらでも構いませんので、ご相談いただければと考えております。</p> <p>実際利用されている方に対してそういった不具合や気になるところがあれば教えていただけるように、指定管理者からもお話するようお願いしてまいりたいと思います。</p>

発言者	発言要旨
菅原（史）委員	<p>そのようにしていただければと思います。指定管理先については、このような管理をしてくださいと伝えてあるのですね。備品の範囲を含めて、管理のあり方について相手には伝えてあるものなのですか。</p>
近藤課長	<p>通り一遍だったかもしれませんが、伝えてはあるような形です。ただその都度内容によって相談をいただいていますので、そういった中で話が上がってくるような状況を作れればと思っています。</p>
菅原（史）委員	<p>利用する方は要望等をどこにしていかわからないというのが現状あると思いますので、指定管理先と村の両方で吸い上げるようなことを考えていただければと思いますので、お願いします。</p>
菅原（ア）委員	<p>167 ページの橋梁補修事業についてですが、東 3 丁目と西 2 丁目で 632 万 5 千円が計上されています。先ほど、令和 3 年度で指摘されたものということですが、こういう補修事業というのはもちろん何年か経って指摘される部分もあろうかとは思いますが、完成後にこのように行われてきたのが普通というふうに考えればいいのでしょうか。それとも今回特別、不具合が見つかったので、この業務委託を行うということなののでしょうか。そしてこういう橋梁補修に限らず、工事の完成後にこのように補修を行われたというのは、大潟村ではありませんでしたでしょうか。</p>
松橋主任	<p>こちらにつきましては令和 3 年度に橋梁の一斉点検を行っています。この一斉点検というのは、現在法律で決められていて、5 年に一度、全国の全自治体が管理する橋梁について点検を行うものです。その点検の際に、村の管理する 30 橋のうち、不具合が見受けられた橋梁について令和 4 年度、また 5 年度からで対策を行うものとなっております、直近に工事が完了したものではありません。</p>
菅原（ア）委員	<p>直近の工事ではないということで、5 年に一度こういう点検が行われるということで、今回東 3 丁目 1 号橋というのと、西 2 丁目 1 号橋に関して、これ以外に不具合はないということの理解でよろしいでしょうか。</p>
松橋主任	<p>この 2 橋に加えてもう一つ北の橋ですね。こちらは支承という部材の破損が見受けられまして、令和 3 年度点検で破損が確認された後すぐに借受の部材を置いて応急対策工事を行っています。令和 4 年度にこの支承の交換工事</p>

発言者	発言要旨
菅原（ア）委員	<p>に伴う基本設計の委託を行いまして、令和5年度に実施設計と取り替え工事を行うものです。この3橋が令和3年度の点検を受けて、対策が必要と認められた橋になります。</p> <p>5年に一度の点検ではこれ以外の不具合はないということによろしいでしょうか。</p>
松橋主任	はい、その通りです。
石井委員	119ページの八郎湖水質改善の無代掻き補助金は、だいぶ去年から増えたようなイメージなのですが、取り組みの面積が増えているからということなのでしょうか。内容を教えてください。
石川主査	<p>大きく過去と変化があったのは、無代掻きに加えて無落水、GNSSの自動アシスト等を活用した水を落とさずに定植する、こちらも水質保全に資する一定の効果があるということで、県の方でメニューを追加しています。昨年度始めて、今回の予算として2ヶ年目。この無落水定植の伸びがかなりあり、土地改良区さんのサポートで、GNSS型の田植え機の導入が進んでるといこともあって、その分を勘案して予算としては、トータルで上積みしているところです。無代掻きの方は昨年度、今年度と比較すると若干減っていますが、400haの中で10haに1haぐらい。これはどうしても漏水対策の状況ですとか、天候のタイミング等もあって、取り組みそのものが、減少しているというよりは、農法的な天候的なタイミングの問題ということで、取り組む方についてはむしろ増加しているのかなというのが県の見解です。この二つの要因で、予算としては増額という形になっています。</p>
石井委員	ちなみに10aあたりいくらという金額を教えてくださいのと、無代掻きは、失敗すると雑草で大変なことになりますけど、多分パンフレットか何か作って指導はしているとは思いますが、その対策についてもお願いします。
石川主査	まず直接的な補助金額としては、県の方で10aあたり1,000円に、村の方でも10aあたり1,000円を、協調助成しているようなイメージですので、取り組む方からすると10a当たり2,000円。ただし導入から3回目の受け取りまでがこの補助金の対象となります。農法の新規導入に対するサポートです

発言者	発言要旨
	<p>よというメッセージです。無代掻きについては、4ヶ年目以降継続される方については産業振興課の方で環境直接支払、こちらの方にも無代掻きへの取り組み助成というのが設けられておりますので、4年目以降は単価としては若干目減りしてしまうかもしれませんが、そちらの方で受け皿として整えているところです。</p> <p>2点目の雑草対策等については、昨年議会の方でも、川渕議員はじめご意見いただき、効果的な除草対策、農薬の使い方を含め県の方にはこうしたご意見要望等があったという旨をお伝えしております。県の方も具体的なメーカー名、農薬名を広く知らしめ、マニュアルやチラシの方に記載するのはちょっと立場上難しいながらも、技術普及のためのパンフレット等については毎年度見直しして、少しでもわかりやすくするためにということで更新していただいています。今回も、県の方から皆様向けに配布して欲しいという旨で、依頼があり対応しましたが、引き続き、課題やご意見も随時いただきながら、県にお伝えしますので、県の方でもなるべく普及していくように対応してくれるものと思っております。</p>
齊藤委員	<p>129 ページの一番上の八郎湖清掃組合に関するのですが、負担金4千万ほどとなっていますが、現状を考えると燃料費ですとか電気代が相当上がっていますので、むしろ増えるのではないかと思います。3百万ほど昨年度より減額ということで、村からクリーンセンターに持ち込むゴミの量が相当減るということを想定しての予算なのでしょうか。</p> <p>ちなみにここの最近のこのゴミの量の推移について、わかりましたらお願いいたします。</p>
宍戸主事	<p>八郎湖周辺清掃事務組合の負担金ですが、確かに光熱費に関しては増額されていますが、一方、平成18、19年度の起債償還が終了ということで公債費負担金が減額されているため、トータルでは減額となっております。</p> <p>ちなみにゴミの量については、年度によって差はあるものの、ほぼ横ばいで、若干減少傾向ではあります。</p>
黒瀬副委員長	<p>何点かあるのですが、まず最初に99ページの村民センター管理運営事業の中の委託料で西1丁目センター分館の樹木整備、こちらの内容詳細を教えてくださいたいのと、この他の分館はないのかというのが1点。</p> <p>127ページのゴミ箱の蓋の更新ということで今年度全て行うという話だったのですが、これは形が一つに決まってそれにするという事なのか。これ</p>

発言者	発言要旨
	<p>に関して委託料とあと消耗品費から計上されたと思うのですが、これはシルバーに委託して行うというお話でしたでしょうか。</p> <p>それと 165 ページの村道歩道補修事業で、村道南 1 号線というのが補修に入っていますが、これがローソンと神社のところというお話だったと思うのですが、以前から大学生が歩くという話があって、歩道の整備ができないとかいろいろ出ていたと思いますが、歩道の整備は無理にしても何かしらその補修の段階で、例えば白線の引き方だとか何かで対応を考えておられるのか、もしくはできないものなのか。</p> <p>それと、そのページと次のページに続いています、歩道の改修工事というのはどこを行うものなのか、その辺りを教えていただければと思います。</p>
小野主事	<p>黒瀬副委員長の質問にお答えいたします。まず初めにご質問いただきました西 1 丁目の村民センター分館樹木整備業務委託料ですが、こちらは 1 丁目の分館敷地内にある木が腐りかけておりまして、風が吹いて倒れると危ないということで倒れる前にあらかじめ整備ということで木を切るといったものになります。他の分館に関しては、木が腐っているですとか、そういったことはないと認識しております。</p>
宍戸主事	<p>二つ目の質問にお答えします。集塵箱の蓋についてですが、現在村内にある集塵箱の中で約半数の 50 個程度が古いタイプのもので、蓋が 1 枚でできております。鉄製なので大変重くて、交換してほしいという声が多くあがってましたので来年度、黒くて樹脂等でできた軽いタイプのものに全て交換する予定です。</p> <p>消耗品費で挙げているのはその部材の分であります。もう一つその委託料ですけれども、こちらはシルバーの方に作成と設置をしていただく想定にしております。</p>
松橋主任	<p>三つ目ですね。南 1 号線の舗装に伴う歩道の大学生の対策ですけども、まず今回舗装補修に伴って、現在の区画線、外側線が全く見えない、消えている状態です。それは舗装補修に伴って引き直しはいたしますけども、特別外側線を内側にするとかそういったことは特に考えておらず、現在ない外側線が再び引き直されることによって、そちらの車道側と学生通行人がたまに歩いてしまう側の区分けがされる形になります。</p> <p>また令和 4 年度に、舗装は関係ないのですが、街灯の方を新設いたしまして、そちらで夜間の視認性が向上されていると思っています。そこに歩道を</p>

発言者	発言要旨
	<p>設置すること自体に関しましては、現在の村の中の歩道の改修を行っていきまして、これら全て終わってからの検討としておりますのでご了承ください。</p> <p>四つ目、令和5年度予算に計上されている歩道の整備は、どこかということですが、令和4年度に西1-1の住区前の歩道を改修しました。令和5年度はその反対側西2-1と西2-2の南側の干拓通り側の歩道の改修370mを予定しております。</p>
黒瀬副委員長	<p>ありがとうございました。全部わかりました。歩道の改修について、来年度、西2-1側というか今の西1-1の反対側ということですが、これは全体の補修を見てというか、歩道の傷み具合を見ながらという形でやられているのでしょうか。というのは、あそこは通学路とかではないと思うので、そういう意味でいくと通学路としての優先度等、その歩道の改修との関連性というのは何かあるのでしょうか。</p>
松橋主任	<p>現在行っている改修につきましては、歩道の損傷具合、傷み具合を見て改修の計画を立てておりますが、通学路等歩道につきましては、穴が開いたりとか、ちょっと草が生えてきて歩きづらい等の場合ですと、村道歩道補修事業でパッチングにより順次対策を行っていきまして、痛みが年数の経過によってばらつきがあると思いますので、そちらにつきましては順次見直しを行っております。</p>
三村委員	<p>関連してですが、せっかく白線を引き直す神社、ローソンへ行く道路。街灯をつけていただいて、明るくなっているのをそこを歩くとすると、白線を引き直すときに歩ける程度に広くできないのか。あそこは横断歩道もなく、神社側の方に街灯がついたのでそちらの方を歩いた方が安全かなとは思いますが、大学へ行くところに歩道がないということで、令和4年度に情報収集して、令和5年度には少しまた進んでいくのかなと思っていたのですが、また西2-1ということで、住区内の総合中心が終わってまた2回目に入ってしまったのではないかと、その前に大学へ行く歩道の方が全然進んでないような気がするのですが、令和4年度情報収集していただいたと自分では思っているのですが、どのような情報収集がされて令和5年度にはその大学への歩道というのは進まないのか、今の説明だと何もなかったような感じがしたのですが、どうなるのでしょうか。</p>
松橋主任	<p>令和4年度に行った情報収集ということですが、まず意見がございま</p>

発言者	発言要旨
	<p>してから、一度全体で歩道を新設するのに幾らぐらいかかるかという検討をいたしまして、とても多額な予算がかかってしまう。それに伴って、補助金と何か活用できるものがないかということを経済調査いたしました。こちらにつきましては、歩道の整備に関する補助金ですと、通常の通学路に指定されている路線とか、そちらの方は補助金がつくのですが、ちょっと通学路とは言えないので、また他の補助金も特に活用できそうなものはないというふうになっております。それがまず令和4年度の経済調査の状況でございます。現在行っている総中内の歩道の改修につきましては、現在行っているものを全て終わるのが令和8年度以降の予定になっておりますので、そちらが終わってから検討という形になります。</p>
三村委員	<p>多額の費用がかかるだろうなとは思いますが、どのくらいかということ、多額であっても年次計画で重要なところ、ここは必要なんじゃないかというところから短い距離でもいいのでやっていくとかそういうことはできないのかということ、白線の引き直しは道路交通法等で規制があつてできないというのであれば無理でしょうけど、もしできるのであれば、少しでも歩く部分を広くしていただければと思いますが、どうでしょう。</p>
松橋主任	<p>まず歩道の方につきましては、概算でおよそ1億5千万円かかってしまうという当時の算定がございました。現在もう少し上がっているかと思えます。</p> <p>白線の引き直し方につきましては、交通量等を勘案して車線の幅が決められておまして、そちらでもやっぱり車側にはどうしても縮められないというところがあります。白線を引いた後ですけども、あの舗装されているアスファルトの外側にちょっと草地ありまして、他の路線よりもまめに除草して人が通行できるように管理していますので、そちらを活用していただければと思っております。</p>
石井委員	<p>大学からのローソンまでの歩道というのは、よくこの議会の中で話題に出ますけれども、そもそも大学側からそういう要望は出ているのでしょうか。</p>
近藤課長	<p>私の方では特に把握してございません。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(11:55) 再開します。(13:27)</p>

発言者	発言要旨
菅原（ア）委員	<p>167 ページの先ほど質問しました橋梁補修事業についてですが、業者が行う仕事というのは設計に基づいてやるものだと理解しておりますが、この3件の不具合というのは、例えば設計に指摘された事項が含まれていなかったのか、あるいは業者が行った事業の方が適切ではないと判断されたのか、それによってこの業者の負担等が関係してくると思いますので、3件の不具合の内容について、教えていただけますでしょうか。</p>
松橋主任	<p>まず東3丁目1号橋と西2丁目1号橋、こちらについては、床版という部分のコンクリートが経年劣化で損傷してしまっていて、鉄筋まで露出しているといった不具合があり補修するものです。北の橋の支承の取り換えに関しましては、この支承の破損というものも供用開始から50年を経過しましたので、経年によるズレ等によるものと思われれます。当時の施工業者の施行上の不具合といったものではなく、経年劣化等によるものと考えております。</p>
菅原（ア）委員	<p>わかりました。経年劣化ということでその工事そのものが指摘されたものではないということですね。</p>
三村委員	<p>167 ページに北1丁目インフラ整備事業の北1丁目村道設置工事ですが、ここの8棟の村営住宅を壊して、今の道路は使えなくて、どこか別にもっと道路をつくるということでしたか。</p>
松橋主任	<p>令和4年度に、今建っている集合住宅の前に村道を新設しました。 既存の村道と墓地公園の間に一本通したのですが、その村道から今度、既存の村道にL字で繋ぐような形の動線を想定してしまっていて、このL字の最後の部分約23mの新設です。</p>
黒瀬副委員長	<p>北1丁目に関連して今回8棟の解体とのことですが、これまでの説明では6棟もしくは12棟かと思っていたのですが、8棟というのはどこの部分で、それ以外の部分は今後どうするかについての方針は決まっているのでしょうか。</p>
平ノ内主任	<p>村営住宅が建て替えられる箇所というのは現在12棟並んでいるところの体育館側の北側6棟となります。体育館側の残り2棟に関しては、新しい村営住宅を建てる際に工事用車両等の駐車等のスペースとして、確保するもの</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>であり合計 8 棟の解体で今回の予算を計上しております。</p> <p>先ほど申し上げましたが、今回解体しない残り 4 棟分に関しては、令和 6 年度に改めて予算を計上して、解体を進めていくこととなります。</p> <p>わかりました。ありがとうございます。ちなみにここ 12 棟はもう全部人がいない状況ってことでいいでしょうか。</p>
平ノ内主任	<p>来年度、建て替えする 8 棟に関しては全て退去が確認されております。12 棟分まで広げますと 1 世帯だけを除いて退去時期の確認が取れております。残りの 1 世帯に関しても 9 月末までの退去確認は取れている状況です。</p>
松本委員長	<p>他にございませんか。</p>
三村委員	<p>村づくり懇談会のときにもフレミズから出ていたのですが、歩道通学路の側溝のところ網がかかっておらず歩道を走ってきた自転車が歩道からそこに突っ込むと危険なので、そこを網等で蓋をしてくださいということだったのですが、たしか村づくり懇談会でも要望していたと思うのですが、これはどのように対応されるのでしょうか。</p>
松橋主任	<p>今言われたような要望は今回の村づくり懇談会では、たしか上がっていませんでしたかと思えます。今後具体的に場所等をこちらの方にご指摘いただければ、また検討しますのでよろしくお願ひします。</p>
松本委員長	<p>他にございませんか。</p>
菅原（史）委員	<p>93 ページの交通安全防犯対策費の中の防犯カメラは 112 万円の工事費になっていますが、これはどこに何台設置するのでしょうか。今年度、2 台で 80 万円ほどの予算だったと思うのですが、大体どういうところに付けていくのか、説明いただければと思ひます。</p>
小野主事	<p>この防犯カメラの事業ですが、令和元年度から令和 5 年度にかけて 5 ヶ年計画で、1 年度あたり 2 台設置するもので、5 年度で事業が一旦ひと区切りとなります。今年度分の設置の予定箇所としましては、神社付近の十字路とふれあい健康館の付近を予定しております。</p>

発言者	発言要旨
菅原（史）委員	これは目的としては主に交通安全や防犯の観点から設置しているのですか。また、設置箇所は住宅外になるのでしょうか。
小野主事	<p>まず防犯カメラの設置にあたりましては、防犯協会や交通安全協会等の交通安全防犯に関する団体の方々と協議を行いまして、設置場所を決めたという経緯がございます。</p> <p>目的としましては防犯や交通安全上の観点からの設置となっております。</p>
菅原（史）委員	今年設置する場所は子どもはあまり通らないと思います。防犯カメラは全体を見渡せるような形で設置すると思いますが、村では防犯とか交通安全の観点から、必要箇所について相談してつけているということですね。ちなみに去年設置した場所を教えてください。
小野主事	4年度設置した箇所に関しましては、東の格納庫団地へ向かう東2丁目と3丁目の間の十字路と北2丁目と東3丁目の間の十字路の計2ヶ所に設置しております。
菅原（史）委員	<p>はい、わかりました。</p> <p>169ページの村営住宅整備事業の電柱移設補償金の件についてですが、これは電柱を移動するための補償金ということで、無事に移設された後に、返金されるものなのでしょうか。</p>
平ノ内主任	<p>本補償金は村営住宅の解体および建て替えに伴い、工事用車両がどうしても入れない等の理由から電柱を移設するものであり、移設後は移設先にそのまま設置されることとなります。そのための移設に伴う工事費用の負担分という意味合いの予算になります。</p> <p>解体箇所と継続居住箇所が一例となっており、そこに電柱及び電線が設置されているため、電柱を完全に撤去してしまうと継続居住箇所に対し電力の供給ができなくなってしまうため、移設という形で東北電力に対し相談を行ったものであります。その移設に伴う補償金として支払うための予算で返金が生じるものではありません。</p>
菅原（史）委員	何本ぐらい移動する予定ですか。
平ノ内主任	現地で東北電力及びNTTと協議した際は、移動が1本、新設が2本程度で

発言者	発言要旨
菅原（史）委員	<p>電力の供給は問題ないとの見解をいただいております。費用についても現段階では概算での計上となっておりますので、打合せの内容に基づき移設を進めていく過程で移設に伴う費用が明示される予定です。現段階では予算に不足が生じないように予算措置をお願いしている状況になります。</p> <p>こちらの都合で電柱を移設する場合は必ずこのぐらいの金額が発生するということですか。1本2本でこの金額だったらちょっと高いと感じるのですが、こちらの都合となると、このような費用が発生するということでしょうか。</p>
平ノ内主任	<p>このような移設を伴うケースに関しては発生すると思います。</p> <p>今回の予算は概算であり、請求額が確定した際に不足とならないよう計上させていただいたものであり、最終的には予算と比較し大幅に減額となることも想定されます。</p>
菅原（史）委員	<p>普通電気を引く場合には、料金が掛からないとおもうのですが、今回は電柱ということで費用がかかることになるのでしょうか。</p> <p>東北電力の方で決まっているのですか。</p>
平ノ内主任	<p>例えば今、電気を引っ張っている家屋があって、そちらの方にもうこれから電気は供給しなくていいというような場合は東北電力の方で、不要と判断し、撤去費用は全部東北電力の方で、また電話の場合にはNTT側で負担することになると思います。</p> <p>ただ今回の場合は、建て替えて、電柱電線は、解体する箇所と解体しない箇所が1列で並んでおり、解体しない箇所に関しては、電気の供給を滞らせるわけにはいきませんので、解体しない箇所に電気を供給できるような形をとらなければいけません。そのための電柱移設ですので、今回は費用が発生するケースになると考えております。これが完全に今の箇所を撤去してそれで終わりであれば東北電力側で撤去して終了なのですが、移設して新たにまた電力供給しなければいけないということで、補償金が発生するという理解をしております。</p>
川淵委員	<p>167 ページにあります防雪策の設置工事、これは八郎潟に向かう最初の交差点、その場所の1ヶ所の工事代金ですか。</p>

発言者	発言要旨
松橋主任	川淵委員のおっしゃった場所 1ヶ所の約 100mの設置の工事費と、委託料となります。
三村委員	123 ページのソーラースポーツラインの指定管理料ですが、ルールが指定管理を受けていると思いますが、ルールでは従業員数が非常に足りないというような話を聞いていますが、こちらの指定管理に関してはルールの方から従業員が足りないというようなお話はないでしょうか。
石川主査	特に我々の方にスポーツラインの指定管理についてのそういう人員の不足等については連絡・相談はない状況です。
三村委員	指定管理の業務に関しては全然支障がないということによろしいでしょうか。
石川主査	スポーツラインの指定管理については、支障は出ておらないと認識しております。
黒瀬副委員長	同じく 123 ページのソーラーイベント大会補助金が今回 30 周年で 50 万円増額というのはわかりました。ソーラーイベントですが、関わっている方がいらっしゃるのですが、なかなか村民の方としてはあまり馴染みがないというか、あまり関わりがない中でずっときているような感じも、徐々にむしろ減ってきている感じもあるので、せっかく 30 周年で、この先も継続するというのであれば、別にこの予算が駄目だという話ではないのですが、今後村民の方の関わりがもうちょっとはあるような、何かそのあたりの形を主催者なりが考えていくような形で進めてもらうようお願いできないものでしょうか。
石川主査	まずはこのようなご意見があるということを主催者の方にお伝えしますし、村の方でも主催者に丸投げというわけではなくて一緒になってできる部分については協力してサポートして参ります。ありがとうございます。
黒瀬副委員長	123 ページの自然エネルギー100%の村づくり推進事業で 9 億 9,700 万ということですが、8 億 6 千万ほど、今年度の予算が繰り越しになる見込みだという中で、この予算に載っている以上、予定通りできるだろうと考えておられると思うのですが、国の事業的にはこの 5 ヶ年で全部やる必要があるの

発言者	発言要旨
石川主査	<p>か、例えばその中でその9億9千にながしの、来年度の予算は絶対来年度の予算として計画して国から受け取る必要があるのか、例えばそれをその次年度以降2倍とかそういう形もあり得るのか、そのあたりはどういうものなのでしょうか。</p> <p>黒瀬副委員長のおっしゃる通り事業の進捗状況いかによっては、令和5年度の計画当初として要望したいと積み上げた額について、いわゆる後ろ倒しや5年のうちの残り3年でやる形に組み替えるような作業は、発生する可能性はゼロではないのかなと考えておりますが、現在のところ初年度に2ヶ年度目で実施したいと申し出たものに対して、まず予算としては措置していただきたいというところであります。国の方からも村としても、まず令和4年度の繰り越し扱いのもの、こちらが後に続くための1番目のスタートの予算8.65億であるという認識は持っていますし、まずそちらを優先的に執行していただいて、その後に当初に積み上げている額、こちらについても、お互い相談連絡し合いながらよりよい活用について、やり取りしていきましようという形になっております。当初の積み上げとしては、9.8億というのは2ヶ年目のものとして、まず予算計上させていただければと思っているところです。</p>
黒瀬副委員長	<p>そうすると、例えばこれが予算として決まって、年が明けて早々に国に申請して国から推進交付金が一気に下りてくるという話ではないという理解ですかね。</p>
石川主査	<p>おっしゃる通りで、通常であれば、令和4年度分の失効に伴う実績という形で、2ヶ年目、4月5月に、今度はこの9.8億を活用して、2ヶ年目の実施したい事業について、村としては国の方に交付申請、国から2ヶ年目の事業推進に必要な予算を交付決定というこのような状況ではありますが、現状、今年度より繰り越す、令和4年度の事業執行の実績の方がまだ国からしますと見えてこないという状況でもありますし、村自身もまだ事業実施主体オーリスからの実績報告という形では予算から見ると出ておらない状況ですので、まずはその姿、予算の使い方、事業の進捗について、令和4年繰越の分をきちんとお示しできる状態になった後に、この令和5年措置分について、交付申請といいますか、予算のお願いをしていくという形ですので、これが令和5年度上半期なりに先に村の方にお金として交付決定されるというやり取りではないというところです。</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>わかりました。そうなってくるとある程度今、4年度の分の事業の進捗状況が全てを使い切ったって話ではないのでしょうかけれども、見えてからというお話になってきたときに、例えば令和5年度に予定していた電力と多分もみ殻バイオマスとあって、例えば電力だけ進捗が順調にっていて、9億8千万1括ではなくて、そのうち、早い段階で見通しが立った分の例えば電力の方だけ、半分だとするならば5億なりを申請して通す。その後もみ殻が見えてきて、来年同じ額や今の9億8千万やるにしても、2回に分けてとかそういう形も可能ということなののでしょうか。</p>
石川主査	<p>おっしゃる通りでございます。交付金のルール、要綱要領上も、この積み上げた当初予算額を満額1回で交付申請交付決定するとはなっておらず、まさにその進捗状況によって柔軟に、例えばもみ殻バイオマス熱供給の方がテンポアップできて令和4年度繰越分をもってしても、不足といたしますか、テンポよく進めるためには、令和5年度分の方を幾ばくかでも、いただきたいということであれば、先んじて熱供給部分だけを交付申請交付決定いただくとか、そういった事務的なやり取りの柔軟性といたしますか、現実に即した対応は、国の方でも対応可能という形でやり取りしていますので、おっしゃるようなやり取りは発生する可能性は十分ございます。</p>
工藤委員	<p>174 ページ 175 ページの消防ポンプ車更新事業ですが、今現在使っている消防ポンプ車は何年ぐらい経ったものなののでしょうか。</p>
小野主事	<p>現在のポンプ車は平成17年度に導入しております、17年以上が経過しているものになります。</p>
工藤委員	<p>わかりました。これはなぜ更新しなければいけないということになったのでしょうか。</p>
小野主事	<p>導入から年数が経っており、年数経過とともに老朽化が見受けられるためです。4年度においては、夏頃にポンプ車の真空ポンプが故障しまして、放水ができないといった状況が発生しております。そのようなこともありますのでポンプ車の更新を行うものです。</p>
工藤委員	<p>この新しく更新するポンプ車というのは、今あるものと同等のものを購入</p>

発言者	発言要旨
	<p>するということでしょうか。</p>
小野主事	<p>ポンプ車の性能としましては、現行のものより優れたものになっております。現在のポンプ車は、1分間当たり2,350L水を放出することができるものでして、来年度更新予定のものは、1分間当たり2,660L最大で放出できるものとなっております。ですので、現行のものに比べて1分間あたり300L以上多く水を放出できるといった性能になっております。</p>
黒瀬副委員長	<p>ポンプ車の更新の話ですが、ポンプの経年でそろそろ買い換えなきゃいけないことはわかるのですが、ポンプの性能ってあげる必要があるものなのですか。何か不足しているとか、そういうものがあるものなののでしょうか。</p>
小野主事	<p>近年、災害が大規模化しておりますので、より性能の良いものを購入して万が一災害があった際に、対応できるよう性能の良いポンプ車を購入するものです。</p>
三村委員	<p>防災に関してですが、防災訓練において、シミュレーションで構いませんので、道路に水が冠水して車が走れなくなったとき、どういうことが起きて、どういうふうにしないといけないのか、どういう状況だと逃げないといけないのかとか、村民と話していると心配されています。そのため、訓練までいなくてもシミュレーションを行っていただくことはできないのでしょうか。</p>
小野主事	<p>いただいたご意見も参考にしながら、防災訓練等で関係団体と連携しながら検討してまいりたいと思います。</p>
松本委員長	<p>よろしいですか。 他にございませんか。</p>
黒瀬副委員長	<p>総合施設費の175ページの今のポンプ車の下のところに、災害時避難場所整備事業の駐車区画線設置工事というのは、どこの話になるのでしょうか。</p>
小野主事	<p>これは西5丁目の避難場所となります。場所としては、県道沿いのスペースになります。こちらは、現在駐車場の区画線を引いていない状態でして、万が一、車両が避難してきた際にスムーズに避難できるような形を整えるとい</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>った意味で区画線を整備するものになります。</p> <p>それは道の駅の整備じゃないのですか。道の駅で混雑時にあそこ多分駐車場としても使われていますよね。これは消防費になるものなののでしょうか。</p>
近藤課長	<p>この駐車場に関しては、災害の避難用ということで作った経緯があります。ただ、道の駅の前ということで活用できればというのもありまして、一部使えるようにはしているところです。今回区画線を引くことによって、道の駅の駐車場としても活用できればというふうには考えております。ただあくまで災害避難用として整備したものにはなっております。</p>
黒瀬副委員長	<p>そうすると今後災害が起きたときには使うもので、防災用の拠点として整備したので白線も消防費として今回整備するということになるのですけれども、今後、防災面では、幸いにも災害が起きず、このまま使われなかった場合に、道の駅の通常の駐車場として使い続けて、修繕が必要になった場合の補修費用は、ずっと消防費から出続けるということになるのでしょうか。</p>
近藤課長	<p>この場所自体がそういった場所として整備して管理もこちらの管理ということで、そういった形で考えております。</p>
菅原（史）委員	<p>あそこを整備したとき、たしか防災の場所ということで線は引けないという話で、駐車スペースで明確にやったらできないという話ではなかったのでしょうか。何かの制約で、あえて線を引いてなかったと記憶しております。</p>
近藤課長	<p>はっきりはわからないのですが、当時好ましくないというような話はあったようです。ただ、今回また改めて県の方に確認したところ、引いても大丈夫だというふうに聞いております。</p>
齊藤委員	<p>今の話ですが、本来避難場所であれば駐車場として普段使うこと自体果たしていいのか、例えば緊急車両等が集まる、使うとかいうことを考えたら、確かに道の駅の駐車場が狭いので、使うというのはわかるのですが、本来の避難場所としてその機能を維持するために、今の利用の方法で果たしていいのでしょうか。</p>
近藤課長	<p>その辺りも県には確認したのですが、いざというときに使えるような管理</p>

発言者	発言要旨
	<p>の仕方を工夫すれば大丈夫と伺っております。ですので、大きなイベント等あったときですとか、そこが使われる可能性がある場合は、状況によって駐車場として使えるスペースを、調整するなどして工夫しながらやっていけばいいものと考えております。</p>
齊藤委員	<p>いずれ災害はなかなか予測できないときに起こるものですので、いざというときに十分配慮しながら運営していただきたいと思います。</p>
松本委員長	<p>161 ページの負担金補助及び交付金の一番上の八郎潟線道村大川線改良整備期成同盟会負担金。これは、どういったことが協議されて、将来的にどういった目標なり目途なりで結成されているのか教えていただければ。</p>
松橋主任	<p>県道道村大川線については、関係市町村が多いということもあり、整備や維持補修について広域的に要望するため、期生同盟会が組織され要望活動などを行っております。その他の県道につきましては、管内の自治体が各自要望するといった形が多いです。</p>
松本委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>ないようですので、生活環境課部門の一般会計歳出部分についての質疑を終わります。</p> <p>次に、特別会計の審査に移りますが、特別会計は、歳入、歳出を一括で審査してまいります。</p>
平ノ内主任	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>当局の説明が終わりました。</p> <p>質疑に入ります。大潟村水道事業特別会計の歳入及び歳出部分について質疑ございませんか。</p>
菅原（ア）委員	<p>389 ページの水質検査業務委託料についてですが、4 年度は新たに取水場でネオニコチノイド系農薬を検査し、水道の蛇口の水でも検査することを検討しているという説明を受けていたことを理解しておりますが、その進捗状</p>

発言者	発言要旨
平ノ内主任	<p>況、あるいはその結果はどうだったのか、そういうことは村民に周知されているのかどうか、伺いたと思います。</p> <p>ネオニコチノイド系農薬の検査に関しては、令和4年度は7月と10月の採水により、結果を確認しました。本来6回で予算は計上していました。一部タイミングを逃してしまったこともあり、2回の採水検査を行い、どちらも検出限界値未満、要は検知できないような数値となっております。11月以降に関しては、農薬が貯水池には残らないだろうとの想定で、それ以上やってもおそらく同じ結果が出るということで、それ以降の検査をやらずに、令和4年度はこれで終わる予定であります。</p> <p>公表に関しては、問い合わせがあった方にはお答えをさせていただきましたが、ホームページ等での公開はしておりません。ネオニコチノイド系農薬に関しては水道水の検査を行う項目に入っていないというような経緯もありますので、今年度に関して公表は見送らせていただいたところであります。また5年度に関してもネオニコチノイド系農薬の検査に関しては引き続き予算は計上させていただいておりますので、今年度できなかった早い時期と8月9月頃の数値に関しても、採水検査を行って、データの蓄積を図りたいと考えております。</p>
菅原 (ア) 委員	<p>問い合わせのあった方に関して公表したということですがけれども、去年の場合、県立大学の先生の報道があったものですから、大潟村の水は、浸透水から作られた飲料水とはいえ安心のために行うということの説明でしたので、その後どうだったのか、ずっと関心を持っていました。一般に公表されたと思っていたものですから、伺いました。</p> <p>来年度新たに、ネオニコチノイド系が発生するであろう8月、9月に行っていただけるということで、ぜひ安心のために行っていただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
齊藤委員	<p>387ページの公営企業化に関してですが、これを担当すれば、それ相当の知識が必要だということで、自治体の職員が必ずやらなければならないのか。外注等に出せるのか、実務の部分でその辺はどうなっているのでしょうか。既に導入されているところではどういった形をとったのでしょうか。</p>
平ノ内主任	<p>齊藤委員のおっしゃる通り全く会計が違いますので、導入間もない自治体は相当苦勞をしているというような声は聞こえてきております。我々も来年</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>度1年間研修等を重ねてみて、外部の力を借りなければいけないというような場合は、必要な予算計上のご相談をさせていただくケースは出てくるかと思えます。その中で継続するのではなくて、外部にお願いしている間に、当然職員の方も知識も深まっていきますので、ある程度外部の力を借りながら会計をしっかりと動かせるようにしていくのも一つの選択肢になると考えているところであります。</p> <p>予算の項目というわけではないのですが、昨年春先水不足になり、いろいろとやってこられた中で、現在の状況はどうなのかというのが一点と、もう一点、今回大きな事業になっています水道施設のデジタル化工事ですが相当な内容になっていると思うのですが、令和5年単年の予算の範囲内で、全てデジタル化の方向は終わるのか、それともここから何年かかけてもっとやっていく部分があるのかについて教えていただければと思います。</p>
平ノ内主任	<p>まず一点目、令和5年度の水の状況でありますけども、今年度9月補正でお願いした水源増補の工事に関して、部材がなかなか入ってこなくて、繰越明許を今回設定させていただいております。ただ繰越にはなりますけども、仮設で動かすことができる見通しとなっておりますので、新たな水源から水を引っ張ってくるのには変わりなく、4月の一番水使う時には対応できるだろうと考えております。</p> <p>なお昨年度、水を大量に使うことになった村内工場の令和5年度の状況も確認しており、一社に関しては、昨年度以上に水を使うことが想定されるようですが、もう一社に関しては、大幅に少なくなるということです。昨年度のデータ等もあわせ、1日どのぐらいの水を取水場から引いてくれば供給を十分にできるかデータもそろいつつありますので、新たな水源を使いながら現取水場の状況等も注視していけば、昨年度のようにご心配をおかけすることはないだろうという見通しを立てております。</p> <p>2点目のデジタル化の予算に関してですが、浄水場ができてから40年以上経っており、電気系統の経年劣化が顕著であり、正しい数値が表示されないといったことが予算化のきっかけになっていきますので、それを含めてこの予算を使って来年度で全ての更新を終わらせる予定でおります。</p> <p>デジタル化に関しては突き詰めていけば、例えばその水道の検針だったり色々な分野に波及してくるので、一概にこれで完了とは言えないですけども、浄水場および取水場の状況を把握するといった観点で考えれば、この1年で全て終えることができるものと考えております。</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>歳入の水道使用量ですが、全体的な把握として、個人の家庭と、営業用だとか事業所だとかの割合というのはどのようになっていますか。</p>
平ノ内主任	<p>調べて後で回答させていただきます。</p>
菅原（史）委員	<p>387 ページの公営企業法適用化事業の件ですが、確かに多少の知識というのは必要かもしれませんが、簡易水道事業をやっている3万人未満の自治体が、秋田県内の中で11市町村あるらしく、そのうち8市町はもう実施済みらしいです。3か所だけまだ未実施となっていて、そういう中で、専門的な知識が、要は複式簿記だと思いますが、そんなに時間がかかるものなのでしょうか。そんなにてこずるような話ではないような感じがするのですが、何がネックなのでしょう。人数の問題なのでしょう。</p>
荒関主査	<p>菅原委員の質問にお答えします。公営企業会計についてですが、おっしゃる通り、馴染みのない複式簿記も難しい点の一つです。</p> <p>公営企業会計化の構築に関しましては、今年度でほぼ出来上がったような状態になりますが、なぜもう1年の時間を要したかと言いますと、実際移行するときの作業に要するものになります。問題点として、大潟村の会計から水道・下水道の通帳が分かれ、資金管理業務が発生するということになります。今、大潟村の会計は、一般会計も特別会計もひとつの通帳で資金管理を行い、一時的な赤字運営も可能な状態です。公営企業になりますと、水道会計という通帳と、下水道会計という通帳が分かれ、合計三つになります。公営企業事業を進めるにあたって、その通帳にお金がないと、工事ができない、事業ができないという問題が発生します。基本的に通帳残金を超えるような赤字運営ができなくなりますので、そういった業務の調整も計画しなければなりません。構築が進んできたことによって、こういった細かい運用上の問題が判明してきましたので、そちらの方の対応準備に1年間を要するという判断で、延期とさせていただいたところであります。</p>
菅原（史）委員	<p>いろいろ準備はあると思いますけど、まず3年やってもう1年ということで、このままズルズルなるのではなくてやるといったらまずこれが大きな流れでしょうから、頑張ってください。</p> <p>それともう1点、先ほどのデジタル化の事業の話なのですが、いろいろ説明していただいて、わかるのですが、今回国のデジタル田園都市交付金の方</p>

発言者	発言要旨
	<p>に申請して、採択になったということで、出すときにいろいろこういうふうな形でやりますというものは国の方に出しているはずなのですよ。このデジタル化して、何をどう含めてデジタル化して、どういうふうな効果が見込めるのかというものを我々にも出していただきたいです。というのは1億8千万の当初予算を組むので、それを当然いいか悪いかと、やらなきゃいけないことだとは思いますが、了承するためには、ある程度目に見えるもので、こういうことで見込めるんですよというものが出てこない、なかなかはいそうですかというわけにも行かないはずなので、もしそういうものがあるのであればお願いしたいです。</p>
平ノ内主任	<p>菅原委員からご指摘のありました資料に関しては、後ほどご提出させていただきますので、よろしくお願いします。</p>
菅原（ア）委員	<p>今公営企業会計が問題になっているということを伺ったのですが、五つの通帳が必要だとおっしゃいましたよね。水道と下水道の他に何があるのでしょうか。</p>
荒関主査	<p>今現在、通帳というのは大湊村役場全体の通帳一つで、この中で一般会計・特別会計を管理しています。</p> <p>公営企業会計になりますと、水道、下水道の通帳が分かれる形で、水道という通帳が一つ、下水道という通帳が一つの合計三つの通帳ということになります。</p>
菅原（ア）委員	<p>五つだと聞こえたものですから聞き返しました。わかりました。ありがとうございます。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(14:50)</p> <p>再開します。(14:51)</p>
三村議員	<p>水道水不足は、今年の春はまあ大丈夫という見通しということで安心しました。せっかく滝の頭の水が余っているという話があるので、もし河口の施設とかができたときに、そういう心配がまた起きてくるのではないかと懸念されるのではないかとすると、少しでも男鹿市とのやり取りみたいなものの継続をやっているのかどうか、そういうものの必要はないのか。それがあればもしかしてというときにも対応ができるのではないかとと思いますが、どう</p>

発言者	発言要旨
工藤副村長	<p>でしょうか。</p> <p>男鹿市との水道水飲料水の協議については、一応、現段階で中断ということになっていますけれども、それはどういうことかという、最初はこちらの方で要望していました2,000立米、それを供給できるということでずっとやってきたのですが、結果的には滝の頭の水が1,000立米しかないということで、そうであれば、なかなかこちらの方の希望とは合致しないと、それと工事費について、滝の頭から野石まで来ていますから、そこまで繋いでこちらの方の浄水場ということを考えていたのですが、協議の中では滝の頭の源泉地の方から、まず工事をするということだそうです。それで1,000しか来ないということであれば、ちょっとどうなんだということと、それから、根本浄水場から配管して導水することも提案されましたけど、それについては十数億かかるということです。あの当時で。となると、とてもとてもこちらの方で維持できないだろうと。もしやったとしてもこちらと両方を維持していかなければならないので、もうかき増しになって村民に負担がかなりかかりますということで、今回この整備にもかなりお金をかけましたし、先ほど担当からお話あったようにデジタル田園都市の交付金も2分の1もらえるということですので、現在のところは再開する考えはありません。ですから今の浄水場の取水場から水をいかに浄水場を整備しながら村民に利用していただくかということを考えております。</p>
三村議員	<p>そういうことで男鹿市との話がなくなったという説明を受けていたのですが、状況が変わるということもあるかと思うのですよね。だからそういうときにすぐにパイプがあるかないかというのもどうなのかなと思うのですが、パイプが少しでもあった方が話もスムーズに行くのではないかなと、こちらの方の言った条件でも男鹿市の方ですらでもいいかもしれないというふうに変化することはないかと思うのですが、話し合いを続けていくというのも、無理なことでしょうか。</p>
工藤副村長	<p>協議会を解散したわけではないので、必要に応じてそういったお話はできる関係ではあると、こちらでは思っております。</p>
松本委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>【なしの声】</p>

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>ないようですので、水道事業特別会計についての質疑を終わります。</p> <p>次に、公共下水道事業特別会計の歳入および歳出部分について当局の説明を求めます。</p>
荒関主査	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>それでは当局の説明が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
三村委員	<p>工場などで上水道の方の収量が増えたわけですけど、同じように下水も増えると思います。以前、ポンプの能力をアップするような工事があったかと思うのですが、今の状態で下水のポンプは、これから下水の量が増えたとしても大丈夫でしょうか。</p>
荒関主査	<p>汚水ポンプの性能に関することですが、こちらは認可で決まっているものですので、村内の汚水流量が増えたから急にポンプを増やしますというふうなことにはなりません。現状では、今の性能で十分対応できます。</p>
黒瀬副委員長	<p>関連して教えて欲しいのですが、これから住宅も増えるという計画もされているところで、5年度ではないですけども、その先増えたときも問題はないのかという点と、あと以前からローソンのあたりは対象にならないという話があり、それが流域下水道の方のエリアの問題という話でしたが、そうなってくるとその流域下水道の方でエリアを広げられないことについては、どういう考え方なのでしょう。地図上でここしか駄目だという話なのでしょう。どういうふうになっているから、あそこは駄目で、逆に新たな住宅地は大丈夫という考え方なのか、わかれば教えてもらえればと思います。</p>
荒関主査	<p>まず1点目、今後住宅が増えたときに大丈夫かという点ですが、今のポンプで処理しきれないような量になることが予見できましたら、認可変更が5年に1回ありますので、そちらで定めていくことになります。2つめの下水道のエリアについても、流域下水道の事業計画範囲でなければ下水道を敷くことができません。村内宅地をカバーする形で一筆書きのような形で村内の範囲が示されていますが、宅地の多くない南地区などでは範囲から外れてしまう場所もあります。</p>

発言者	発言要旨
菅原（史）委員	<p>今までの質問と似ているのですが、ポンプの能力とかではなく、流域下水道との流量の契約または制限みたいなので、これ以上は流せないというような上限はあるのですよね。そして、その上限を超えるような人口が増えた、超えることが予測されたされる場合には、その上限の量を増やすことは可能なのですよね。</p>
荒関主査	<p>現在、資料を持ち合わせていませんので、後ほど回答いたします。</p>
菅原（史）委員	<p>ちょっと教えて欲しいだけなのですが、何かバルブを開ける場所があって、一定以上は開けると違反になるような話を聞いたりしたのですが、それと汚水流量の問題はまた違う話なのでしょうか。ポンプ場で流せる量というのは機械的にはできるのですが、ただ決まり上はここまで、ということがあるという話を聞いたことがあるのですが、技術的にはできるのだけれども、約束事でここまでですよということになっているのか、その辺はどうなのでしょうか。</p>
荒関主査	<p>大潟村の汚水ポンプ場を出た先の話になると思うのですが、こちらの方も後ほど併せて回答致します。</p>
松本委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>ないようですので、公共下水道事業特別会計についての質疑を終わります。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(15:12)</p> <p>再開します。(15:24)</p>
平ノ内主任	<p>先ほど黒瀬副委員長より水使用の割合についての質問がありました。その件についてですが、個人の使用で、一般とあと格納庫の使用で約45%でした。これに営業用を入れると65%になります。営業用に関しては約20%程度となります。その他、社協等の団体用の使用で約18%、公衆浴場、温泉、ホテルの風呂で16%、あとはプール等での使用がこれに足され、最終的には100%になります。</p>

発言者	発言要旨
荒関主査	<p>それでは先ほどの菅原委員の質問にお答えします。汚水を流す量に天井もしくは制限などあるのかという質問ですが、汚水を流す量は計画量という形で認可の方に記載されています。今の大潟村ですと、1日の計画量として4,096立米/1日という計画で、この量の汚水を送ることができるポンプを備えているということになります。大雨などのときは、この数字には捕られません。</p> <p>また、汚水ポンプ場を出た先のバルブ開閉について、現状、違反や制限などはありません。認可の中に、ポンプの大きさや性能も定められてあり、1分間あたり2.8立米送ることができる能力となります。</p>
菅原(史)委員	<p>大雨が降ると、本来入ってきてはいけない雨水が相当量入ってきますか。</p>
荒関主査	<p>大潟村の下水に関しては、分流式というもので、原則的には雨水と汚水は別、というものになっていますが、事実上かなりの量の雨水が混じり込んできております。対策として、本管に関しては、マンホールを嵩上げするなど、雨水が入らないような取り組みを続けているところです。</p>
菅原(史)委員	<p>先ほども説明あったように管渠改築が終了したということで、大雨が降ったときに以前はトイレが逆流するとかありましたけど、工事したところは解消できたのでしょうか。</p>
荒関主査	<p>この工事は、本来5年計画だったものが、足かけ9年に及ぶこととなりますが、工事終了後、こちらの効果についても、検証していく必要があります。以前は、本管に詰まりが発生したとか、本管マンホールから汚水が溢れたという問題点がありましたが、今年の大雨に際してもそのような現象はごくわずかでした。工事箇所近辺の住民の方の体感的に改善されていると思います。今は、公設枡の老朽化が進行しており、問題の質が変わってきている点もあるかと思えます。</p>
松本委員長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、以上で生活環境課部門についての質疑を終わります。</p> <p>休憩します。(15:30)</p>

令和5年第1回(3月)大潟村議会定例会
 令和5年度大潟村歳入歳出予算特別委員会 会議記録
 【 農業委員会・産業振興課 】

招集年月日	令和5年3月10日(金)		
招集場所	役場2階 「第一会議室・特別会議室」		
開会日時	令和5年3月13日(月) 15:41~16:57		
出席委員 (9名)	委員長 松本 正明	副委員長 黒瀬 友基	委員 工藤 勝
	委員 三村 敏子	委員 菅原アキ子	委員 菅原 史夫
	委員 齊藤 知視	委員 川渕 文雄	委員 石井 雅樹
	オブザーバー 丹野 敏彦		
欠席委員 (2名)	委員 戸部 誉	委員 山田 照雄	
出席職員 (10名)	【特別職】 副村長 工藤 敏行 【監査委員】 代表監査委員 佐々木 秀樹 【農業委員会】 事務局長 澤井 公子 【産業振興課】 課長 石川 歳男 主査 菅原 美子 主任 佐藤 洋平 主任 佐藤 真悟 主任 宮田 征大 主事 今野 智美		

付託事件	議案第20号 令和5年度大潟村水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第21号 令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第22号 令和5年度大潟村一般会計予算案
	議案第23号 令和5年度大潟村診療所特別会計予算案
	議案第24号 令和5年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案
	議案第25号 令和5年度大潟村介護保険事業特別会計予算案
	議案第26号 令和5年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案
	議案第27号 令和5年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案
	議案第28号 令和5年度大潟村水道事業特別会計予算案
	議案第29号 令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計予算案

発言者	発言要旨
松本委員長	再開します。(15:41)
松本委員長	休憩前に引き続き会議を進めてまいります。 それでは農業委員会・産業振興課部門の審査を行います。 一般会計歳入部分について当局の説明を求めます。
佐藤(洋)主任	【資料に基づき説明】
松本委員長	当局の説明が終わりましたので質疑に入ります。質疑ございませんか。
三村委員	夢ある園芸産地創造事業費補助金と農業経営等復旧・再開支援対策事業費補助金について、令和4年度はなかった事業かと思いますが、これはどのような事業の補助金でしょうか。
宮田主任	夢ある園芸産地創造事業費補助金についてですが、令和4年度まで新時代を勝ち抜く!夢プラン応援事業の名前で事業実施しております。名称は変わりましたが、事業内容は概ね同じです。
佐藤(洋)主任	農業経営・復旧再開支援対策事業費補助金につきましては、12月補正で債務負担行為を設定した大豆とカボチャの被害にあった水田における来年度の種苗費の助成の事業になります。
松本委員長	他に質疑ありませんか。
	【なしの声】
松本委員長	ないようですので、一般会計歳入部分についての質疑を終わります。 次に、一般会計歳出部分について当局の説明を求めます。
澤井事務局長 菅原主査 佐藤(洋)主任 佐藤(真)主任 今野主事	【資料に基づき説明】

発言者	発言要旨
松本委員長	当局の説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ございませんか。
石井委員	主要な施策の農産物・加工品輸出促進事業について、実績がどのようになっているか教えてください。
佐藤（洋）主任	<p>令和3年度の輸出実績が4,558万5,000円と報告しております。令和4年度実績については現段階の見込みで7,452万7,000円になり、昨年度比で約3,000万円の増加になります。</p> <p>順調にこのままいくと事業目標の1億円まで届くのではないかとというような状況になっております。</p>
石井委員	伸び率が良い項目はどれでしょうか。
佐藤（洋）主任	1番伸び率が良いのは、米粉餃子になります。グルテンフリーブームでヨーロッパへ等の輸出を始めたところ、大きく伸びているといった状況でございます。
石井委員	防災林整備計画策定事業について、東京農業大学の先生の話をしていただいたと思いますが、伐採後に何か別のものを植えようかという話でしたでしょうか。
今野主事	<p>先ほど、東京農業大学の先生のお話をしたのが防災林整備計画策定事業において有識者として参加していただくということでお話ししました。</p> <p>松枯れが拡大しておりますので、そのような木を切った後の植栽について、また、防風林だけではなく、住区内の景観木についても今後の村全体のあり方について、その検討委員会で検討していきたいと考えております。</p>
黒瀬副委員長	<p>野菜等生産振興対策事業について、道の駅の出品の販売手数料の3%を助成するというのでしょうか。内容を改めて教えてください。</p> <p>次に、新米まつりについて、予算的には去年と同じだと思うのですが、どのような事業内容を計画しているのか教えてください。</p>
宮田主任	野菜等生産販売手数料助成事業費補助金について、積算根拠に産直センター一潟の店の野菜等の売上実績をベースにしております。令和4年度の実績見込で税抜価格5,860万円に3%を掛け合わせた金額175万8千円を予算計上

発言者	発言要旨
	しております。
今野主事	新米まつり in おおがた事業に関して、令和5年度については規模を縮小せずに従来通りの新米まつりという名前で開催したいと考えております。協賛金の依頼なども検討して米の販売のみの実施ではなく、イベントや物販などを実施しながら村全体の活性化に繋がるように事務局として実行委員会で今後詳細を決定していきたいと思っております。
黒瀬副委員長	1つ目の野菜助成について、販売手数料の3%の補助ではなく、販売手数料の一部となるように売上の3%を補助するというところでよろしいでしょうか。
宮田主任	はい、そのとおりです。 現在、産直センター潟の店に農家が委託販売する際に、売上の17%が販売手数料として引かれています。今後3%販売手数料を引き上げ、20%になる予定とのことで、農家負担軽減のために助成をしたいと考えております。
石井委員	関連して、例えば加工品や米の販売も対象になりますか。
宮田主任	基本的には村振興作物5品目を除く野菜を想定しておりますので、加工品や米については対象外となります。
黒瀬副委員長	関連して、産直センター潟の店の販売手数料が上がる理由を教えてください。
石川課長	17%から20%に上がる経緯については詳細な理由は把握しておりません。ただ、3%は農家負担が増えますので、野菜の生産離れが進まないように、そこは村で手当して野菜生産者に今まで通り生産をしていただきたいという趣旨の助成であります。
菅原(ア)委員	住区内危険木伐採事業について、8年間に渡る事業と理解しているのですが、令和4年度の実績と令和5年度の計画を教えてください。 また、伐採を計画する際に、例えば住区長をとおしてなど、住区にはどのように周知を行っていますか。
今野主事	令和4年度の実施場所としては、西1丁目を伐採いたしました。また、令

発言者	発言要旨
	<p>和5年度は8年計画の2年目にあたり、実施場所としては西2丁目を予定しており、合計で241本程度の伐採あるいは芯止を予定しております。電線に関する部分については東北電力に実施していただき、住宅の近くで危険と感じるものに関しては、村で伐採したいと考えております。</p> <p>次に、周知方法についてですが、令和4年度に関しては、西1丁目の自治会長3名の方と一緒に現地確認を行い、テープを巻いた伐採木の確認をしていただいております。その後、西1丁目住区の皆さんにチラシで伐採の周知を行いました。</p> <p>令和5年度についても同様に伐採の前に自治会長の方々と一緒に現地視察を行った上で事業を実施していきたいと思っております。</p>
菅原(ア)委員	<p>事前周知に関しては、住区の理解が得られるようお願いしたいと思っております。</p>
菅原(ア)委員	<p>桜と菜の花まつりの推進事業ですが、交通誘導業務について、昨年度より若干計上額が増えているようですが、これは誘導員が増えるためという理解でよろしいでしょうか。</p>
菅原主査	<p>土日祝日など、混雑が見込まれる日数と交通誘導員の1日あたりの単価が1,000円上がったことによる増額となっております。</p> <p>交通誘導員を配置する箇所も昨年と同様2ヶ所で行い、1番混み合う時期は3名ずつ配置し、状況を見ながら2名ずつ配置する日数も見いております。</p>
齊藤委員	<p>新型コロナウイルス感染症対策雇用維持・持続化支援事業について、対象は村内全ての事業者になりますか。それから財源について、どの基金からの繰り入れになりますか。</p>
菅原主査	<p>予算財源はふるさと応援基金からになります。</p> <p>また対象者については、令和2年度から同じく農業関係を除く事業者と考えております。</p>
齊藤委員	<p>来年度の国からの交付金は廃止されるのでしょうか。</p>
菅原主査	<p>はい、国費の措置はございません。</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>新型コロナウイルス感染症対策雇用維持・持続化支援事業について、今まで地方創生の交付金での実施事業だと思いましたが、これまでの交付金実績の合計とどのような財源だったのかわかりますか。また、農業関係を除き、大きな影響を受けているのは(株)ルーラル大潟だと思われていますが、そこへのどのくらい交付金が交付されているのか実績を教えてください。</p>
菅原主査	<p>事業全体の費用としましては、令和2年度で5,361万8千円、令和3年度で4,999万9千円、令和4年度で4,799万6千円になり、こちらいずれも国費での事業を実施してございます。</p> <p>(株)ルーラル大潟につきましては、全体の集計で、令和2年から令和4年までで1億4,718万1千円でございます。</p>
黒瀬副委員長	<p>臨時交付金がなくなった中で、この事業を継続される理由を教えてください。</p>
菅原主査	<p>国の流れとしては、コロナの位置づけを感染症法の2類から5類に移行し、今後はそういった措置もなされないとは思いますが、令和4年度においては、引き続き、コロナの影響を受けていたと実感してございます。</p> <p>今回の事業に関しては、令和4年度にコロナの影響を受けた事業者に対し、令和5年度事業として補助するものとして考えております。</p>
齊藤委員	<p>この事業費の3,000万円の積み上げの根拠を教えてください。</p>
菅原主査	<p>積算の根拠ということでございますが、令和2年度から実施している中で、正確な根拠というのは持ち合わせていないのですけれども、交付金があった際は、交付金の全体のバランスを見て事業者支援にこの程度という形で割り振りしてございました。令和5年度につきましては、基金ということで昨年度の当初予算と同額という形で数字を出してございます。</p>
黒瀬副委員長	<p>先日ルーラルから経営改善の説明を聞いたときに、コロナの影響もあるのでしょうかけれども、どちらかというとな材不足が原因なのかなという部分もあって、どこまでが雇用維持ができているのかとか、コロナ対策なのかというのがちょっとよくわからない中で、今の積算の根拠も明確ではない。これまでの事業の実績から、(株)ルーラル大潟一社が突出して多く補助金交付されていることを考えると、もう少し予算額の精査が必要だと思うのですが、</p>

発言者	発言要旨
石川課長	<p>いかがでしょうか。</p> <p>黒瀬委員のおっしゃるとおり、予算措置した大部分は、当然事業的に大規模である(株)ルーラル大潟への交付割合が多くなるわけでありますが、予算措置した交付割合で行きますと令和2年度には2分の1交付要綱の中46%で、予算が足りないので交付基準が下がっております。令和3年で43%、令和4年に至っては19%程度の交付割合で、交付要件に係る売上の落ち込みがあったところの2分の1まで予算措置ができていない状況でございます。</p> <p>令和5年度においても、おそらく2分の1交付には至らないだろうと、3,000万円の予算の範囲内で要件に適合した事業者に支給をしたいということでございます。</p>
黒瀬副委員長	<p>コロナの影響を受けたからとはいえ、実質的に第3セクターに対する支援をこれだけ継続して、かつ基金の活用をされるわけですが、村の単独予算で今後も事業を実施していくつもりなのですか。</p>
石川課長	<p>今後のことはまだわかりませんが、令和4年度については、コロナによる外食・飲食の自粛の空気が残っており、事業売上を見るとその影響が見られますので、令和5年度にこの交付事業を実施したいということでございます。</p>
齊藤委員	<p>石川課長のコロナ対策というのはわかりますが、いずれ今度5類になって、もうコロナの影響を理由にこのような事業を実施していくことは、なかなか難しいのではないかと感じます。単なる支援と言えば変ですけど、コロナ対策だけを理由の支援というのも考えるべきじゃないかと思います。</p>
黒瀬副委員長	<p>確認ですが、これは来年度の予算として令和4年度の事業の売上等の実績を見て、減収があった分に対して令和5年度の予算で支援をするということでしょうか。</p>
石川課長	<p>はい、黒瀬委員のおっしゃるとおりです。</p>
黒瀬副委員長	<p>(株)ルーラル大潟の決算期はいつになりますか。</p>
石川課長	<p>決算時期は3月になります。</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	前年度分の事業は閉めて、その後そこにに対して、令和5年度に、令和5年度(株)ルーラル大潟の事業年度に対して交付するというのでしょうか。
石川課長	(株)ルーラル大潟の令和5年度の営業外収入になるかと思います。
黒瀬副委員長	そういう意味でいくと、令和4年度を持ちこたえて、令和5年度まで経営が続いている中で、令和5年度に関しては単年でみればコロナの影響ももうなくいけるんじゃないかという所に対して、補助金を交付するということになるのですよね。それに関してはどのようにお考えなのでしょう。
石川課長	あくまでも令和4年度にコロナによる経済的影響を受けた事業者に対して支援を行う事業になります。
松本委員長	他に質疑ございませんか。
石井委員	産直センター潟の店の販売手数料20%の話について、他の産直の販売手数料がどのくらいかわかりますか。 また、経営難から生産者の販売手数料まで値上げすることは、やりすぎなのではないかと思います。
宮田主任	販売手数料につきましては、他市町村の例を挙げると、三種町のじゅんさいの館では20%で運営しているということです。
石井委員	他のところの情報がありますか。
宮田主任	ございません。
石川課長	産直センター潟の店の販売手数料の値上げについては、恐らく周辺各施設も参考にしながらだと思います。 あくまでも野菜生産振興のため、農家負担を軽減したいという趣旨の事業で、当面の間は従来の17%の販売手数料で出荷できるといった内容でございます。
石井委員	産直センターの食堂をはじめ、明らかに(株)ルーラル大潟の経営の質が落

発言者	発言要旨
工藤副村長	<p>ちていると思われまので、営業方針について大丈夫かなというふうには感じはします。</p> <p>産直センター潟の店でも、他市町村の販売手数料が20%程度と分かっている中で、それでも農家の負担を増やさないために17%で据置して運営を続けていたと思われま。ですが、コロナの影響で売上が落ち込んできていることから、周辺並みに販売手数料を上げるのだと思いま。</p> <p>そういうことで、3%分は行政で応援する形をとり、農家が野菜生産をこれまでどおり続けていければ大変ありがたいなということでの予算措置ですので、よろしくお願いま。</p>
松本委員長	<p>休憩しま。(16:53)</p> <p>再開しま。(16:56)</p>
松本委員長	<p>ここで、本日の審議を終了し、休憩といたしま。</p> <p>再開は、翌日3月14日の9時00分としま。</p> <p>(休憩 16:57)</p>

令和5年第1回(3月)大潟村議会定例会
 令和5年度大潟村歳入歳出予算特別委員会 会議記録
 【 農業委員会・産業振興課 】

招集年月日	令和5年3月10日(金)					
招集場所	役場2階 「第一会議室・特別会議室」					
開会日時	令和5年3月14日(火) 9:00~10:08					
出席委員 (10名)	委員長	松本 正明	副委員長	黒瀬 友基	委員	工藤 勝
	委員	三村 敏子	委員	菅原アキ子	委員	菅原 史夫
	委員	戸部 誉	委員	齊藤 知視	委員	川渕 文雄
	委員	石井 雅樹	オブザーバー	丹野 敏彦		
欠席委員 (1名)	委員	山田 照雄				
出席職員 (11名)	【特別職】 副村長 工藤 敏行		【監査委員】 代表監査委員 佐々木 秀樹		【議会事務局】 事務局長 近藤 綾子	
	【農業委員会】 事務局長 澤井 公子		【産業振興課】			
	課長	石川 歳男	主査	菅原 美子	主任	薄田 穰
	主任	佐藤 洋平	主任	佐藤 真悟	主任	宮田 征大
	主事	今野 智美				

付託事件	議案第20号	令和5年度大潟村一般会計予算案について
	議案第21号	令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第22号	令和5年度大潟村一般会計予算案
	議案第23号	令和5年度大潟村診療所特別会計予算案
	議案第24号	令和5年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案
	議案第25号	令和5年度大潟村介護保険事業特別会計予算案
	議案第26号	令和5年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案
	議案第27号	令和5年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案
	議案第28号	令和5年度大潟村水道事業特別会計予算案
	議案第29号	令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計予算案

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>(再開 9:00)</p> <p>昨日に引き続き、令和 5 年度大潟村歳入歳出決算特別委員会を再開いたします。ただいまの出席委員数は 10 名です。定足数に達しておりますので、この委員会は成立します。</p> <p>委員会の会議記録の作成は当局にお願いいたします。</p> <p>それでは農業委員会・産業振興課部門の一般会計歳出部門の審査を行います。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
三村委員	<p>民産学官連携による農業振興推進事業に、みどりの食料システム戦略推進事業の県補助金を使用されている理由を教えてください。</p>
今野主事	<p>民産学官連携による農業推進振興推進事業のうち、水稻の有機栽培における雑草制御技術の開発ということで、除草機の改修・開発について、みのる産業(株)の協力のもと現地試験を行います。それに必要な経費にみどりの食料システムの補助金を活用する予定です。</p>
石井委員	<p>高収益作物生産促進事業の高収益作物資材購入支援事業費補助金について、すべての資材が対象になるのでしょうか。</p>
宮田主任	<p>出荷用資材を除く、ポット、皿、ピン、マルチなどの高収益作物の初期投資に必要な資材を想定しております。</p>
石井委員	<p>このような初期投資への補助事業があれば、新規に高収益作物に取り組みやすく非常に良い事業だと思います。こちらの事業は対象資材を更新される方も対象になりますか。</p>
宮田主任	<p>更新の場合も対象になります。</p>
黒瀬副委員長	<p>農産物・加工品輸出促進事業と輸出促進支援事業の関係性や違いを教えてください。</p>
佐藤(洋)主任	<p>農産物・加工品輸出促進事業につきましては、農産物・加工品輸出促進協議会への活動費の助成となります。</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>また、輸出促進支援事業につきましては、パックライス工場の土地使用料に対する助成となります。こちらは今年の9月で3年経過しますので、半年分の75万1,000円を計上しております。</p> <p>男鹿南秋田森林組合出資金について、大潟村は森林組合もなく関係ないと思っていましたが、広域化したために大潟村も加入したという理解でよろしいでしょうか。また、出資の目的を教えてください。</p> <p>続いて、防災林地内整備事業の伐採木処理業務委託料について、丸太を売却する説明をされていましたが、売上として村の歳入に入るものでしょうか。</p>
今野主事	<p>男鹿南秋田森林組合出資金についてですが、黒瀬副委員長のおっしゃるとおり、森林組合の合併に伴い、来年度の新規加入となります。加入の理由としましては、八郎湖の保全や脱炭素の観点から、他市町村と協力連携し、社会的役割を果たすという理由で加入するものです。将来的には松くい虫被害について、森林組合の方からアドバイスをもらえるメリットもあるかと思えます。</p> <p>次に、防災林地内整備事業の伐採木処理業務委託料についてですが、丸太の売却と抜根した切り株の処分を含めて処分費を相殺して業者契約したいと考えております。そのため、歳入予算はございません。</p>
黒瀬副委員長	<p>この先、男鹿南秋田森林組合への追加出資の可能性はありますか。</p> <p>また、伐採木処理業務委託料に関して、売上として歳入があるにも関わらず、委託料で一括して業者契約し処分費を相殺することは一般的な処理方法でしょうか。</p>
石川課長	<p>男鹿南秋田森林組合への出資について、昨年4月から新森林組合になる母体と協議を重ねてきました。森林組合からは、森林面積に応じた出資金の依頼で、村の場合は370万円ぐらいになります。ただし、村はすべて村有林かつ、そのほとんどが保安林ということで、県の助成金を使いながら森林整備をしてきていることから、村の事情を理解していただいて、今回はそういった八郎湖の水質改善あるいはCO2の削減等の社会的役割を村として一定の役割を果たしたいということで100万円という出資金にしております。また、増資に関しては、これまでの協議の中で、森林面積に応じた出資をお願いするかもしれないと話しをいただいておりますが、現在のところは100万円とい</p>

発言者	発言要旨
	<p>うことにしております。</p> <p>次に伐採木処理業務についてですが、現在も松くい虫伐採処理については切ったものや幹の部分については、チップ材として売却しております。伐採業務とそこから出た木材の売却については工事費の中で相殺して一括発注という形態をとっております。</p> <p>同様の考えで、この事業も処理したものについて産廃するものと売却できるものとの相殺で工事費を積算しております。</p>
三村委員	<p>交流宿泊等誘致推進事業について、ゴールデンウィークやお盆の頃などの繁忙期に客単価の高いお客を安い単価で受け入れることで、売上の圧迫にならないのでしょうか。</p>
菅原主査	<p>交流宿泊等誘致推進事業ですが、村としては通年制限をかけずに事業を実施しております。どのような形でホテルサンルーラル大瀧が合宿等を受け入れているかの詳細までは把握しておりませんが、村としてはこの事業を実施することで交流人口の拡大を図りたいと考えております</p>
三村委員	<p>交流人口をいかに増やすかという趣旨の事業ではあるとは思いますが、きっかけは東日本大震災後の被災者の方たちの支援から始まったと思います。この事業がなくても、施設を利用される方はいると思われまますので、根本的なところから事業の必要性を考えていただけないかと思いますがいかがでしょうか。</p>
石川課長	<p>確かに始まりはそうだったかもしれませんが、最近では地方の町村において、色々な地域と関係性を持ちながら交流人口あるいは関係人口を増やして地域を活性化していくという手法が多く使われています。この事業もそういう関係性を作る上では非常に有効であると感じております。</p> <p>交流人口や関係人口の増加を目指しつつ大瀧村にいかに来てもらうかという一つの PR にできればいいのかなと思いますので、当面はこの事業は続けていきたいと考えております。</p>
三村委員	<p>事業者毎の考えがあると思いますが、逆にこの事業を導入することにより客単価の高い方たちが宿泊できなくなっているような状況もあるのではないかと思います。今はインバウンド需要も増えてきており、そちらに力をいれるなどの予算の使い方に工夫が必要になってくるとは思われますがいかが</p>

発言者	発言要旨
石川課長	<p>でしょうか。</p> <p>繰り返しになりますが、まず関係人口や交流人口を増やす上で、ある程度効果のある施策であると思います。事業実績もございますので、当面は継続していきたいと考えております。</p> <p>インバウンドについては、三村委員のおっしゃるとおりですが、村だけではなく、周辺地域との連携を図った上で、広域で考える必要があると思われまます。まずは、ニーズのあるこういった合宿交流等の宿泊助成を行っていききたいと考えております。</p>
三村委員	<p>話しがずれてしまうかもしれませんが、インバウンドに関しては、ルーラルの PR が足りないと思います。海外から桜などの観光名所を見にきている方もいるので、もう少し色々考えていただけたらと思います。</p>
石川課長	<p>観光地としての PR についても、広域で取組むことが効果的であると思います。男鹿市、あるいは秋田県とも連携しながら、村としても PR に努めていきたいと思ひます。</p>
黒瀬副委員長	<p>起業支援事業について、今回は県の事業への協調助成で県が2分の1に対して村は4分の1ということですか。そうすると自己負担はその範囲内で行くと4分の1になるという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>これに関して利用見込と、他の自治体で同様の起業支援をしているところがわかれば教えてください。</p>
菅原主査	<p>需要については調査など実施してないこともあり、正確な数値はございません。ただし、県でも来年度起業支援事業を継続すると聞いておりますので、村においても協調助成をする形で起業支援していきたいと考えております。</p> <p>県の起業支援事業には女性若者応援枠、地域課題解決枠、大学連携枠というメニューがあり、そのうち大学連携枠は来年度廃止すると聞いておりますので、残りの2つの中で村でも何かできないかというところで考えております。地域課題解決枠は県で上限を400万円としております。事業費全体でいくと800万円、県400万、村4分の1を200万というところでこちらの地域課題解決枠を1件は見られるようにということで200万を計上しております。</p> <p>それ以外の女性若者応援枠につきましては、事業費で300万、県で150万、</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>村で75万となっていますので、こちらにつきましては3件程度見られるような積算となっております。</p> <p>続いて他市町村の状況についてですが、把握できておりません。まずは村として県のこの事業に協調助成を行い事業実施していきたいということで予算計上いたしました。</p> <p>わかりました。来年度に関しては、村が県と協調助成で起業支援をしますというところで色々な需要が出てくればいいなと思っています。そういうのを把握しながら、今後も村独自の特色ある起業支援を考えていただければと思います。</p>
石井委員	<p>工事請負費の駐輪場更新工事について説明をお願いします。</p>
菅原主査	<p>こちらは温泉保養センターの正面に向かって右側の駐輪場になります。令和4年度の修繕費で直せないほど痛んでおりましたので、今回既存で設置されているものをすべて撤去して新規駐輪場を設置する工事で191万4,000円計上しております。</p>
菅原(史)委員	<p>野菜等生産振興対策事業の野菜等生産販売手数料助成事業費補助金に関して、産直センター潟の店が販売手数料を上げる理由を教えてください。</p>
菅原主査	<p>現在、産直センター潟の店の販売手数料は17%ですが、県内の産直と言われる施設の平均が大体18%から20%で設定されております。今回、村の販売手数料を上げる経緯につきましては、近年の物価高騰や光熱水費の高騰により産直センター潟の店においても電気・ガスなどの施設管理費が100万円ぐらい増加していることから、販売手数料を3%上げることによって150万円程度の増収を見込んでおります。</p> <p>県内の道の駅産直センターといわれる施設において、大抵のところは指定管理料を持って経営をしております。県内でも指定管理料が発生していないのは、十文字と道の駅おおがたになりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
菅原(史)委員	<p>経緯はわかりました。ただ、今の説明だと燃料費や電気代といった需要費の高騰によって、その上がった費用を手数料の引き上げにより納入される生産者からまかなうという発想は果たしてどうなのかなと疑問に思います。</p>

発言者	発言要旨
石川課長	<p>また、指定管理料についてはまた別問題の話で、本来であれば売上を上げるためにどうするか考えるべきであって、販売手数料に付加させるのはいかなものかなと思いますし、経営姿勢に疑問を持ちます。</p> <p>あと、値上がりした手数料相当分に補助金を出すというような文言だと、手数料が上がる度に村が補助するのかと村民が捉えかねないので、もう少し文言を考えた方が良いと思います。いずれにしろ、この事業自体は別に反対はしませんが、経営姿勢について村も指定管理者ときっちり話しをしてもらいたいと思うのですがいかがでしょうか。</p> <p>菅原委員のご指摘はごもっともだと思います。</p> <p>産直そのものも売り上げを伸ばすために色々なイベントを行い、お客様を呼び込むための工夫をしながら経営しておりますので、野菜販売手数料については類似施設等の現状を勘案しながら少し上げさせていただきたいということです。結果的に村が販売手数料 3%上がった分を持つように見えますが、村の事業の趣旨としましては、野菜生産農家を支援する目的で助成をしていきたいということですので、ご理解をいただければということになります。</p> <p>また、産直センター全体の経営においては、社会情勢等考慮しながら、必要な指定管理料があれば、村がそれを払いながら運営していくことも含め、引き続き総合的に検討していきたいと思います。</p>
菅原(史)委員	<p>わかりました。いずれにしろ、生産者の方に分かりやすい事業名にする必要があるのかなと思います。まずは、経営としては販売力を付けることが大事だと思いますので、それに注力してもらい、野菜が集まりやすい環境づくりも併せて村の指導をお願いしたいと思います。</p>
三村委員	<p>関連して、令和4年度までの野菜種苗費補助がなくなり、潟の店に野菜を販売している方の手数料補助ということで、潟の店以外に野菜を売っている方の支援はなくなるのでしょうか。</p>
石川課長	<p>今回の野菜生産振興においては、潟の店に出している方の野菜生産者に対しての支援ということになります。</p> <p>令和4年度までの種苗費補助について、近年の実績を見ますと、野菜生産者の利用実績は30名程度であります。この度の事業により、約140名を見込む野菜生産農家に対して支援を行えると考えており、幅広い支援ができる</p>

発言者	発言要旨
	<p>ように助成の方法を変えたというところです。</p> <p>また、一般野菜については産直センター潟の店で販売されている方が対象で、村の振興野菜5品目については、今までどおり種苗費の2分の1を助成するものであります。</p>
三村委員	<p>令和4年度までの種苗費補助は、野菜を販売している方の支援になっているのですが、今回の販売手数料の補助については趣旨が変わり不公平感を感じるのですがいかがでしょうか。</p>
石川課長	<p>これまでの事業では、購入された種苗費がすべて販売されたか確認がとりづらく、かつ補助金申請にあたり必要書類の確認作業が非常に煩雑だった面がございました。事業効果からいくと、極一部の方の利用に留まり、今回は産直センター潟の店に出荷されている方が対象で、販売された数量に対して助成できますので、野菜販売農家の生産振興につながる政策だと思っております。</p>
黒瀬副委員長	<p>関連して、そうすれば販売の証明さえできれば道の駅以外に販売している分に対しても支援して然るべきだと思いますがいかがでしょうか。</p>
石川課長	<p>今回は事務の効率化ということもあり、販売額に係る手数料に対して助成するということにしました。</p> <p>また、農協は販売手数料はなしということでしたので、今回対象から外しております。</p>
黒瀬副委員長	<p>販売手数料ではなく、販売していることが証明できれば、どこのお店に野菜を出したとしてもその売り上げを証明できるとすればその分の販売額の3%を支援する形をとることが1番野菜振興になると思うのですが、そこまで支援を拡大するべきではないでしょうか。</p>
石川課長	<p>確かにその一面はあると思います。今回、そこまで支援を拡大しなかった理由については、産直センター潟の店にインセンティブを付けることにより、野菜生産者にぜひそこに出荷していただき、野菜数量を増やしていきたい側面もひとつあるということでご理解をいただければと思います。</p>
黒瀬副委員長	<p>そうなりますと、それは野菜の生産振興ではなくて、目的は商業振興に見</p>

発言者	発言要旨
	えてしまうので、この事業が農業費にあるのが適切なのかということで、やはり野菜の生産振興という話であれば、どこに販売しようとも一律で補助するような要綱に変えるべきじゃないかなと思います。
石川課長	他のお店で販売されている現状を把握しておりませんので、状況を調べながら予算執行の段階で検討して参ります。
工藤委員	大規模農家経営実態調査委託事業について、調査内容とその結果がどのように活かされているか教えてください。
今野主事	大規模農家経営実態調査についてですが、こちらは村と農協と秋田県立大学の3者契約となっており、秋田県立大学に村の30経営体の経営状況調査を委託しております。調査結果については、報告会などの機会を設けていませんが、毎年、秋田県立大学から調査報告書を提出していただき、村の様々な事業の数値の参考資料として活用させていただいております。
工藤委員	箱わな購入費補助金について、事業内容を教えてください。
今野主事	村の中でハクビシンやタヌキなどの小型の獣類による農作物被害が拡大しておりますので、自己防衛対策として村民が箱わなの購入に係る費用を助成するものです。補助率は対象経費の2分の1で上限は7,000円となります。
工藤委員	排水対策事業について、昨年よりも予算額が減額していますが、実績に応じて減額したのでしょうか。
佐藤（真）主任	令和5年度においては、畑作振興を目的に畑作を行っている方のみを対象とする関係から、全体の事業費としては減額になっております。
工藤委員	こちらの変更になった内容について、どのような事業周知を行いますか。
佐藤（真）主任	毎年産業振興課で作成している農業振興施策の概要により、村で行う事業の紹介をしたり、その他に各認定農業者協議会の総会等の機会を活用するなど様々な場面で事業周知を行っております。
黒瀬副委員長	新型コロナウイルス感染症対策雇用維持・事業持続化支援事業について、

発言者	発言要旨
石川課長	<p>これまでの3年間で総額約1億5千万円のうち、その97%が(株)ルーラル大潟に交付されていることを考えると、今回の3,000万円に関しても(株)ルーラル大潟に大半が交付される可能性があるのではと考えています。</p> <p>事業改善計画の中では、令和5年度に関して収支が純利益黒字見込みの運営になる事業者に対して、3,000万円を支援する理由が分かりませんので、もう一度説明をお願いします。</p> <p>令和4年度の売上状況について、ホテルや温泉部門においては2019年と比較すると30%以上の減収が見込まれる月があります。他の3事業者についてもそれぞればらつきはありますが減収の見込みであります。それらのことを踏まえて、交付年度においては、単年度予算の性質上、令和5年度予算になりますが、コロナによる影響を緩和するという意味合いで、予算措置をお願いしているところでありますので、ご理解をいただきたいと思ひます。</p>
黒瀬副委員長	<p>予算の配分については、予算内で按分する形になるのでしょうか。</p>
石川課長	<p>黒瀬副委員長のおっしゃるとおりです。</p>
黒瀬副委員長	<p>そうなれば、ますます(株)ルーラル大潟の配分が多くなり、全然民間への支援にならないと思ひます。(株)ルーラル大潟の事業改善計画の説明を受けましたが、その中で村にどのような支援を求めるか議論し明確にするべきであつて、前年度の固定費の一部を補助し続けることは望ましくないと思ひます。ましてや国の地方創生臨時交付金ではなく、村単独予算で3,000万円となれば、少子化対策等他に相当な事業ができる中で、ここ1社に3,000万円近くを交付するのはふさわしくないと思ひますがいかがでしょうか。</p>
工藤副村長	<p>今おっしゃるように、明確にというとなかなか難しいのですけれども、皆さんもご承知だと思ひますが、今、ホテル・産直センターには指定管理料は支払っていないという状況の中で、ホテルの経営状態を見ますと、今年度は資本金準備金を使い果たすと。これも人件費と言いますかボーナスの支払いを抑えながらという決算見込な訳です。これまでも農業災害などの様々な災害の時には支援をしながら、村民や事業書の皆さんが頑張ってきたおかげで村も順調に來ているわけですよ。そうした中で、財政状況も地方債が順調に減ってきていますし、基金は前年度当初の横ばい並みという健全な財政状況です。今回、3年目になりますが、コロナという、未曾有の事態の中で全</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>体で非常に打撃を被っているわけです。（株）ルーラル大潟を例にとりますと、実際に村民の安らぎの場でもありますし、観光拠点の位置づけとなっておりますので、早期にコロナ前の経営状態に戻したいということで、村の財政状況も考えて、総合的にこの金額であれば頑張っていけるのではないかとということで、他の事業者も含めた予算額を計上しておりますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>他の事業者もある中、予算の按分の仕方で行けば、現実的には（株）ルーラル大潟に予算の大半が交付されると考えたときに、やはり望ましくないと考えます。村の観光拠点の主力でしょうけれども、これからも頑張っていくために何が必要か、どういった支援を村がするかという視点で、コロナ対策ではない支援を考え直すべきで、その内容に応じて村予算の出し方をすることが適切ではないかと思えます。</p> <p>ですので、このまま予算をここに載せ続けることは再検討していただけないかなと思います。</p>
工藤副村長	<p>村の今の考え方は、令和4年度までのコロナの影響を受けた事業所を応援したいという思いであります。まずはしっかりと足場を固めた上で、経営を進めていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。</p>
松本委員長	<p>村の中にある耕作放棄地について、大潟土地改良区は衛星を使って確認をしているようですが、農業委員会の農地の管理については目視によるものでしょうか。</p>
澤井事務局長	<p>年2回農地パトロールによる農地の見回りの他、農業委員会の方には日頃から周辺農地の見回りをお願いしております。耕作放棄地の恐れがある農地を発見すれば、リスト化し、農地パトロールの際に見回りますが、衛星によるネット上での確認はしておりません。</p>
松本委員長	<p>大潟土地改良区は衛星画像を使用して確認作業をしているようですが、そういった情報共有はされているのでしょうか。</p>
澤井事務局長	<p>農業委員会でも農地ナビなど、衛星画像で見ることができるシステムを使用しておりますので、大潟土地改良区等からも農地の情報を共有しておりますし、耕作放棄地等の情報があれば、インターネットでの確認や、現地確認</p>

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>を行うような運用をしております。</p> <p>他に質疑ございませんか。</p> <p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>ないようですので、農業委員会・産業振興課部門の一般会計予算の歳出についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、農業委員会・産業振興課部門についての質疑を終わります。</p> <p>休憩します。(10:08)</p>

令和5年第1回(3月)大潟村議会定例会
 令和5年度大潟村歳入歳出予算特別委員会 会議記録
 【 教育委員会部門 】

招集年月日	令和5年3月10日(金)		
招集場所	役場2階 「第一会議室・特別会議室」		
開会日時	令和5年3月14日(火) 10:25 ~ 14:20		
出席委員 (10名)	委員長 松本 正明	副委員長 黒瀬 友基	委員 工藤 勝
	委員 三村 敏子	委員 菅原アキ子	委員 菅原 史夫
	委員 戸部 誉	委員 齊藤 知視	委員 川渕 文雄
	委員 石井 雅樹	オブザーバー 丹野 敏彦	
欠席委員 (1名)	委員 山田 照雄		
出席職員 (11名)	【特別職】 教育長 北林 強 【監査委員】 代表監査委員 佐々木 秀樹 【議会事務局】 事務局長 近藤 綾子 【教育委員会】 教育次長 宮田 雅人 主席次長補佐(兼)指導主事 伊藤 昌人 主査 小林 豊 主査 池田 龍成 主任 畠山 友伴 主事 高橋 真也 主事 太田 翼 主事 竹田 美輝		

付託事件	議案第20号 令和5年度大潟村一般会計予算案について
	議案第21号 令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第22号 令和5年度大潟村一般会計予算案
	議案第23号 令和5年度大潟村診療所特別会計予算案
	議案第24号 令和5年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案
	議案第25号 令和5年度大潟村介護保険事業特別会計予算案
	議案第26号 令和5年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案
	議案第27号 令和5年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案
	議案第28号 令和5年度大潟村水道事業特別会計予算案
	議案第29号 令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計予算案

発言者	発言要旨
松本委員長	再開します。(10:25)
松本委員長	令和5年度一般会計予算案の教育委員会部門の歳入部分について当局より説明をお願いします。
池田主査	【資料に基づき説明】
松本委員長	当局の説明が終わりましたので質疑に入ります。質疑ございますか。
三村委員	干拓博物館使用料について、令和4年度予算166万4千円に対し、令和5年度予算では170万円になっていますが、入館者数が増えている、今後もまた増える見込みなのでしょうか。
高橋主事	博物館の入館者数は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は6,951人と、今までで最も少ない利用状況でしたが、令和3年度には9,058人、令和4年度には3月1日時点で9,347人となっており、現在入館者数は回復傾向にあります。よって、今後も利用者数が増えるという見込みがあつて増額にしております。なお、団体ですと割引がきいたり、学校の修学旅行等での利用では入館無料とすることもできますので、入館者数に応じて必ず収入が増えるというわけではなく、そういうところも考慮してわずかな増額としております。
川渕委員	学校給食費負担金321万6千円、これは何名の方が対象になるのでしょうか。
畠山主任	学校給食費については、来年度より児童生徒分は無償化を考えておりますので、教職員と調理員を合わせた約40名程度と想定しております。
三村委員	理科教育設備整備費等補助金は令和4年度にはなかったようですが、これは県の方で何か目的があつて設けたものかと思えます。どんな目的で設けたのでしょうか。
池田主査	理科教育設備整備費等補助金につきましては、三村委員のおっしゃる通り令和4年度には予算措置していませんでした。 こちらの補助金は、小・中学校の理科に関する設備について、一定金額以

発言者	発言要旨
	<p>上のものを整備する場合、2分の1を助成するというものです。令和4年度は該当するような設備の購入予定がなかったということで予算計上も申請もしていません。令和5年度につきましては、該当する設備の購入予定がありますので、6万円の歳入を見込んでおります。</p>
三村委員	<p>県として、これからの時代に理科教育の必要性を感じてということでしょうか。</p>
北林教育長	<p>この補助金は、新規ではなく以前からずっとあるものです。たまたま令和4年度は申請しなかったのですが、ほぼ毎年申請しております。学校の理科室をご覧になっていただければわかりますが、設備が非常によく整備されております。</p>
松本委員長	<p>ほかに質疑ありませんか。</p>
	<p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>ないようですので、令和5年度一般会計予算案の教育委員会部門の歳入部分について質疑を終結します。</p> <p>次に、令和5年度一般会計予算案の教育委員会部門の歳出部分について当局より説明をお願いします。</p>
池田主査 畠山主任 小林主査 高橋主事 太田主事	<p>【資料に基づき説明】</p>
松本委員長	<p>当局の説明が終わりましたので質疑に入ります。質疑ございますか。</p>
齊藤委員	<p>奨学金について、国や県の奨学金と重複して受給できるのか、予算に達するまで先着順なのか、住民税の非課税世帯等の申請は優先されるのか、個人のトータルの上限はあるのか、返済の年数は貸与の金額によって違いはあるのか、1世帯で複数の申請は可能か、など聞くことがありすぎるので、要綱をいただくことはできますか。</p>

発言者	発言要旨
宮田次長	<p>要綱についてはまだ定めておりませんので提出することができませんが、出来次第お示しし、公開しますのでよろしく申し上げます。</p> <p>次に、ご質問に順番にお答えしていきますが、要綱はまだ定めておりませんので、全て今のところの計画という前提でお話させていただきます。</p> <p>まず一つ目、国や県などとの奨学金と重複が可能かというところは今のところ可能と考えており、そこを要件として排除するというつもりはありません。</p> <p>二つ目の、先着順についてですけれども、予定としてはまず審査委員会を設置することになりますので、奨学金に該当するか否かの審査をすることになります。当初予算ではこの金額で計上しておりますが、もし審査として奨学金の支給が適正だということであれば補正するということも内部では考えております。</p> <p>三つ目の住民税の非課税世帯等の申請は優先されるのかという点ですが、村に住所がある方のお子さんであって、成績優秀などの条件は考えております。住民税非課税世帯を優先するなどの要件は今のところ考えておりません。</p> <p>四つ目の個人のトータルの上限についても要件として考えておりません。補助ではなく貸与ですので、いずれ返済してもらうことになります。その辺の負担も考えて個人で考えていただくことになるかと思えます。</p> <p>五つ目の、返済年数についてです。こちらは今の計画では、卒業した後、据え置き期間をおいてから借りた期間の3倍程度、例えば大学4年間借りたとすれば据え置き期間を過ぎたあと12年間で返済していくというような、一般的なパターンを該当させようと思っております。</p> <p>最後のご質問の、1世帯で複数の子供が借りることが可能かどうかについては、想定しておりませんでしたけれども、先ほども申しあげましたように、貸与ですので、返すことになります。そこはもう複数人必要というところであれば対応も検討したいと思いますが、今のところは予定しておりません。</p>
齊藤委員	<p>やはり1世帯で学生2人を抱えるというのはなかなか大変なことですので、できれば複数の申請もぜひ前向きに検討していただきたいと思えます。</p>
宮田次長	<p>検討いたします。</p>
石井委員	<p>成績も加味されるということでしょうか。そうだとすれば、どの程度の成績であれば対象となるのでしょうか。</p>

発言者	発言要旨
宮田次長	<p>他の市町村の例で答えさせていただきますと、成績優秀という表現だけでございます。</p>
北林教育長	<p>県の育英会の奨学金制度等でも成績証明書を提出することになっておりまして、基本的には、成績優秀だけではなく、良好であることが求められます。大学に入って学力が伴わなく途中でお辞めになるというケースもあるわけですので、一定の学力については、お金を貸す段階で確認することも必要だと思えます。</p>
石井委員	<p>よくニュースで、奨学金の返済があつて結婚ができないという話などを見ることがあります。例えば大学を卒業して村に帰ってきて村に住所を置いて村で働いたというとき、奨学金をある程度免除するような仕組みもあつていいのではと思います。また、スポーツが優秀の方も対象にしてもいいのではと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
北林教育長	<p>まず1点目、本村では令和5年度から始めるわけで、あれもこれも網羅するのは今後の段階だと思っております。他市町村での例も25市町村中22市町村で実施してるわけですので、一定程度の資料はあるわけですが、詳細についてはこれから検討しながら決定していきたいと思えます。</p> <p>二点目の、スポーツの成績が優秀な方を対象とする話は、例はないと思えますがそういう提案もあつたというようなことは受け止めたいと思えます。</p>
黒瀬副委員長	<p>奨学金の返済期間について、卒業したあとの据え置き期間の後、3倍程度という、借り始めてから考えると15年から20年ぐらいの期間になると思えますが、果たして全てきちんと返済してもらえるのでしょうか。他の事例等で何か問題等起きてないものなんでしょうか。</p>
北林教育長	<p>ご指摘の通り、奨学金の返済について社会問題化しています。県の育英会でも多額な奨学金を育英資金として、貸与しているんですが、訴訟が起きたりしている例もあります。</p> <p>返済する予定だったけれども、大学または高校卒業後に、定職に就けないという社会的事情もあつたりして、多くはないと思えますがそういう事例についてマスコミ等を通じて把握しております。</p> <p>今のところは数年間の据え置き期間を設け、返済期間は他市町村がだいた</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>い3倍から4倍程度です。3倍というと、1ヶ月5万円借りるとして、3分の1の約1万7,000円ずつ毎月返していくことになります。</p> <p>これから情報収集しながら制度の詳細を定め、返済が滞らないよう、借りる方には事前にきちんと説明することを徹底してまいります。</p> <p>親が村内在住という条件になっていますが、あくまでも奨学金の返済義務があるのは本人ということでしょうか。また、そこに親の保証を求めますか。</p>
北林教育長	<p>奨学金を借りる段階で、高校生はもちろん未成年でありますし、大学生についても、保護者がもちろん奨学資金を出しているわけで、その段階では親の責任でという1文を盛り込んでいるケースが多いようです。一方で、返済の段階になると成人していますので、その点は本人の責任としている場合が多いようです。</p> <p>詳細については、他の事例を参考にして検討してまいります。</p>
三村委員	<p>貸与するのではなく、給付するという方法を取っている県内自治体はありませんか。</p>
北林教育長	<p>全体的に申し上げればほとんどが貸与です。</p> <p>1つの自治体で一部給付型のもあるそうですが、条件が非常に厳しいそうです。その他は全て貸与という形を取っています。</p>
三村委員	<p>少子化対策・子育て支援としては給付の方が助かると思います。</p> <p>経済的に子育てで大変な時期は子どもの在学中だと思いますので、奨学金が給付になれば大変助かる家庭が多いと思うので、ぜひ検討していただければと思いますがいかがでしょうか。</p>
北林教育長	<p>今は奨学金制度を立ち上げる段階です。ある程度軌道に乗った段階でそういう検討も必要かと思いますが、スタートする段階では給付という形は考えていません。</p>
菅原(史)委員	<p>在宅子育て支援事業の在宅子育て応援商品券交付金の件について、3ヶ月に1回交付ということで年4回、最後の1回が1月に交付されるということなのですが、使用期限が3月末日までということで、使える期間が短いという声があります。</p>

発言者	発言要旨
畠山主任	<p>使用期限について、もうちょっと考慮する余地はありますか。</p> <p>使用の期間というのはやはり今のところは年度で区切っている状態で、引き続きその年度を超えて使えるような状況にはなってはいません。</p>
菅原(史)委員	<p>使用期限が年度末だと、1月に交付される商品券を使用できる期間が2ヶ月間ぐらいということになりますが、期限はやはり年度末で区切らないといけないものですか。</p>
宮田次長	<p>役場の予算の考え方では、事業の完成は3月31日までとするという大原則があるものですから、どうしてもその縛りになります。</p> <p>もし使用期限が年度をまたぐようにするのであれば、内部での検討が必要かと思えます。例えば、継続事業の設定をするなどです。</p> <p>原則としてはやはり年度末で完了という線引きがあります</p>
菅原(史)委員	<p>どうしても年度の縛りがあるのは私も理解できます。</p> <p>それでは、4回目の交付のタイミングを12月に早めるなど、運用の工夫で商品券の利用者が利用しやすいようにすることを検討していただければと思うのですが、いかがですか。</p>
宮田次長	<p>参考にさせていただきたいと思えます。</p> <p>年4回という形にこだわる理由も特にはありませんので、交付時期を少し早めるといったことは可能かと思えますので、検討させていただきます。ありがとうございます。</p>
菅原(史)委員	<p>在宅子育て応援商品券交付金に関連して、一時預かりにこの券が使えなくなったという話ですが、どのような理由からですか。</p>
畠山主任	<p>在宅子育て応援商品券は、令和3年度までの月1万円から、令和4年度には月1万4,000円と、ひと月あたり4,000円増額しています。その4,000円分は、令和3年度までありました一時預かり無料券の金額で、その分を在宅子育て応援商品券の方に上乗せしたという経緯がございます。</p> <p>その理由としましては、一時預かり無料券が年度末に手元に余っていると、期限内に使おうという駆け込み需要があつて本当に保育が必要なのかどうかかわからないような方も、まず手元に券があるから使おうという傾向があ</p>

発言者	発言要旨
菅原(史)委員	<p>ったためです。必要以上の一時預かりは、受け入れる側の職員体制が厳しくなりますので、令和4年度からは、一時預かりが必要な方は、相応の利用料を払って利用していただくということにしております。</p> <p>ただそのなくなった部分に関しても在宅の応援商品券として増額することで村の経済を回しながらというような考えのもとで政策を実行しています。</p> <p>二種類の券を一種類にしたということはいいですが、これを一時預かりにも使えるようにした方が、利用者も使いやすいように思います。いろんなものに使える応援券で統一した方が、使う方も年度末に駆け込みで使うという形ではなくて済むのではないのでしょうか。</p> <p>いずれ、在宅子育て支援応援商品券の使い道について、一時預かりとうまいこといかないのかな、という実際の声があります。</p> <p>今後については、そういう声もあるということを考慮していろいろやり方を検討していただきたいと思います。</p>
畠山主任	<p>一時預かりについては、村が直接おこなっているサービスであり、商品券の配布は、村の経済循環を目的としている部分もあるので、商品券の対象をどこまで適応させるのかといった部分については、引き続き検討をしながら良い方向に進めていければと思います。</p>
戸部委員	<p>スポーツ施設維持管理事業について、相撲場、水上スキー関連で3つの補改修がありますが、令和3年度の財産調書を見ても、相撲場とジャッジタワーについては載っていません。村の財産として載ってないものに対して村が改修する義務はどう理解すればいいですか。</p>
小林主査	<p>相撲場に関しましては、相撲場の設置条例がありまして、教育委員会で管轄することになっています。相撲場を設置したのも大瀧村ということで、教育委員会が工事を行うべき施設というふうに考えております。</p>
宮田次長	<p>水上スキー場の二つの施設に関してですが、設置したのはかなり前の話でして、当時の企画課が設置したものと思います。</p> <p>経緯については時間が経過してしまったので確認する必要があります。水上スキー場の場所は排水路の横で県で管理していますので県の許可を取り設置しています。事実関係について、確認したうえでお答えさせていただきます。</p>

発言者	発言要旨
戸部委員	<p>たいと思います。</p> <p>維持管理というのは、村でその財産として管理しているものに対して行っていくものだと思います。</p> <p>やはりそれは財産としてしっかりと財産調書に載せていかなければいけないし、維持補修するなら財産調書との整合性が必要だと思います。</p> <p>相撲場に関しては、今後やはり進めていくのでしょうか。</p>
北林教育長	<p>相撲場については、設置条例もあるということですので、財産調書との関連についてもこれから精査してみたいと思います。</p> <p>ただ、相撲場は使われており、ある以上は管理していかなければならないというふうに思っています。</p>
黒瀬副委員長	<p>こども海外研修事業について、どのような内容なのか、また、ホストタウンのデンマークとの交流もあると思いますが、その辺りとの関連性などはどのようになっているか、教えていただければと思います。</p>
北林教育長	<p>こども海外研修事業というのは、以前の韓国と交流をしていた事業でして、韓国との交流は目的を達成したということで、終了しております。</p> <p>現在は、台湾との交流が検討されており、調査費用として5万円を計上しております。</p> <p>また、デンマークとの交流につきましては、以前交流していた学校の校長が退職してしまいましたが、新たに今、前国際交流員のアントンさんと現在の国際交流員のアンドレアスさんの出身大学の日本語学科の教授、富岡先生という方に、以前のように交流できる小中学校がないかということ相談しているところです。</p>
黒瀬副委員長	<p>子どもの交流事業として、台湾とデンマークの2本を検討しているという理解でよろしいですか。</p>
北林教育長	<p>はい、そのとおりです。</p> <p>ただ、今の段階で非常に懸念しておりますのは、例えば航空機代の相当な値上がり、それから現地に行くためのバス等で移動する費用が3倍も4倍にもなっているということで、そういったことも検討材料にしていかなければならないと考えています。</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>子供の研修事業に関して、デンマークについては以前の校長先生が退職されており、浦安との交流事業も結果的に市長が変わって交流が終わったと聞いております。子供の交流事業がブツブツと切れていくというのはいかなものか、もうちょっと継続性を大切にして実施していただきたいと思います。台湾にしるデンマークにしる、そういった意識で事業を検討していただきたいと思います。</p>
北林教育長	<p>浦安との交流も、以前のデンマークとの交流も、村としては一貫して継続の意思を示しています。</p> <p>浦安の市長が代わった際には、何度も部長さんを介して市長に継続をお願いしたのですが、市長の方針であり、別にもっとやらなければならない事業があるという説明でございました。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(11:55)</p> <p>再開します。(13:30)</p>
松本委員長	<p>宮田次長の方より先ほどの質疑について説明があるということでよろしくお祈いします。</p>
宮田次長	<p>午前中に財産台帳に載っていないと戸部委員よりご指摘を受けた相撲場と、水上スキー場のジャッジタワーの件につきまして、調べてみましたところ、ジャッジタワーに関しましては、平成10年11年度の工事で20数年前、相撲場だとちょっとさらにまた確認が難しいのですが、ご指摘の通りやはり台帳に登載すべきものということの判断でいいと思われまますので、次回の令和4年度決算のときに出される財産台帳には掲載するように準備を進めたいと思います。</p>
三村委員	<p>スポーツ施設維持管理事業のランドマーク制作業務委託料というのはどのようなものでしょうか。</p> <p>それから、予算書にはありませんが、新体育館の基本構想についてホームページには公表されていましたが、このことについて住民はどのようにしてお知らせするのでしょうか。</p>
太田主事	<p>ご指摘の事業は、ボート場に関するもので、ランドマークとは、大きな数</p>

発言者	発言要旨
	<p>字が書いてあるプレートのことで、レーン表示の役割をするものです。</p> <p>基本構想は村ホームページおよび村民体育館のホームページにアップしています。</p>
三村委員	<p>新体育館については多くの村民が非常に興味を持っています。ホームページに掲載されていることに気付かない方もいると思いますので、他に周知の手立てはないでしょうか。</p>
太田主事	<p>広報おおがたで、基本構想について村ホームページに掲載していることをお知らせしています。</p>
三村委員	<p>ぜひ、広報おおがたの誌面にも掲載して欲しいです。</p>
宮田次長	<p>検討します。</p>
黒瀬副委員長	<p>防犯カメラの設備改修について、経年劣化によることなのですが、昨今、全国的に見るといろいろな学校内での事件等がある中で、防犯カメラの機能として何か今まで以上にするというわけではなく、あくまでも今まで通りの機能でいくつもりでしょうか。</p> <p>生徒用トイレ引き戸設置に関しては、ぜひ進めていただければと先ほど説明を聞く限りは思うんですけども、こちら小学校はどうなってるんでしょう。</p>
池田主査	<p>一点目につきまして、防犯カメラは学校建設された当初から設置されているもので、今年で10年目になりますので、経年劣化している部分について更新するものです。</p> <p>カメラは合計7台で、小中学校の玄関や大体育館側の入り口など、広く全体を見回せるように配置されており不審者に気づいたり、記録したりできるようになっております。</p> <p>今回更新するのはモニターとレコーダーで、これを小学校1セット、中学校1セットそれぞれ配備して、カメラは共有という形になっておまして、同じカメラからの映像を、小学校、中学校それぞれモニターで見たり、レコーダーに記録するという形です。こうすることで、片方のレコーダーが壊れた際にもバックアップされます。なお、これまでも同じ仕組みで運用しており、機能的に今後も当面は十分だと考えております。</p>

発言者	発言要旨
	<p>二点目につきまして、ご質問の生徒用トイレ引き戸設置工事ですけれども、小学校の方に、いいんでしょうかというふうに予算編成の時期に確認をとりましたところ、アンケートを児童全員にとったというわけではないんですが、そういった臭いや音を気にしてトイレに行きたくないというようなことは今の所ないので、引き戸は必要ないとのことでした。また、保健室にはトイレがあるのですが、中学校生徒の中には、休み時間に保健室のトイレに行ったり、お腹が痛いと言って養護教諭に相談したりする生徒が結構いるというふうに聞いていますが、小学校の方ではそういった児童がいないということと実際そういった意見も聞こえてこないとのことでした。</p>
三村委員	<p>小学校の児童であれば、自分が体調不良になっても何が原因で不調になっているのかというのを表現することもできないだろうし、気付くことも難しいかなとは思いますが。そういう児童がいるのかどうかというのは先生方が見ている、いないという判断なんでしょうね。</p>
池田主査	<p>アンケートまでは行っておらず、児童にちゃんと聞き取りをしているわけではありませんで、普段先生方が見ているということ、それから中学校のように養護教諭に相談に行けない小さい子供もいたりするかもしれませんけれども、今のところはそういった声が小学校から上がってきていないということもありますので、少なくとも今年度は見送って、今後アンケートも必要であれば取ることはできるということで、小学校でも今後検討するかもしれないとのことでした。</p>
川渕委員	<p>中学校も小学校の構造上はトイレは同じような設計ですか。</p>
池田主査	<p>構造上は、ほぼ同じです。教室の前に廊下を挟んでトイレがあり、児童用のトイレにはパーティションしかなくて、扉で空間が仕切られてるような状態でもなく、そういった意味ではほぼ同じ状況です。</p>
川渕委員	<p>もし同じ作りであれば、いずれは小学校でも問題になると思いますので、同じく引き戸するような方向に進んだ方がいいのではないかと思います。</p>
池田主査	<p>児童ということで中学生と年齢も違うということもありますので、小学校現場の方と相談しながら検討していきたいと思います。</p>

発言者	発言要旨
川淵委員	臭いとか音を気にせずにご利用できるように、ぜひやってください。よろしくお願いいたします。
黒瀬副委員長	スポーツコミッション大潟の活動に関しての内容や人員などについてどう考えておられるのか、現状と来年度の話を両方教えていただければと思います。
小林主査	<p>スポーツコミッション大潟活動支援事業ですけれども、こちらは令和4年とほぼ同規模の事業ということで考えております。</p> <p>違うのは特別旅費で昨年も合宿誘致のトップセールスということで予算措置していましたが、今年度は職員分を増額させていただいております。内容としましては村長または教育長、そして担当職員が首都圏に向けて大学等に合宿誘致に行くというものであります。</p> <p>また委託料につきましては農業体験水上スポーツ体験等の開催業務委託料として30万円計上しておりますけれども、交流人口拡大に向けたスポーツ教室ということで令和4年度は水上スキー教室やヨガ教室等を開催しました。村外にもチラシを貼っているのですが、コロナの影響もあって、ゼロではないにしろなかなか申込みが伸びなかったというものであります。令和5年度も外に向けて発信して教室を開催していきたいと考えています。</p> <p>また、負担金補助および交付金のスポーツコミッション大潟の活動支援費補助金ですけれども、こちらにつきましては事務費で10万円ほど、あと残り60万円は30万円30万円としまして、大規模スポーツイベントの開催ということで予算措置しております。令和4年度につきましてはラグビーとバスケットを予定していましたがラグビーの方は行えませんでした。ラグビーの方は今年2月18日、アランマーレ秋田の選手24名に来ていただきまして、大潟村のスポ少の他、追分、琴丘、土崎南と全部で4チームを呼んで、バスケットボール教室を開催し交流会も行ったという実績があります。人員の方について増員という話はありませんけれども、引き続き体育館の方で、おそらく会計年度任用職員を交えての運営を行っていただけるものと考えております。</p>
黒瀬副委員長	スポーツコミッション大潟の事務局は体育館ですか。
小林主査	今現在、生涯学習班に予算がついております。私が今いるところは公民館、そしてスタッフはちょっと離れているのですが体育館に1名いるということ

発言者	発言要旨
	で、変則的な格好ですけれども、このような形になっております。人事の関係はどう動くかはわかりませんが引き続きこの体制で運営できると考えております。
黒瀬副委員長	体育施設費の人件費、会計年度任用職員なので今のお話にも関係してくると思うんですけども、これ人数的には2名ということになるのでしょうか。
太田主事	ご指摘の通りこちらは2名分の会計年度任用職員の賃金になっております。
黒瀬副委員長	これは確か去年から増えて、去年増えた理由が、高校駅伝の全県大会、東北大会など大規模なイベントがあるということと、新体育館の基本構想のアンケートなどだったと思います。 令和5年度も引き続き2名体制でないと厳しいということでしょうか。
宮田次長	人件費の予算計上に関しては、今現在の体制で計上しており、新たな年度になってから、異動等により補正が必要があれば補正するというやり方を、うちの役場ではこれまでやってきてきましたので、現在の体制のまま予算を充てたという捉え方をお願いしたいと思います。
齊藤委員	文化財保護に関して、村が考える文化財にはどのようなものがあるのでしょうか。
小林主査	大瀧村も50年を過ぎて、令和6年に60周年ということで、大瀧村で何か文化財的なものがあれば、指定・保護して活用するための制度を設けるため条例制定を行ったというものでありまして、これと決めて決まったものは今はありませんけれども、常任委員会の中で教育長の方からお話が出たのは国の登録有形文化財として三角屋根、国際交流員アンドレアスさんが現在住んでらっしゃる建物を文化財の登録の方に持っていこうという動きがあります。こういった歴史上古いものですか価値のあるものっていうのが文化財として考えられるかと思います。
齊藤委員	文化財に指定された場合に、今後いかに保護していくかということが問われるというか、やらなきゃならないと思います。例えばそういう住宅をどう保護していくことになるのでしょうか。

発言者	発言要旨
小林主査	<p>例えば村外ですと、旧奈良家のかやぶき屋根住宅ですね、そういったものが指定された場合には指定した県ですとかが茅葺き屋根の改修に補助を出して同じ状態に保っていくということが、文化財の保護、そしてそれを県民に知らしめて内部等を見てもらって歴史を伝えていくということで活用しながら、文化財を保護していくというのがこちらの制度になっております。</p>
菅原(史)委員	<p>令和4年の6月議会で、コロナ対策として学校の消毒作業をシルバーに委託する予算を補正しました。それまでは学校の先生が消毒作業をしていて、非常に大変だということで補正をしたと思うんですが、令和5年度についてはその辺がどうなったのか、今年は5月から2類から5類にコロナも変わりますんでそれに合わせて学校の対応はどうする予定ですか。</p>
池田主査	<p>令和5年度に関しましても、消毒作業は続けていきます。ただ、検討した結果、シルバーにお願いしていくという形ではなくて、学校の校務員さんを含め、会計年度任用職員の方など、現体制の中でやっていけるのではないかとということで検討しております。</p>
菅原(史)委員	<p>その消毒作業自体は今後も続けていくという考えですか。私の個人的な考えは、まずなるべくコロナ禍以前の体制に早く戻して普通の感じで過ごせるのであればそうした方がいいかなと思うのですが。</p> <p>消毒作業を続けるのはいいです。ただ結局先生と校務員の方々に負担がかかるってということになりますよね。</p> <p>もし続けていくとしたらあと状況を見てやめるタイミングも考えればいいかもしれませんが。このあとずっと続けていくとしたら、6月の補正のときには先生が大変だからということで予算がついたわけで、やはりできるといってそういうふうになったって言いますが、何かちぐはぐですよ、その辺はね。</p>
宮田次長	<p>ご指摘の内容もごもっともだとは思いますが、今回、当初予算の査定の中で一度要求もしたんですが、コロナの先が見えたっていうのも変ですけども、これのいろいろな状況も緩和されていく方向であるということもありましたので予算的にも、その辺をもう1回現場で考えてもらって、対応できるものは対応してもらいたいということで、最終的な結論を出しましたので、今回予算はつけずに現場の方で必要であればやりくりしてくださいとい</p>

発言者	発言要旨
三村委員	<p>うことで結論付けさせていただきました。</p> <p>公民館の調理室がなくなるということだったと思うんですけど。この間のフレミズとの話し合いのときにやはり調理室の備品とか揃えてきちんとしてほしいというお話があったばかりでした。</p> <p>そうすれば調理室はもう全て取り払われるとすると、例えばお茶を準備するためにお湯を沸かしてポットに入れて集会室で使うときなどは、どのようにするのでしょうか。</p>
小林主査	<p>調理室の方は現在、流しが使えないということで調理台、そして食器類も含めて全て撤去というお話をさせていただきました。</p> <p>2階でお茶を飲まれる場合の件ですけれども、1階の給湯室を利用させていただいてそちらで湯沸しをしていただいて2階の部屋でお飲みいただくことは可能ですのでそういった対応をとっていただければと考えています。</p>
黒瀬副委員長	<p>今の件に関連してですけど、これはたまたま排水が駄目になったタイミングでの改修でしょうか。それとも、公民館も経年劣化はあるのでいろんな修繕が必要になってくると思うんですけども、何か長期的な改修計画などがあってその一環としての改修なのでしょうか。</p>
小林主査	<p>公民館については、下水がまず流れないということから始まりまして、これと実際に調理室を利用する頻度というのが非常に低かったということで、平成30年度は調理台を使ったようなイベントはゼロ、それ以降も公民館の各種事業でしか使われず多くても年4回ほどで、やはり村民センターの調理室がありますのでそういった事業には皆さんそちらの方を使っていたと。また下水を直す場合ですね、風除室の下を下水管が通っていて改修するとなると公民館玄関の風除室を一度取り壊さなければならないというようなこともあって、使用頻度から見ても改修しなくてもいいんじゃないかと、そういったものが必要な場合には村民センターを利用するという形に変えていただければということで話が始まりました。</p> <p>なお、今後の改修といたしまして、公民館は、まずできるだけ現状維持と考えておりますが、調理室を改修した際には、現在調理室は第1集会室と二つの部屋が一つになっていまして、パーティションで区切ることになっています。こちらの方は、調理室を撤去した場合には第1集会室に改めたらどうかと、隣の第2第3集会室、これも一つの部屋で二つの名前になってるんで</p>

発言者	発言要旨
	すけれどもこちらの方も変えたらいいのではということで、こちらの工事が終わった際には、部屋の名称も変えて利用していただくようにしていきたいと考えています。
黒瀬副委員長	奥の和室なんですけれどもそこは今後も和室としていくんでしょうか。若干、和室としての需要があるかもしれないですけども、一般的に会議に使うと考えるとちょっと使いづらいのかなと思ったりもしてるので、そのあたりはそのままという考えでしょうか
小林主査	はい、和室を指定して利用する方もいますので、そのまま和室にします。
三村委員	博物館の企画展示、教育普及事業ですけど、これに該当するのかわかりませんがこの企画展示っていうか、例えば個人の方が写真展を開きたいとか、それから個人の方が絵画を展示したいとかそういうのも受け入れていただけらなんでしょうか。
高橋主事	個人による展示会も、過去に例があり、その場合はこの事業の中で行うこととなります。
三村委員	チューリップの展示とかもなくなってしまったので、なかなか博物館に行くことがなくなってしまったんですけど、やはり村民の利用が増える形を考えていただければと思ってるんですけど、例えば展示できますとか、館内の一室をお貸しできますとか、私も実際に会議室としてお借りしたこともありましたけど、そういうことのPRをもっとしてみたいかでしょうか。
高橋主事	<p>博物館の利用といたしましては村内の方に限らず村外からも利用いただいているところです。企画展示室は特に企画展を行っていない間は、団体が研修に利用したりなど、今年度も実績があります。</p> <p>そのような周知といたしましては干拓博物館のホームページで行っており、そのホームページをご覧になった方から問い合わせをいただいております。</p> <p>三村委員のおっしゃるとおり、村民の来館が村外の方と比べて少ないのかなと感じておりますので、イベントなどの際は周知の方法も工夫して行いたいと考えております。</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>中学校部活動地域移行事業なんですけれども。</p> <p>こちらの方は指導者の報償費等ということなんですけれども、こちらは週末の地域移行だと思うんですけど、これは全部活を対象に、もう来年度から全て実施するという感じでしょうか。</p>
宮田次長	<p>対象となるのは全部活になります。運動部四つと吹奏楽部です。</p> <p>ただ、まだ確定したわけではなくて5年度中に進めていきたいというくらいの段階でして、はっきりといつからとか、何年度からとかいったところは未確定の部分もございます。</p>
黒瀬副委員長	<p>指導者の報償費なんですけれども、引き続き週末も先生がそのまま先生の立場ではなくてっていう形のお話も聞いたことあるんですけども。</p> <p>その場合にも他の例えば地域の方がやられる場合と同じように、補償費を来年度から払える体制になってるという理解でよろしいでしょうか。</p>
宮田次長	<p>はい。おっしゃる通りです。先生が休日指導する場合も、地域の人として指導に当たるということになりますので、学校からの報償費ではなくて、地域の人として支払われることになります。</p>
三村委員	<p>ゴールデンウィークは農繁期で、こども園に預けたいという農家が多くいます。季節保育のように子どもを預かってくれませんか。</p>
畠山主任	<p>ゴールデンウィークの一時預かりは特に実施していません。</p>
三村委員	<p>検討してもらえませんか。</p>
宮田次長	<p>農繁期という理由だと、「なぜ農家だけ預けられるのか」ということになりますので、勤めてる人はなぜ駄目なのっていう話もなりますし、忙しい人と忙しくない人が混在してますので、なかなか難しいかと思えます。</p>
黒瀬副委員長	<p>ふるさとあきたランの予算が令和4年度より増になってるようなんですけども、その内容を教えてください。</p>
太田主事	<p>ふるさとあきたランの委託料についてですが上がっている部分についてご説明します。委託料の参加業務委託料が値上がりしてるんですけども、こ</p>

発言者	発言要旨
	<p>ちらはチームウェア購入費の増が要因です。</p> <p>昨年度までに参加したことのある選手についてはチームウェアは購入しない予定でしたが、やはりみんなで同じものを新しく揃えたいというような話がありまして去年の委託料の中ではちょっとオーバーしてしまっただころがありました。来年度の予算としてはスタッフを含む選手全員と一緒に揃えたいと考えております。</p> <p>また、車借り上げ料ですが、昨年度までは中型バスを想定しておりましたが、選手負担の軽減のため大型バスで1人2席使えるようにしたいという要望がありましたので、予算措置させていただきました。</p>
黒瀬副委員長	<p>参加費の項目も、令和4年度にはなかったようですが。</p>
太田主事	<p>令和2年度と令和3年度の大会が中止となり、支払い済みの参加費は翌年度に持ち越すことになったため、令和3年度と令和4年度は支出がありませんでした。令和5年度にはまた必要になるため、措置しました。</p>
黒瀬副委員長	<p>新体育館等整備事業について、今年度は役場内で検討を進めてというお話なんですけれども、おそらく最初の基本構想の策定委員会の段階で今後のスケジュール等を出してると思うんですけれども、そこからは変更がないということですか。それとも、実際のスケジュールとしてそこから変わってるのか、そこあたりはどうなってるのですか。</p>
宮田次長	<p>当初の予定としましては、脱炭素の先行地域の補助事業が令和8年度までの5年間でしたので、新体育館の設備の中でそういった脱炭素に関連するようなものを導入すると、補助事業としての財源が少し期待できるので、その辺も含めて令和8年度までにということを目安に考えておりました。</p> <p>ですが昨今の資材の高騰も鑑みまして、8年度末までという予定についても今後、状況も見ながら進めていかないといけないというふうに考えております。令和5年度、検討するといったものに関してはPFI、つまり民間の資金やノウハウを導入して有利な方法で建設から運営までできないかというところの検討もしたいと思っております。建物のスペックだけじゃなくてそこも踏まえて進めたいなというふうに考えております。仕様についても検討委員会ではこういったもの、こういった設備、こういった施設、こういったスペースが欲しいというような内容の報告をいただきましたが、それをそのままお願いされた通りに建てるということではなくて、やはり役場の事</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>情もございますし、何が必要で何が不要でないか、こういったものも必要じゃないかというような役場としての上乗せなどもありますので、そういった検討にも、令和5年度を充てたいというふうに考えております。</p> <p>ですので、確実に令和8年度までには何とかしたいということではなく状況を見ながらというふうに、ニュアンスはちょっと変更になってるのかなというふうには思います。</p> <p>脱炭素先行地域計画の中での事業を使ってっていうのがなかなか難しいという意味合いになってきます。</p> <p>今年度検討していただいた委員の皆様の中では、おそらく令和8年度に完成するという前提のスケジュールの中で構想を策定されたと思うんですけども、検討委員に対しては、当初の予定どおりとは限らないという説明がされているのでしょうか。</p>
宮田次長	<p>説明についてはまだしておりません。</p> <p>令和8年度までという話はしてあるんですが、今後役場で検討しますし、具体的にいつまでというところはまだ決まっていません。状況を見ながらというぼんやりした答えしか出せないんですけども、必要ならばそういった説明も、検討委員の皆様には丁寧に対応したいと思います。</p>
黒瀬副委員長	<p>村ホームページの方に結果が載って、そこに今委員の方の名簿が載っているんで、村民の方からしても、これでいくのかなと思ったときに委員の方に聞いて、委員の方は、令和8年に完成する計画というか、スケジュールを聞きながら今回の構想を策定したということを見ると、「令和8年度に完成します」という話だけが1人歩きしてしまうんじゃないかという不安もあり、先ほど検討結果を委員の皆さんに周知した方がいいと申しました。ですが、それ以前に今後の村の進め方という姿勢をもう1回説明しないと、このまま行くとあそこで委員会の方が出した結果がそのまま令和8年度には出来上がるという話だけが先に進んでですね、結果として完成しなかったとき、もしくは小規模のものができたときに、せっかく新しいのを作ってもがっかりされるっていう寂しい話になることも考えられますので、丁寧に説明をしていただければと思います。</p>
宮田次長	<p>わかりました。一応委員の方には、いただいた報告書をもとに、村でも検討させていただきますというその趣旨だけは伝えてあります。</p>

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>村民への周知について、年度の話も含めて、丁寧に説明したいと思います。</p> <p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p>【なしの声】</p>
松本委員長	<p>それでは教育委員会部門に関する質疑を終結します。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(14:20)</p>

付託事件	議案第 20 号	令和 5 年度大潟村水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第 21 号	令和 5 年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第 22 号	令和 5 年度大潟村一般会計予算案
	議案第 23 号	令和 5 年度大潟村診療所特別会計予算案
	議案第 24 号	令和 5 年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案
	議案第 25 号	令和 5 年度大潟村介護保険事業特別会計予算案
	議案第 26 号	令和 5 年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案
	議案第 27 号	令和 5 年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案
	議案第 28 号	令和 5 年度大潟村水道事業特別会計予算案
議案第 29 号	令和 5 年度大潟村公共下水道事業特別会計予算案	

発言者	発言要旨
松本委員長	再開します。(14:35)
松本委員長	総括質疑に入る前に、これまでの審議の中で説明を保留していた項目について当局から説明をお願いします。
庄司主査	<p>黒瀬副委員長よりご質問のありました、ふるさと応援基金を各年度のどの事業に充当しているかということについてお答えします。平成 30 年度からの基金繰入金の充当事業の一覧表をお配りしておりますので、そちらをご覧ください。</p> <p>寄附を行う際に、自然環境の保全に関する事業、産業の振興に関する事業、教育文化の振興に関する事業、福祉の充実に関する事業、特に指定しないという種類の事業指定があり、その指定に合致する事業に充当します。特に指定しないというものについては、その年度の事業の中から選択して充当しています。</p> <p>表の右端の欄がその年度の充当額の合計となっております。令和 3 年度までは決算額、令和 4 年度は 3 月補正後の予算現計額、令和 5 年度は当初予算額を記載しています。</p>
松本委員長	ただいまの説明について質疑ございませんか。
黒瀬副委員長	令和 5 年度は、これまでと比較して金額が大きくなりますが、理由を教えてください。
庄司主査	令和 4 年度の 3 月補正で決算見込み等が出た結果、ある程度の余剰が発生

発言者	発言要旨
	<p>しており、令和4年度に繰り入れる予定としていたふるさと応援基金を3億1,000万減額しております。</p> <p>そちらの減額分と、令和4年度の寄附金見込み額を合わせて4億5,000万円程度が、令和4年度末での基金残高になるものと見込んでおります。予算の編成に当たっては、ふるさと応援基金を先に有効に活用し、不足する部分を財政調整基金で対応するという形で予算編成を行いました。</p>
黒瀬副委員長	<p>ふるさと応援基金は使い切る前提という考え方になるのですか。</p>
庄司主査	<p>使い切るということではなく、あくまで残高の範囲内で活用するということです。金額については、予算編成時に歳入歳出の調整の中で判断しています。</p>
松本委員長	<p>他に質疑ありませんか。</p> <p>それでは次に総括質疑に入ります。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
菅原(ア)委員	<p>2点ほどあるのですが、はじめに子育て支援について、令和5年度からは国や県も子育て支援に力を入れており、補助金の支援があります。</p> <p>既に大潟村独自で行ってきた出産支援金もそのまま継続した形になっております。</p> <p>福祉や教育に関しても、昨年以上に手厚い事業展開で予算が計上されており、子育てに対する当局の熱い思いが伝わってまいりますし、大変評価できます。</p> <p>結婚や出産を望んでいる方たちに、当局の思いが届いて、村の出生数の増加に繋がっていただければと願っております。</p> <p>限りある予算の中で様々な事業を行っていくことはとても大変でしょうが、来年度以降も引き続き状況を勘案しながら、出産や子育てを応援していただきたいと思っておりますが、村長の思いを改めてお聞かせ願えますでしょうか。</p>
高橋村長	<p>出産子育て支援ということで、村でも今までも力を入れてきたわけですが、国の方も総理が異次元の対策を講じていくということを言っているように、今国を挙げて、少子化に取り組むということが大きな方向となってきました。</p>

発言者	発言要旨
菅原(ア)委員	<p>村ではそれに先駆けて多くのことを取り組んできていますので、そういったものは継続しながらも、今後、国、県の施策も有効に活用しながら、さらに子育て教育、そして子供を育てやすい村づくりというのは今まで以上にしっかり取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>もう一つそうした取り組みと併せて、そうした方々が村に外からも来るような環境づくりにも、ぜひ力を入れていきたいと思っていますので、どうかよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今の思い、本当に村外からも大潟村に移住してくるような、定住してくるような政策を引き続き考えていただきながら、ぜひ村の人口が増えていくように取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>続いてよろしいでしょうか。</p> <p>総括質疑でもお話させていただきましたが、国民健康保険税の激変緩和措置が令和5年度で終了することにより、村が町村会に提出された要望書を見させていただきました。</p> <p>どこに住んでも、所得に応じて保険税が賦課されるのであれば良いのですが、大潟村では既に約4割の世帯が国保税上限となっており、その負担増加分が残り6割の中低所得世帯に求めることになるのはとても心外で受け入れがたいものです。</p> <p>一人一人の医療費が低いということも伺っており、なおさらです。</p> <p>県が一括して各市町村に配分する保険税額ですが、ご配慮がいただけない場合は、村は村民の負担額が急激に増加しないように、基金の取り崩しなどで調整しながら行っていくと思いますが、これまで努力して維持してきている村の健全な財政運営の危機にも繋がっていくと思います。</p> <p>いつまでも続けていくことはできませんし、いずれは個人負担の増額になると思います。</p> <p>村は人口増加を図りたいと移住定住促進事業を進めておりますが、このような実態になれば、大潟村の魅力も失いかねず、村に住みたいと思っている方々の熱意も一気に冷めてしまうのではと懸念されます。</p> <p>これからも機会があるごとに県、町村会にご配慮をお願いさせていただくことしかできませんが、県は、大潟村の現状をどのように把握して、賦課額を決め、それによって生じる村の影響をどのように考えていると思われるでしょうか。</p> <p>大潟村にこれだけの賦課額を課しても、村は十分に乗り切っていけると考</p>

発言者	発言要旨
高橋村長	<p>えておられるのでしょうか。</p> <p>村長がこれまで県にお願いしてきた中で得られた感触のようなものをお聞かせ願えますでしょうか。</p> <p>まず県に要望に行った折、県からはっきり言われたのは、激変緩和処置は国から財源が来ていて、それが国の方からも打ち切られるので県としてはこれ以上継続できないとのことで、そうした中で計算方式を変えられないかと聞きました。</p> <p>今の計算方式だと大潟村への負荷が大きくなるのでそういったことも話をさせていただきましたが、それも決まった計算式のもとでやっているのだからできないということでした。</p> <p>また、そうしたことができない場合、県の方で激変緩和処置に代わる支援を継続してほしいということも要望しておりますが、なかなかそれも厳しいような話でありました。</p> <p>ただ大潟村の置かれている状況については、ご理解いただけたものと思っています。</p> <p>村が努力している部分、また、所得が多いということで、負荷も多くなっているようなときはさらに今言われたように上限に達している世帯が4割もあるということもご理解はいただけたんですが、要望に行った段階では県としてはなかなか独自に支援というのは難しいということでした。</p> <p>もう一つは町村会がこの秋田県一本化の運営方針がスタートするときに、早期の全体一本化はしないようにという要望を出していたので、そういった要望も町村会から出されているので県としてはなかなか急ぐことはできず、そちらとの整合性も検討して欲しいといったことから、町村会に対しても説明要望を出したところであります。</p> <p>いずれ新年度が次の国保の方針策定の年になりますので、この機会をしっかりと捉えて各方面に働きかけ、できるだけ秋田県一本化の方針が早く示されるよう、また国の方にも前よりも前倒しで一本化するようという方針を各都道府県に出しています。そういったことも含め早く全県一本化になるように努力していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
菅原(ア)委員	<p>国から決定された事項ですので、この一本化というのはもう決定されるということは理解しております。</p> <p>でも、大潟村の平等割、所得割、均等割、この中の所得割が大きいからといって、何か資料を見ますと、もうトップに大潟村で他の町村は今までと同</p>

発言者	発言要旨
	<p>じょうな分布であると伺っております、この不公平感っていうのは今の大潟村の実情からすればとっても受け入れがたく、他の所得の高い人に賦課されるのは、当たり前のように受けられますが、そのしわ寄せが中間層に行くということで、移住定住政策にも関係してきますし、国だって県だって、秋田県の人口増加を図っているはずです。</p> <p>一市町村の大潟村に関してだけ、こういう不平等感といいますか、そう思えるような政策というのはやっぱりいろんな影響があると思いますし、何とかこれからも村長にご尽力いただいて、その不平等感がなくなるようにご尽力いただきたいとそれしか言えませんが、こういう実情だということ資料をいただいて、また改めて思いましたものですから、何とか今後もよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
石井委員	<p>新体育館について基本構想が策定されたところですが、私は以前より野球場のリニューアルも必要なのではという話をさせていただいており、教育長からはそろそろ大規模な改修が必要だとは思われるという返事をいただいています。村としては野球場の改修について実際にどのような形で考えているのか、お聞かせ願ひます。</p>
北林教育長	<p>野球場の件につきましてはここ数年いろいろと議員の皆さんからご提案をいただいているところでございます。</p> <p>令和5年度予算には計上してございませんが、ご承知のとおり、バックネット裏からスタンドにかけての雨漏りがひどくて、球場の整備の前にまずバックネット裏の一部維持補修をしないと大会のときに貸し出しできないというようなところもあります。球場の整備費用は毎年50万円ほど予算措置しているわけですが、全面改修となるとやはり多額の予算が必要になりますので、令和5年度はまずそういう部分の修理をしながら、周辺の野球場等も参考にしながら、全面改修も視野に入れて情報収集しながら検討してまいりたいと思ひます。</p>
石井委員	<p>具体的に考えられているようで、まずホッとしております。</p> <p>確かに去年、雨漏りがあって電気系統が壊れてしまったということがありましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>続いて、ちょっとご案内させていただきます。</p> <p>今年の9月の3連休に、ポニーリーグの世界親善大会が秋田県で行われます。だいぶ前に関係者から大潟村の球場も押さえておいてということをお言</p>

発言者	発言要旨
北林教育長	<p>れました。その時には、村の球場では、中学生といっても世界大会の会場として使うのは無理でしょうと答えましたが、先日、議会が始まる前にまた連絡が来まして、大潟村で開催するから球場を押さえてくださいと言われ、3日間、球場を押さえました。ポニーリーグの方でもホテルサンルーラル大潟を3日間、全室抑えたとのことで、国内外から多くのチームが大潟村を訪れることになると思いますので、よろしくご配慮いただきたいと思います。</p> <p>ポニーリーグについて簡単に説明させていただきますが、日本ではシニアリーグとか、ボーイズリーグと言えば有名ですが、中学生の野球リーグです。世界で見ると、ポニーリーグが一番大きい団体で、メジャーリーガーの約7割がポニーリーグ出身の選手と言われています。</p> <p>ご案内ありがとうございます。満足いくような整備をするのはなかなか難しいかもしれませんが、世界大会にふさわしい会場となるよう、できる限りの必要な改修をしたいと思います。必要に応じて今後補正予算をお願いすることもあるかもしれませんのでよろしくお願いいたします。</p>
黒瀬副委員長	<p>全般の話で、今回の当初予算総額が50億9,000万ということで、その説明にもあった通り、大幅増の主な要因は資金運用事業、新エネルギー100%のまちづくり推進事業ということですが、その部分を除いても、前年より増えている状況で、昨年の不作等もあって税収等も減るのではないかという中で、燃料費、人件費等高騰する要因はあると思いますが、今回昨年よりも予算を増やして、予算を作られたという大きな考え方を教えていただければと思います。</p>
高橋村長	<p>全体的なことと言いますと今委員がおっしゃった通りでして、増えた金額として大きいのは、脱炭素と基金の新たな運用ということになります。ただ、その他でもやはり子育て支援の新たな事業に取り組んだことや、ふるさと応援基金を活用しながら、今後の住民サービスを充実させるためのコンビニ交付や、以前から取り組んでいる電算システムについても今後の住民サービスが繋がる分野ということで、さらに生活関連でいうと、道路の舗装やまた砂利道の補修なども例年よりも多く予算付けをしています。そういった意味では脱炭素関連は非常に大きいですが、村民に直接関わる事業についても、今回は充実させたい、また、新たな取り組みを開始するっていう形で予算が少し膨らんでいます。特に子育てについては、大潟村が充実しているということが見える形でということも含め、新たに付けさせていただいたところで</p>

発言者	発言要旨
黒瀬副委員長	<p>す。さらに、村民の生活に関わる部分についても、予算として膨らんだことで、全体として予算が大きくなった要素にもなっているということでもあります。</p> <p>わかりました。ありがとうございます。今回確かに子育て支援等を充実させておりますので、そこはすごい予算かなというふうに考えております。しかし、これで終わるわけではなく、今後も子育て支援や移住定住などの事業を拡充させたときに、その総額を増やしてという対応は、この先の村の財政状況を考えると、いつまでも予算を増やしてというわけにはいかないと思いますので、予算的に引き締めるところを引き締めていかなければいけないと思います。</p> <p>今回はそのようなところを検討していただいたうえでも、増えてしまったのかということもありますが、令和5年度に限らず、その先としては、やはりそこを充実させていくうえで予算総額の規模感は大丈夫という考え方なのでしょうか。</p>
高橋村長	<p>子育てや教育に関しては今、一旦やるべきことをやったので大体今の内容で村としては新たな取り組みの必要性というのは、そんなに大きくはないと思っています。これにつきまして継続はしていきますが、残念ながら子供の数が今後減る見込みですので、そういう意味では負担としては下がっていく要素にはなっています。しかし、村としては村の総人口は、なるべく減らさないようにしていきたいということで、移住定住の方では、新たな分譲地も含め開発をして、できるだけ3,000人は切らない形を今後も維持することで、子供の出生数も増加に転じることが期待できますし、総人口を減らさないでいると大体の税収も維持できますので、その中でしっかりやっていきたいです。</p> <p>また、生活に関するインフラや水道も、今回は大きく予算付けしています。下水は大体の事業が終盤に差し掛かっておりますので、今後はそう大きくは予算がかからない見込みです。ただ道路については、傷んだところが増えてきましたので、ある程度の期間予算は見る必要があるかと思います。今後、バランスを取りながらも、村の特徴をしっかり出せるような予算編成に今後取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
齋藤委員	<p>新型コロナウイルス感染症対策雇用維持・事業持続化支援事業について、新型コロナウイルスによって経営が伸び悩んで大変だという中で、施設の維持管</p>

発言者	発言要旨
高橋村長	<p>理等々に関することであれば利用者に快適に利用してもらうためにも致し方ない支援だとは思いますが、事業費 3,000 万という金額はどこから出てきたのでしょうか。</p> <p>また、このような支援の仕方が本当に自立に向けた効果的な支援なのか村長はどう認識されているのかお聞きします。</p> <p>この事業はコロナウイルスによって非常に大きく影響を受けた事業者に対して、国のコロナ対策交付金を充てる形で 2 年間取り組んできました。</p> <p>新年度予算についても、国の交付金があることを想定しておりましたが、結果として国からのコロナ関連の交付金というのは出されませんでした。今までこの支援があったおかげでどうにか持ちこたえることができ、今年度も大きく影響を受けた事業者があるのも事実ですので、村の財政の許せる範囲で今までと同じような形で支援ができないかということから 3,000 万円という予算計上いたしました。</p> <p>新年度からは新型コロナの感染症法上の位置づけが 5 類に引き下げられ、ウィズコロナで観光関連業者も活発に活動を開始できる状況ですので、今年度までの大変な部分を何とか応援していきたい。そのようなことから予算計上しております。</p>
齋藤委員	<p>制度上しかたないことですが、この予算の提案者は村長であり、支援を受ける事業者の社長も村長であるということについて村民からすればそれはどうなのだろうという見方もあります。</p> <p>しっかりと村民が納得できるような説明が私は必要だと思いますが、村長からこういった説明をされるのでしょうか。</p>
高橋村長	<p>昨年までも同じような形でご承認いただいて取り組んできたところです。</p> <p>大瀧村に必要な事業者はたくさんある中で、コロナに関連して影響の大きい事業者に対してなんとか継続して頑張っていたきたいということで取り組んでおり、最も多く活用したのがホテルと温泉であります。</p> <p>昨年は補正もあわせて 4,800 万ほどの事業費であり、本当にこの支援があったことで何とか持ちこたえてこれたというところがあります。</p>

発言者	発言要旨
齋藤委員	<p>今年度は特に燃料などの物価高騰や工事による休業が1ヶ月半もあり、温泉も工事による休業が2週間あったり、事業者側の問題だけではないいろいろな要素が重なったというのも事実です。また、事業継続することで村民の福利厚生や地域産業にもしっかりと貢献していると思いますので、村としても応援していきたいということでもあります。</p> <p>もちろん(株)ルーラル大潟があることによるメリットも本当に大きいと思います。ただ今回提出された経営改善計画により、これからどういった状況になるのか、もう少し様子を見ながら村として何ができるのかを考えていくのが本来の支援の仕方だと思います。</p> <p>また、指定管理をお願いしている立場ですので、しっかりと経営の内容を見ながら効果がある支援をしていくことが(株)ルーラル大潟を支えていくということに繋がると思います。その辺の考え方や今後の支援のあり方についてどのようにお考えでしょうか。</p>
高橋村長	<p>今回の3,000万については、令和4年度分の事業に対する支援という考え方であり、売り上げで3割以上下回った月ごとに対する支援になります。</p> <p>このような村からの支援がある中でも、(株)ルーラル大潟では出資金を使い果たすような状況にまでなっており、今後新たな取り組みをするという中で非常に不安要素になっています。</p> <p>新年度からは、温泉の利用料を上げたりと様々な形で事業継続し、村民に福利厚生面でしっかりと貢献できるような計画を立てておりますが、今の非常に厳しい状況を何とか乗り越えてほしい。ということで今回計上しております。また、(株)ルーラル大潟以外の事業者でも厳しいところがあると伺っていますので、併せて応援できればと思っています。</p>
黒瀬副委員長	<p>さきほどこちらの事業について2年間というお話でしたが、2年度から4年度までの3年間やっているかと思います。</p> <p>総額1億5,100万ほどの予算のうち、97%の1億4,700万が(株)ルーラル大潟に交付されている現状を考えると、基本的には(株)ルーラル大潟への補助というふうを考えております。</p>

発言者	発言要旨
高橋村長	<p>4年度の事業で減収した分に対する支援ということですが、4年度の事業に対してであれば4年度の補正として、4年度に(株)ルーラル大潟への補助として出すべきだと思います。先日経営改善計画の説明を受け、ホテル部門については5年度に利益が出る前提での事業が構築されていました。そこに対して、前年赤字だったので3,000万近くの補助を出すというはやはりどう考えても納得がいきません。</p> <p>現在厳しい状況だということであれば4年度の補正で、今の段階で支援をするべきでしょうし、そうでなければ別の形での支援が望ましいと思いますが、その点どうお考えでしょうか。</p> <p>昨年度も補正の1,800万と当初予算の3,000万を組み合わせる形で同じような事業を進めてきました。今回も国の交付金があることを想定した形で予算組みをしていましたが、最終的にはなかったため、結果としては新年度予算として計上する形をとらせていただきました。確かに4年度の補正でやるという予算編成上の考え方もありますが、まずは村単独の予算の範囲で、ふるさと応援基金を活用するというような形をとりながら予算組みをしたところではあります。そういった経過があったことをご理解いただければと思います。</p>
黒瀬副委員長	<p>当初国の臨時交付金がある前提でという予算組みで、交付金がなくなったから自主財源でそのままやるというのは違うのではないかなと思っています。且つ、先ほどもウィズコロナでこれから経営状態が上がっていくというお話もされていましたが、黒字でやっていけるといいうところに補助金を出すというのは少し違うと思います。</p> <p>それであれば、改善計画を進めていく中で(株)ルーラル大潟としてどういう支援が必要かというところから精査するという流れが正しいと思います。緊急性があるのであれば別ですが、減収分の一部を補填するというのは、今後コロナの影響がなくなっていく中で、昨年影響があったので昨年の分を今年度払いますというのは事業をやる根拠として乏しいのではないかと思います。</p> <p>やはり来年度(株)ルーラル大潟もしくはそれ以外の事業者も含めて、コロナの影響がまだ残っていて支援が必要だという要望があるのであれば、それ</p>

発言者	発言要旨
高橋村長	<p>ぞれの事業者に対してどういう支援をするか、どういう事業を求めているか精査したうえで(株)ルーラル大潟に対していくら出すという決定の仕方が正しいのではないかと思います、いかがでしょうか。</p> <p>繰り返しになるわけですが、4年度の決算については新年度にならないと分からないので、そうした状況に対応できるように新年度予算に計上いたしました。昨年もその前の年度も同様に計上しております。</p> <p>4年度まで非常に厳しい状況が続いており、ここを何とか乗り切れば次の再生計画もスムーズに取り組んでいけると思いますので、どうかよろしくご理解をお願いしたいと思います。</p>
黒瀬副委員長	<p>決算については3月末締めで、6月には最終的な数字が確定するという中において、新年度早々にこの補助金が交付されたところで4年度のルーラルの業績には何も反映されません。(株)ルーラル大潟の4年度の決算が明確になったうえで、5年度から再生計画を進めていくために村からこういう支援が必要だという話の中で予算の金額を決めて補正として出すというのが支援の筋だと思いますが、いかがでしょうか。</p>
高橋村長	<p>今回、(株)ルーラル大潟側からこの金額の要請があったということではなく、あくまでも村側の財政的な面としての考えであります。</p> <p>今までも前年度の明確な決算が出たうえで、3割以上売り上げが落ちていることを条件に交付しておりますので、同様の形で対応したいと考えております。今後実際に再生計画を進めるうえで、いろいろとスムーズにいかない場合もあるかと思いますが、その際にまたどういう形でということを含め検討したいと思っております。</p>
黒瀬副委員長	<p>これまでの3年間に関しては新型コロナウイルス感染症対策の地方創生臨時交付金がある中で、村からの説明にしても皆さんの体感としてもコロナの影響があるのは観光や飲食業で、それ以外の農業関係は比較的影響が小さいと納得できる部分があったので予算執行に賛成してきたという経緯があると思います。しかし今回、コロナから開けるというタイミングで、自主財源で同様にやりましょうというのは少し無理があります。(株)ルーラル大潟側から求められているわけではないというのであれば、なおさら求められて</p>

発言者	発言要旨
高橋村長	<p>から考える方が良いと思います。</p> <p>この3,000万円に関しては1度見直された方が良いと思います。いかがでしょうか。</p> <p>数字として要望額を(株)ルーラル大瀧側から言われたわけではありません。しかし、4年度は温泉もホテルも休業を強いられるなど、事業者の努力だけではない部分の影響も大きく、現状として資本金がマイナスになるかならないかの本当に厳しい状況にあります。職員を繋ぎ止めるためにも雇用維持を含め、再生計画をしっかりとこれから動かしていく必要もありますので、今の厳しい状況を緩和していただきたいという(株)ルーラル大瀧からの要望があったということでもあります。</p>
戸部委員	<p>まず一つは県の姿勢に問題があると思います。コロナになってから第3セクターに対する支援が県からなかった、且つ、アフターコロナになって(株)ルーラル大瀧に関しては指定管理料を払ってないという名目で、一切支援がない状況だと聞いております。ましてや一番の稼ぎ時だった今年の1月2月に工事で休業を強いられていました。大瀧村の50億円しかない予算の中で県の支援もなく(株)ルーラル大瀧をずっと見ていくというのは、やはりかなり無理が出てくると思うので、まずはその点を県へ働きかけるべきだと思います。</p> <p>もう一つは今回の3,000万円のうち実質(株)ルーラル大瀧に行くのが2,900万円ぐらいだと思いますが、2,900万円であれば3ヶ月くらいの運用資金ですので、銀行や保証協会などいろんな資金を利用することも考えていくべきだと思います。村として利子補給や保証料の負担などをすることが村と指定管理先とのあるべき関係だと思いますが、その点についてはどうでしょうか。</p>
高橋村長	<p>ホテル部門は、運営については指定管理料もない中で非常に厳しい状況にありますが、施設自体については県の方で今年度冷暖房の配管工事を行い、来年度は外壁工事をするという予算付けがありますので、県として引き続き支援していくという姿勢はあると考えております。</p> <p>運転資金については、実はコロナが始まった際に借り入れできる上限の借り入れはもう既に行っており、その中でどうにか運営してきているところです。再生計画をスムーズにスタートさせるためにも今回3,000万円の予算付</p>

発言者	発言要旨
戸部委員	<p>けをいたしました。</p> <p>指定管理料が払われてないから支援するというのが普通の考えであるので、支援がないのであれば指定管理料をもらった方が良いと思います。県としていろいろ支援してくれているというものの、県に言うべき部分があると思いますので、県へどう伝えていくのかまずお聞きしたいです。</p> <p>コロナになって既に借入れ限度額まで借りているとのことですが、限度額はいくらでしょうか。</p>
高橋村長	<p>今まで指定管理料をもらうような交渉はしたことがありません。今後そういったことも含め、要望していきたいと思います。フォレスト鳥海、十和田ホテル、秋の宮山荘、(株)ルーラル大潟の4つが同じような頃に県で建設した施設であり、その中で唯一秋ノ宮山荘だけが今回指定管理料が付く形に切り替わったと聞いています。今後各施設と情報交換をして県に要望すべきことはしっかり要望していきたいと思っています。</p> <p>また借入れ限度額は5,000万で、利子補填として3年無利子というものです。</p>
戸部委員	<p>今の状況を理解してもらえるように県に伝えていただきたいと思います。</p> <p>運転資金については、今後原油の値上がりに関して上限4,000万円の資金も出ると聞いています。第3セクターでも借入れ可能な資金ですので、村として(株)ルーラル大潟にそのような情報を伝えてはいかがでしょうか。</p>
高橋村長	<p>借入れをすれば、返済する必要が出てきてしまいます。</p> <p>先程限度額5,000万円と言いましたが、訂正いたします。これまでに5,000万が2本と3,000万が1本で合計1億3,000万円の借入れがなされています。6年間利子補給があるという中で返済も始まってきますし、なるべく借入れをこれ以上増やさないようにしつつ、しっかり運営していければというところもありますので、ご理解よろしく願いいたします。</p>
戸部委員	<p>ホテルが潰れてしまっただけで当然困るわけですし、応援したい気持ちは私も同じです。しかし、運転資金として借入れをして返済をするというのは当</p>

発言者	発言要旨
	<p>然どの業者もやっているわけで、返済するために努力して会社を運用していくという形を取るべきところに村から支援をするというのはかえって会社に対して良くないと思います。もう少し考慮すべき部分だと思います。</p> <p>次に国保についてお聞きしたいことがあります。</p> <p>先ほどから確かに村の上限を聞いていると、村長も今一生懸命、他の市町村さんに当たって理解を示してもらいたいと動いてらっしゃるっていうのも聞いておりますし、これからもそれはぜひ頑張ってもらいたいなと思います。</p> <p>一方でやはり村としての考え方、やり方っていうのもお願いしているだけではなくて、村は村のやり方っていうのを考えていかなきゃいけない時期にも来ていると思います。</p> <p>先ほどの説明の中で最高額が村では 40%いると、そこに引っ張られてるという話でしたが、この 40%が国保から外れた場合、調定額どこまで下がるかというシミュレーションはしていますか。</p>
高橋村長	<p>そういったシミュレーションはしていません。</p> <p>結局は対象者が減り、所得の多い人がいなくなるということのシミュレーションはしていません。</p>
戸部委員	<p>これはできれば、今のままの国保税でいってもらえばいいなと思いますが、この村は他と違い、いびつなところは、国保と社保のバランスが悪いということです。国保だけが突出するわけで、そのバランスが悪いのが他の市町村との、配付資料の表に現れていると思います。</p> <p>先ほどから移住定住の話もありましたが、村に移住してくる方というのは、大概仕事をしている方で、その方が村に来て、国保に入るか、私はそうは思いません。</p> <p>ただ逆に言えば、今村で農業をやっている人たち、若い人たちが、他の町に行って、通って農業をやる可能性も出てくると思います。</p> <p>あまりに国保税額の差があれば、村としてもやはり、例えば法人化を進めていくとか、本当に真剣に取り組まない限りは、私はこの差は絶対に埋まらないと思いますが、その点いかがでしょう。</p>
高橋村長	<p>今法人化した農家も少しずつ増えてきている状況です。</p> <p>ただその法人化の目的は、やっぱり経営を大きくすることや、法人化して事業継承しやすくするとかいろいろ目的があると思いますが、国保のため、</p>

発言者	発言要旨
	<p>要は社会保険を選択するために法人化するということがいいのかというのは、今は何とも言えませんが、ただ、究極に、そっちへ行った方が村の財政負担としてはもっと楽になりますよとか、個人の負担はもっと減りますよとか、そういったことが明確になって、今の状況が今後改善される見通しがない場合には、そういった選択肢というか、考える必要はあると、私も頭の隅にはあります。</p> <p>ただ、まず今は現状早く一本化してほしいということで動いていますので、状況を見ながらということになるかと思いますが、今、戸部委員が言ったことをまるっきり否定するというものではないと、私も認識しています。</p>
戸部委員	<p>私も極論話をしているようなもので、ただ、切羽詰まっていることは確かであって、そういったメニューというものは、やはり村で持つべきだと思います。</p> <p>外に出さないシミュレーションあたりは作っておいた方がいいのかなと思います。</p>
工藤委員	<p>新型コロナウイルス感染症が5月8日から、2類相当から5類相当に位置づけが変更になるという国の発表がされました。それを踏まえて、村では5月8日以降の認定こども園、また小学校中学校の対応はどのようにしていくのでしょうか。</p>
北林教育長	<p>現段階では未定です。5月8日以降になりますと、社会的な状況も変わってくると思いますので、園小中それぞれ、保護者の意向を踏まえながら対応を考えることになると思います。</p>
松本委員長	<p>休憩します。(15:49)</p> <p>再開します。(15:50)</p>
松本委員長	<p>それでは質疑を終結いたします。</p> <p>本日の議事はここまでとします。</p> <p>再開時間は明日の午前9時からとします。</p> <p>(休憩 15:51)</p>

付託事件	議案第20号 令和5年度大潟村一般会計予算案について
	議案第21号 令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて
	議案第22号 令和5年度大潟村一般会計予算案
	議案第23号 令和5年度大潟村診療所特別会計予算案
	議案第24号 令和5年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案
	議案第25号 令和5年度大潟村介護保険事業特別会計予算案
	議案第26号 令和5年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案
	議案第27号 令和5年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案
	議案第28号 令和5年度大潟村水道事業特別会計予算案
	議案第29号 令和5年度大潟村公共下水道事業特別会計予算案

発言者	発言要旨
	(再開 13:39)
松本委員長	昨日に引き続き、令和5年度大潟村歳入歳出決算特別委員会を再開いたします。ただいまの出席委員数は10名です。定足数に達しておりますので、この委員会は成立します。 議案第22号令和5年度大潟村一般会計予算案について訂正がございましたので、当局の説明を求めます。
薄井課長	【資料に基づき説明】
松本委員長	ただいまの説明について質疑ございますか。
	【なしの声】
松本委員長	ないようですので、質疑を終結いたします。
松本委員長	次に討論を行います。 原案に反対の方の発言を許します。
	【なしの声】
松本委員長	ないようですので、次に賛成の方の発言を許します。
	【なしの声】

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>討論を終結します。それでは採決に入ります。</p> <p>賛成の方は挙手を、挙手しない場合は、反対とみなします。</p> <p>議案第 20 号「令和 5 年度大潟村水道事業特別会計への繰り入れについて」原案に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>【全員挙手】</p>
松本委員長	<p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 20 号「令和 5 年度大潟村水道事業特別会計への繰り入れについて」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 21 号「令和 5 年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて」原案に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>【全員挙手】</p>
松本委員長	<p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 21 号「令和 5 年度大潟村公共下水道事業特別会計への繰り入れについて」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 22 号「令和 5 年度大潟村一般会計予算案原案」に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>【挙手多数】</p>
松本委員長	<p>挙手多数であります。</p> <p>よって、議案第 22 号「令和 5 年度大潟村一般会計予算案原案」は、挙手多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 23 号「令和 5 年大潟村診療所特別会計予算案」に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>【全員挙手】</p>

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 23 号「令和 5 年大潟村診療所特別会計予算案」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 24 号「令和 5 年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案」に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>【全員挙手】</p>
松本委員長	<p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 24 号「令和 5 年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 25 号「令和 5 年度大潟村介護保険事業特別会計予算案」に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>【全員挙手】</p>
松本委員長	<p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 25 号「令和 5 年度大潟村国民健康保険事業特別会計予算案」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 26 号「令和 5 年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案」に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>【全員挙手】</p>
松本委員長	<p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 26 号「令和 5 年度大潟村介護サービス事業特別会計予算案」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 27 号「令和 5 年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案」に賛成の方の挙手を求めます。</p>

発言者	発言要旨
松本委員長	<p>【全員挙手】</p> <p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 27 号「令和 5 年度大潟村後期高齢者医療特別会計予算案」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 28 号「令和 5 年度大潟村水道事業特別会計予算案」に賛成の方の挙手を求めます。</p>
松本委員長	<p>【全員挙手】</p> <p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 28 号「令和 5 年度大潟村水道事業特別会計予算案」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>次に議案第 29 号「令和 5 年度大潟村公共下水道事業特別会計予算案」に賛成の方の挙手を求めます。</p>
松本委員長	<p>【全員挙手】</p> <p>全会一致であります。</p> <p>よって、議案第 29 号「令和 5 年度大潟村公共下水道事業特別会計予算案」は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。</p>
松本委員長	<p>以上をもちまして、当委員会に付託されました議案の審査はすべて終了いたしました。</p> <p>これをもちまして、令和 5 年度大潟村歳入歳出予算特別委員会を閉会いたします。</p> <p>(閉会 13:51)</p>

【 署 名 欄 】	
松 本 正 明 委 員 長	(委 員 長) _____
黒 瀬 友 基 副 委 員 長	(副 委 員 長) _____
山 田 照 雄 委 員	(委 員) _____
工 藤 勝 委 員	(委 員) _____
三 村 敏 子 委 員	(委 員) _____
菅 原 ア キ 委 員	(委 員) _____
菅 原 史 夫 委 員	(委 員) _____
戸 部 誉 委 員	(委 員) _____
齊 藤 知 視 委 員	(委 員) _____
川 渕 文 雄 委 員	(委 員) _____
石 井 雅 樹 委 員	(委 員) _____